
11 品目別調査結果 その他品目

1. 野菜(きゅうり・トマト・アスパラガス・さやいんげん・ねぎ・ブロッコリー・いちご)
2. きのこと類(しいたけ・なめこ)
3. 果物(梨・りんご・ぶどう)
4. 水産物(カツオ・カレイ類・シラス・トラフグ)
5. 畜産物(豚肉・鶏肉・牛乳)

その他の品目に関する掲載内容

- 野菜 7 品目、きのこ 2 品目、果物 3 品目、水産物 4 品目、畜産物 3 品目の計 19 品目について、概要調査とアンケート調査の内容を記載している。
 - 品目によって収集可能なデータが違っているため、掲載内容も異なる。
 - 野菜ときのこについては、概要調査のデータを幅広く収集して記載している。

品目ごとの掲載内容（野菜・きのこ）

	きゅうり	トマト	アスパラガス	さやいんげん	ねぎ	ブロッコリー	いちご	しいたけ	なめこ
出荷量 ^{※1} (漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	○
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	○	○
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	○	○	○
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)
東京市場と大阪市場における価格	○	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)	△ (※2)
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1：しいたけ・なめこは生産量。 ※2：東京市場のみ。

その他の品目に関する掲載内容

- 果物と水産物については、概ね野菜・きのこ同様の内容を掲載している。
- 畜産物については、政府統計が存在しない（更新が停止されている）などの理由から概要調査の情報は限られている。

品目ごとの掲載内容（果物・水産物・畜産物）

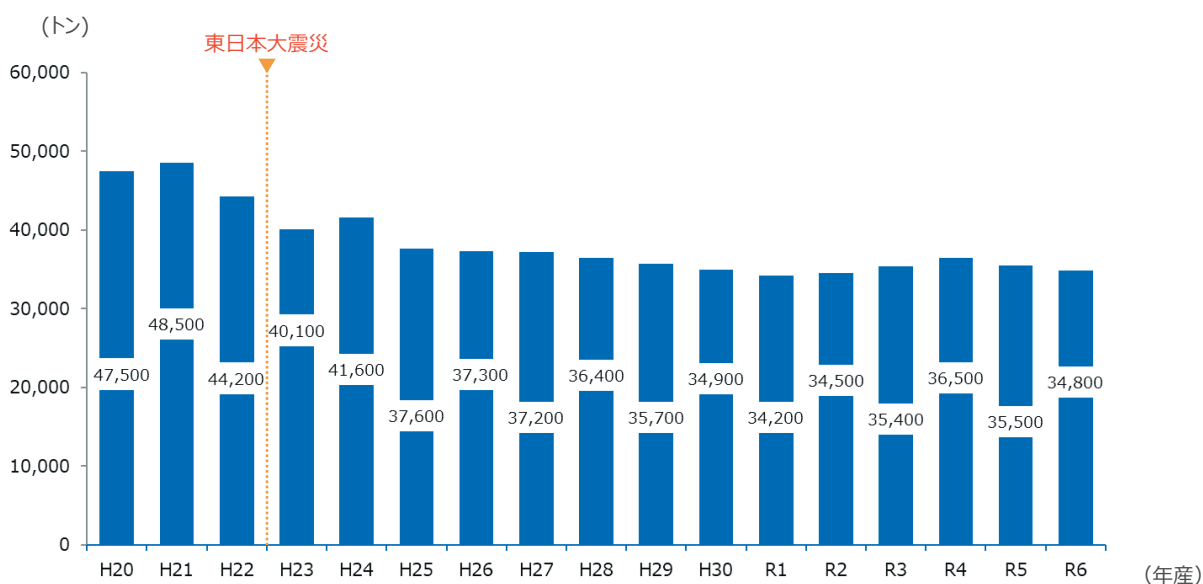
	梨	りんご	ぶどう	カツオ	カレイ類	シラス	トラフグ	豚肉	鶏肉	牛乳
出荷量(漁獲量)の推移	○	○	○	○	○	○	○	○	△ (※2)	△ (※3)
出荷主体別の出荷量の推移	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
市場ごとの取扱量の推移	○	○	○	○	○	○	○	△ (※1)	△ (※2)	○
市場ごとの産地リレー	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
東京市場と大阪市場におけるシェア	○	△ (※1)	△ (※1)	-	△ (※1)	△ (※1)	△ (※1)	△ (※1)	-	-
東京市場と大阪市場における価格	○	△ (※1)	△ (※1)	-	△ (※1)	△ (※1)	△ (※1)	△ (※1)	-	-
消費者アンケート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※1：東京市場のみ。 ※2：平成26年までのデータのみ。全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数。 ※3：系統出荷分のみ。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

福島県産きゅうりの出荷量は、震災後平成24年産を除いて減少傾向で推移していたが、令和元年産を底に、令和2年産以降は増加に転じた。しかし、令和6年産は令和5年産を下回り、34,800トンとなった。

福島県産きゅうりの出荷量の推移

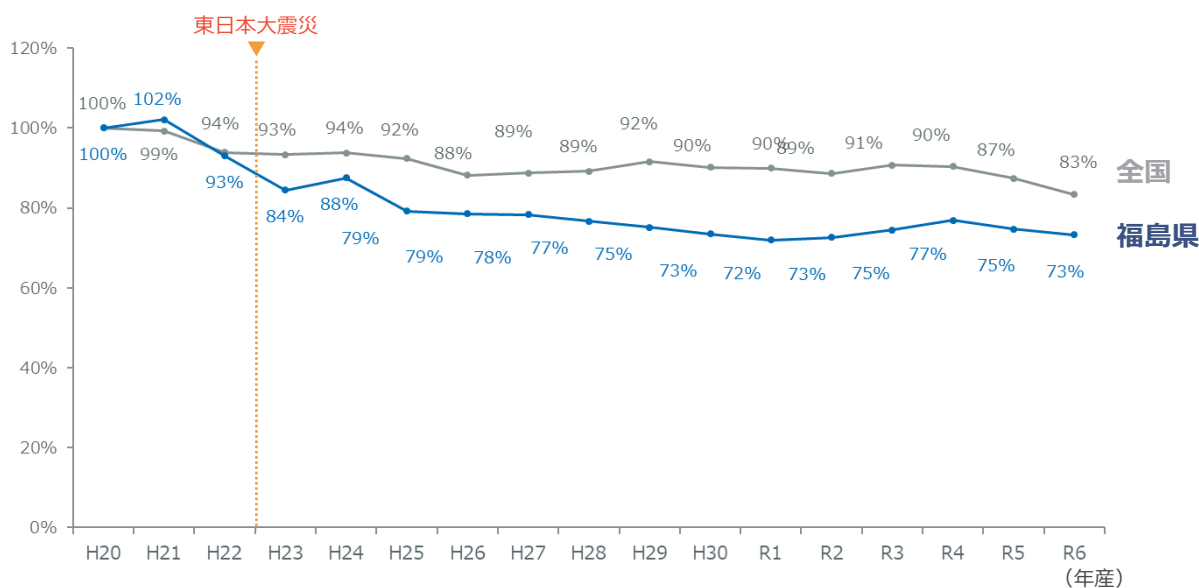


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移

全国のきゅうりの出荷量は、震災前からは微減したが近年概ね横ばいで推移している。福島県産は震災後の平成23年産・平成25年産の大幅減少もあり、全国より減少幅が大きい。

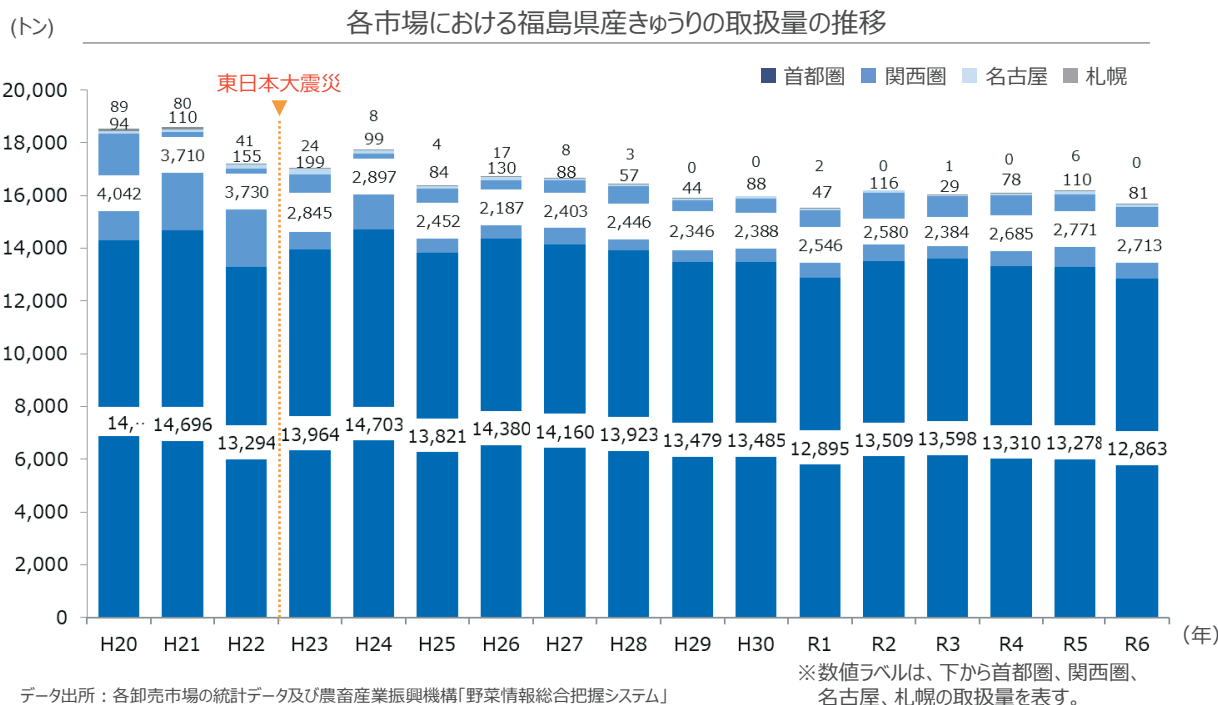
全国・福島県産きゅうりの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産きゅうりの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産きゅうりは、主に首都圏で取り扱われており、震災後、関西圏への出荷は減少している。また、名古屋・札幌への流通は震災前から少ない。



各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産きゅうりのシェアは、東京都中央卸売市場では7月～9月に1位であった。横浜市中央卸売市場では6月～9月に1位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ 1位 ■ 2位 ■ 3位 以下は色付け

市場	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
東京都中央卸売市場	福島 0%	0%	0%	1%	4%	17%	42%	47%	29%	11%	4%	0%	10,079
群馬	7%	17%	27%	28%	26%	25%	7%	4%	17%	28%	20%	8%	11,605
宮崎	48%	38%	24%	16%	12%	3%	0%	0%	0%	3%	23%	43%	9,282
埼玉	4%	3%	13%	22%	26%	24%	4%	1%	12%	23%	23%	11%	9,045
千葉	16%	16%	13%	11%	8%	6%	4%	2%	2%	4%	9%	18%	5,310
茨城	6%	9%	10%	9%	9%	7%	3%	2%	7%	9%	5%	3%	4,150
総量	4,159	4,045	4,900	6,122	7,411	6,509	6,305	7,567	6,226	4,532	3,512	3,590	
横浜市中央卸売市場	福島 0%	0%	0%	3%	15%	34%	53%	52%	38%	20%	8%	1%	2,784
高知	47%	38%	30%	23%	15%	6%	0%	0%	0%	3%	24%	44%	2,043
群馬	0%	11%	22%	25%	22%	17%	1%	1%	14%	26%	23%	7%	1,692
千葉	15%	16%	14%	12%	8%	6%	4%	2%	2%	2%	7%	17%	1,007
宮崎	27%	18%	10%	6%	5%	1%	0%	0%	1%	11%	14%	24%	999
秋田	0%	0%	0%	0%	0%	2%	15%	19%	13%	2%	0%	0%	680
総量	849	823	972	1,114	1,308	1,181	1,250	1,598	1,162	881	699	720	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産きゅうりのシェアは、大阪市中央卸売市場では6月～8月に1位であった。京都市中央卸売市場では7月・8月に1位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	1%	21%	47%	52%	29%	7%	0%	0%	2,283	
宮崎	43%	40%	41%	37%	36%	20%	3%	1%	3%	22%	37%	38%	2,781	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	6%	25%	27%	34%	24%	3%	0%	1,596	
高知	17%	13%	16%	13%	9%	8%	4%	0%	0%	2%	16%	18%	996	
愛媛	8%	9%	8%	7%	5%	7%	8%	8%	4%	2%	2%	5%	758	
徳島	9%	11%	9%	9%	11%	5%	1%	0%	0%	0%	1%	8%	573	
総量	730	714	799	938	1,165	1,276	1,498	1,627	1,329	1,038	666	660		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	3%	26%	25%	9%	1%	0%	0%	430	
宮崎	70%	62%	53%	41%	37%	24%	4%	3%	3%	9%	37%	62%	1,986	
滋賀	4%	4%	5%	14%	17%	19%	3%	1%	5%	17%	18%	15%	694	
高知	18%	20%	19%	17%	11%	11%	1%	0%	0%	3%	16%	15%	648	
佐賀	1%	6%	10%	9%	13%	12%	2%	6%	13%	18%	10%	1%	598	
京都	0%	0%	0%	0%	1%	8%	20%	23%	18%	11%	5%	2%	569	
総量	413	402	477	614	743	700	585	756	725	518	400	391		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

465

各市場におけるきゅうりの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産きゅうりの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して僅かであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	1%	1%	0%	0%	81	
愛知	56%	59%	55%	50%	41%	32%	4%	1%	0%	4%	38%	54%	4,501	
長野	0%	0%	1%	5%	9%	26%	60%	60%	38%	21%	6%	1%	2,947	
群馬	0%	1%	13%	19%	25%	23%	2%	0%	15%	35%	18%	1%	1,863	
宮崎	20%	18%	12%	11%	11%	8%	1%	0%	0%	7%	18%	21%	1,417	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	3%	23%	21%	19%	12%	0%	0%	985	
総量	1,042	990	1,173	1,374	1,632	1,412	1,239	1,517	1,169	938	847	878		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	0%	1%	6%	7%	17%	86%	100%	100%	100%	92%	26%	0%	4,788	
宮崎	87%	76%	67%	64%	48%	8%	0%	0%	0%	5%	66%	85%	1,802	
千葉	12%	18%	19%	19%	17%	3%	0%	0%	0%	0%	1%	12%	397	
埼玉	1%	1%	3%	5%	10%	1%	0%	0%	0%	2%	3%	1%	121	
佐賀	0%	0%	2%	3%	4%	2%	0%	0%	0%	1%	3%	0%	70	
総量	320	333	385	430	517	838	1,287	1,184	910	521	237	284		

データ出所：各卸売市場の統計データ

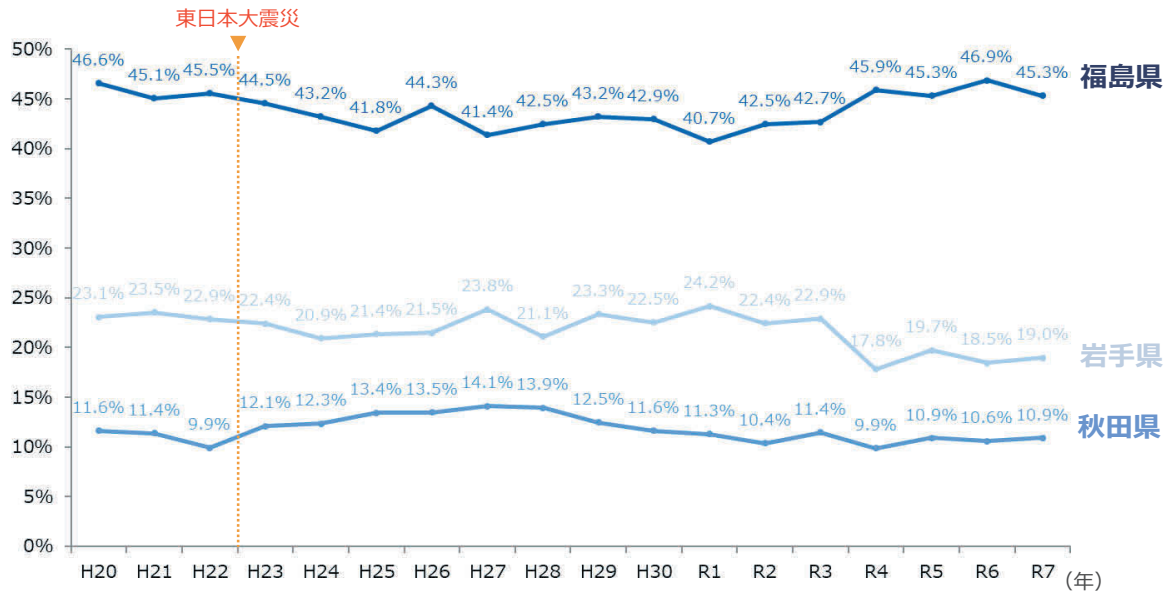
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

466

東京都中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

東京都中央卸売市場における8月の福島県産きゅうりのシェアは、震災後に微減したものの、40%以上を維持している。また、直近4年は震災前と同水準のシェアとなった。秋田県産のシェアはほぼ横ばいであり、岩手県産は近年20%未満で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)

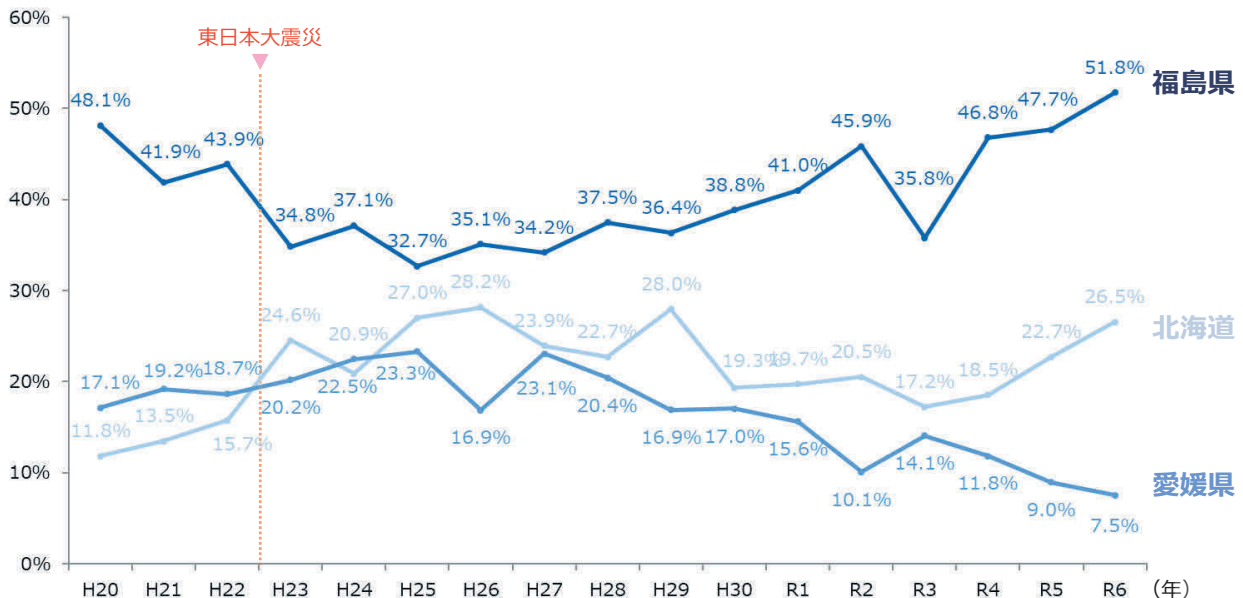


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりのシェアの推移

大阪市中央卸売市場における8月の福島県産きゅうりのシェアは、震災後は縮小したが、平成27年以降概ね拡大傾向にあり、令和6年には51.8%と平成20年以降最大のシェアとなった。福島県産は震災前後で変わらずシェア1位を維持している。

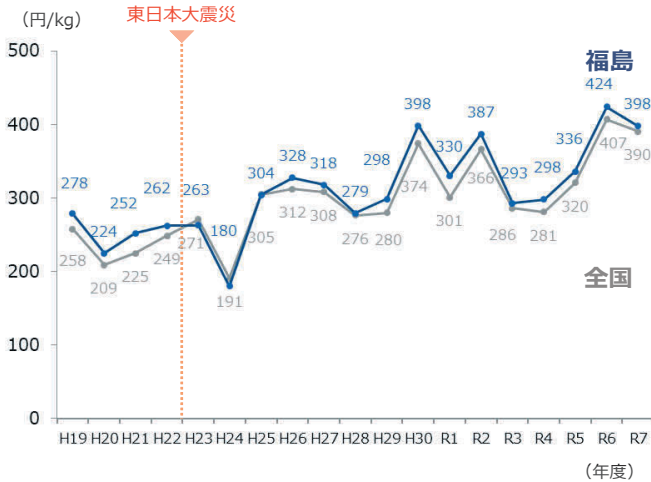
大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(8月)



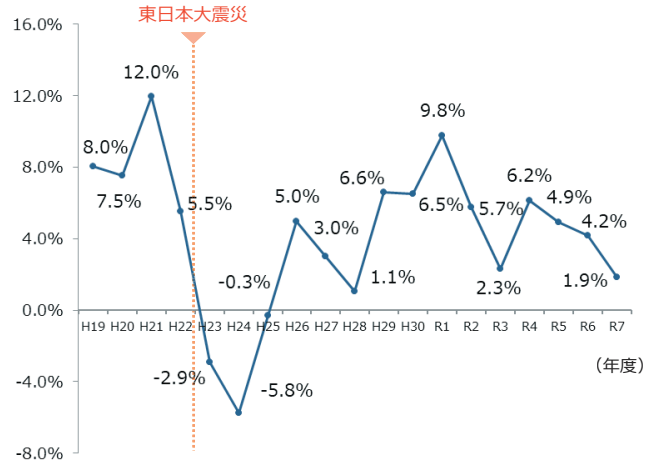
データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

東京都中央卸売市場における7月から9月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後3年間は全国平均を下回っていたが、平成26年度以降は全国平均を上回っている。

東京都中央卸売市場における平均単価推移
（夏秋きゅうり）



全国平均との価格差推移
（夏秋きゅうり）



- 震災前(平成22年度)：262円/kg
- 震災後(令和7年度)：398円/kg(+135円/kg)

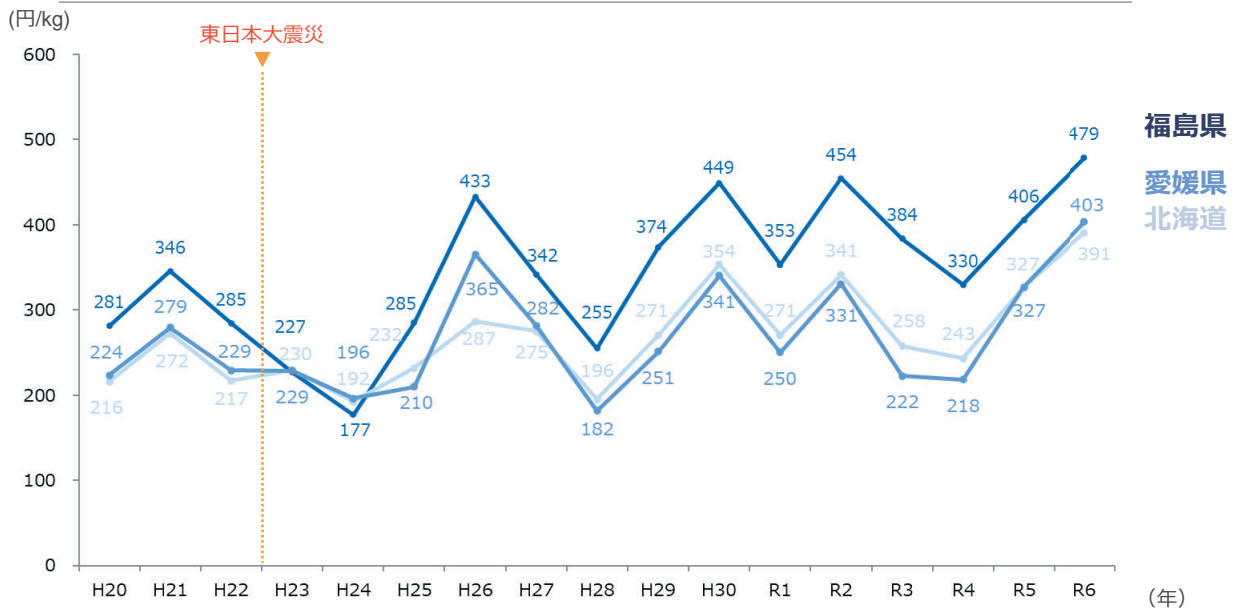
※ 7月～9月は福島県産の主な出荷時期。

データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産きゅうりの単価の推移

大阪市中央卸売市場における8月の福島県産きゅうりの平均単価は、震災後2年間は競合道県産を下回っていたが、平成25年以降は競合道県産を上回る水準で推移している。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(8月)

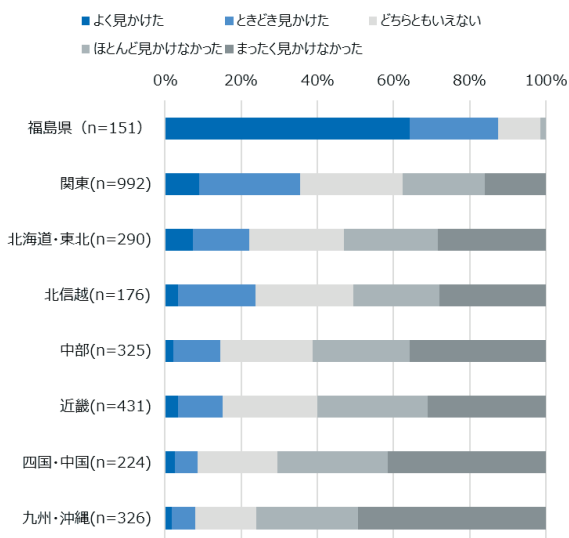


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

福島県産きゅうりを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

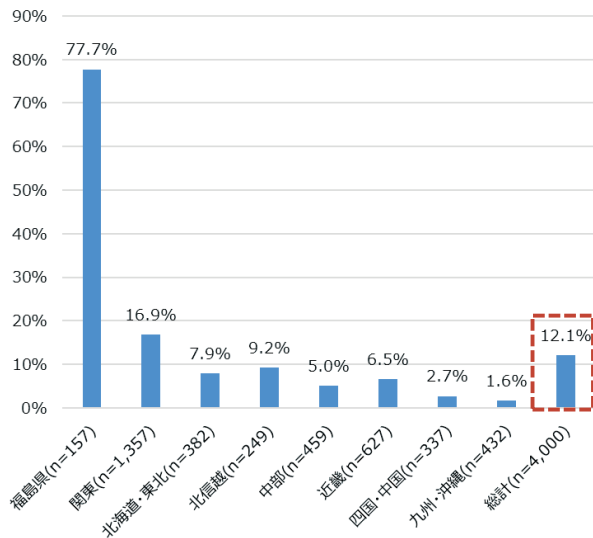
福島県産きゅうりを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産きゅうりを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では12.1%であった。

福島県産きゅうりを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産きゅうりの購入経験率



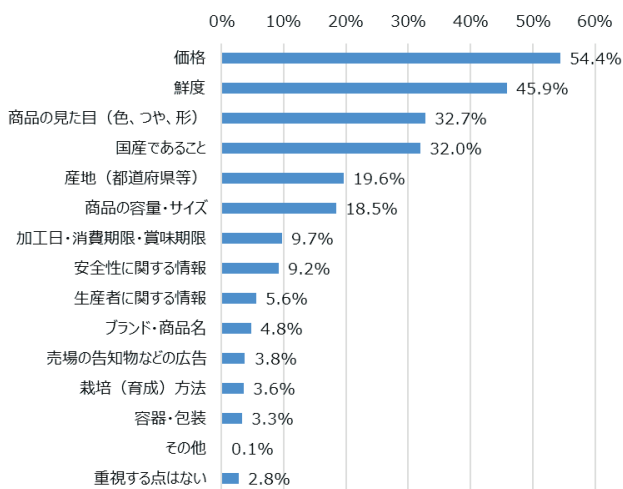
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

471

きゅうり購入時の重視点と福島県産きゅうり購入者の評価（消費者アンケート）

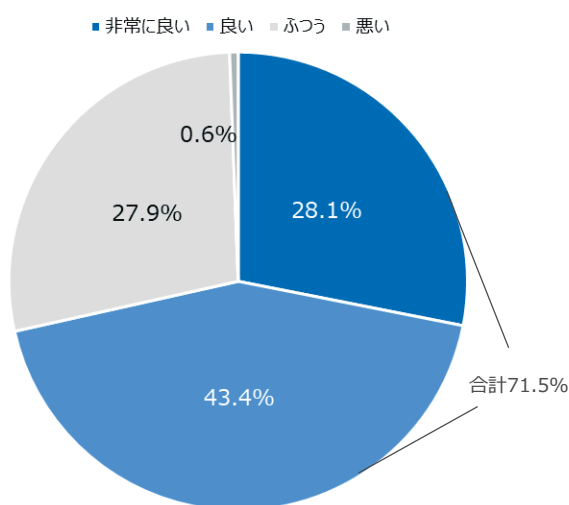
福島県産に限らずきゅうり購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産きゅうりの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.5%であった。

きゅうり購入時の重視点 (n=3,306、複数回答)



※きゅうり購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上きゅうりを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産きゅうりの購入者の評価 (n=484)



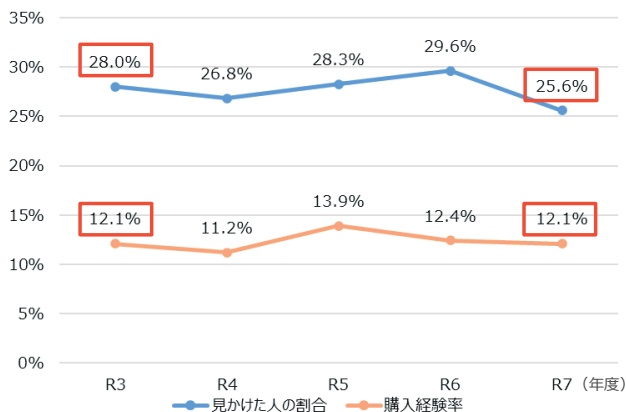
※福島県産きゅうりを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

472

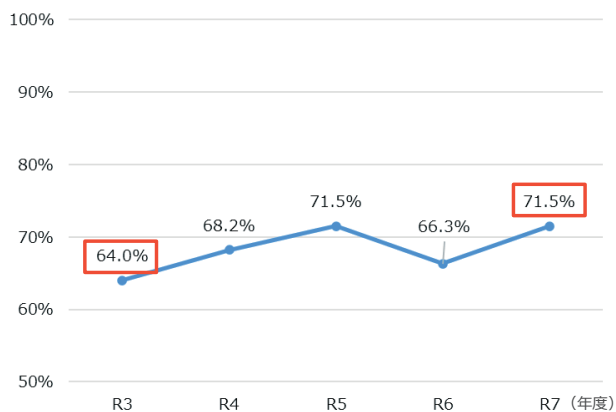
福島県産きゅうりを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産きゅうりを店頭で見かけた人の割合は、2.4%下降、購入経験率は変化がなかった。福島県産きゅうりの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は7.5%上昇した。

福島県産きゅうりを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産きゅうりを高く評価している人の割合



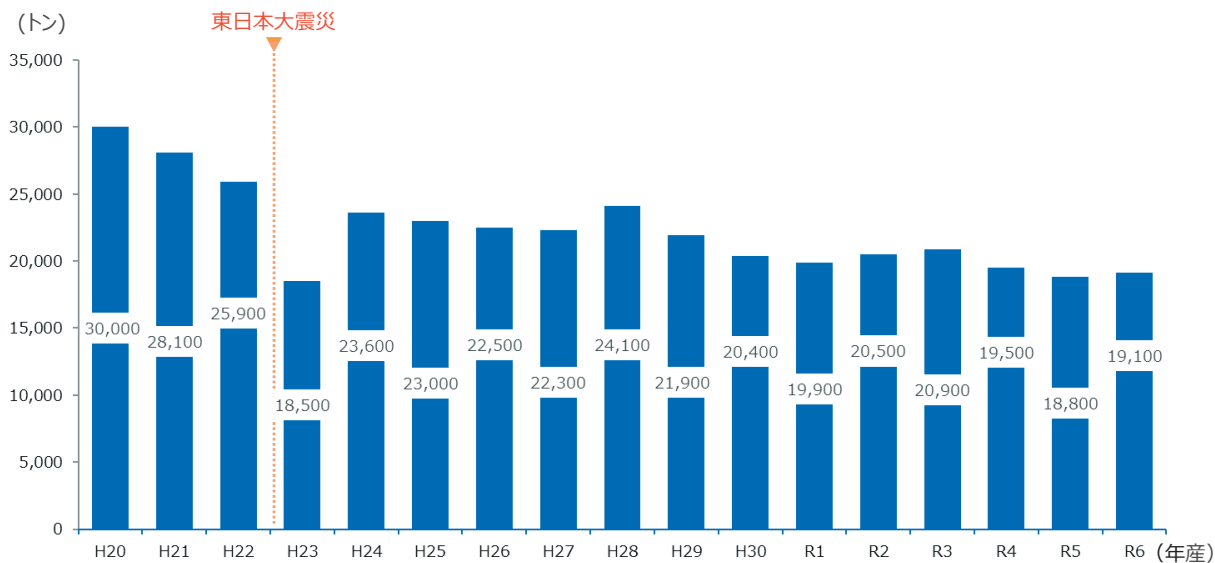
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産きゅうりを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,855、R4:3,678、R5:2,904、R6:2,638、R7:2,915。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産きゅうりを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:1,332、R4:617、R5:557、R6:497、R7:484。

福島県産トマトの出荷量の推移

福島県産トマトの出荷量は、震災直後に急落した後に回復し、その後は、緩やかな減少傾向にあった。近年は19,000トン前後で推移している。

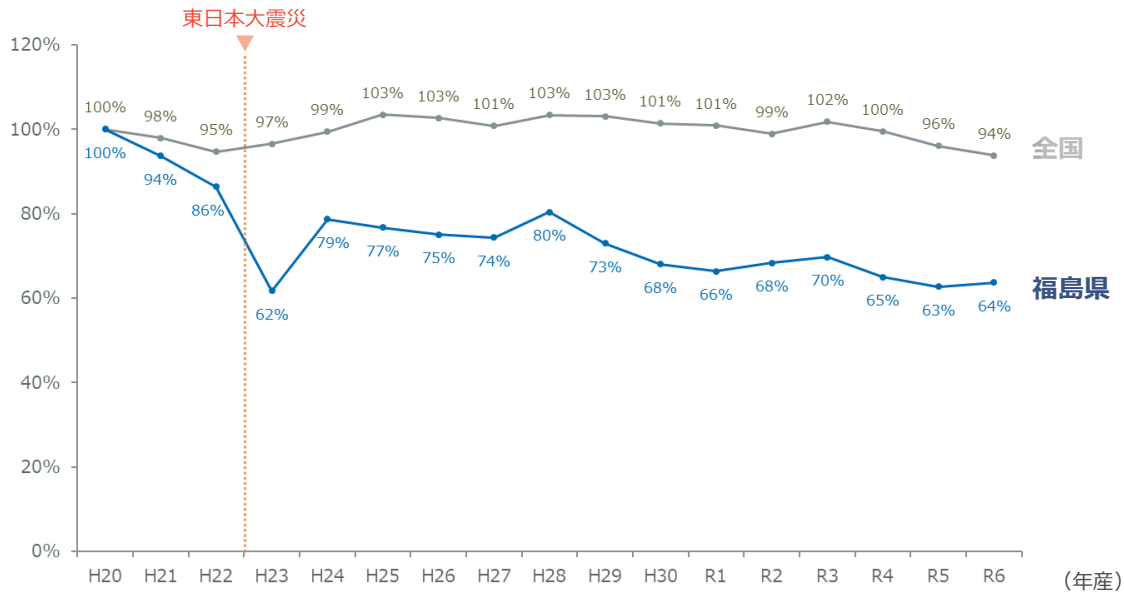
福島県産トマトの出荷量の推移



全国・福島県産トマトの出荷量の推移

全国のトマトの出荷量は概ね横ばいで推移しており、直近3年は僅かに減少傾向にあるものの100%前後の水準を保っている。福島県産トマトの出荷量は、震災以前と比べて70%前後と、総じて低い水準で推移しており、緩やかな減少傾向にある。

全国・福島県産トマトの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

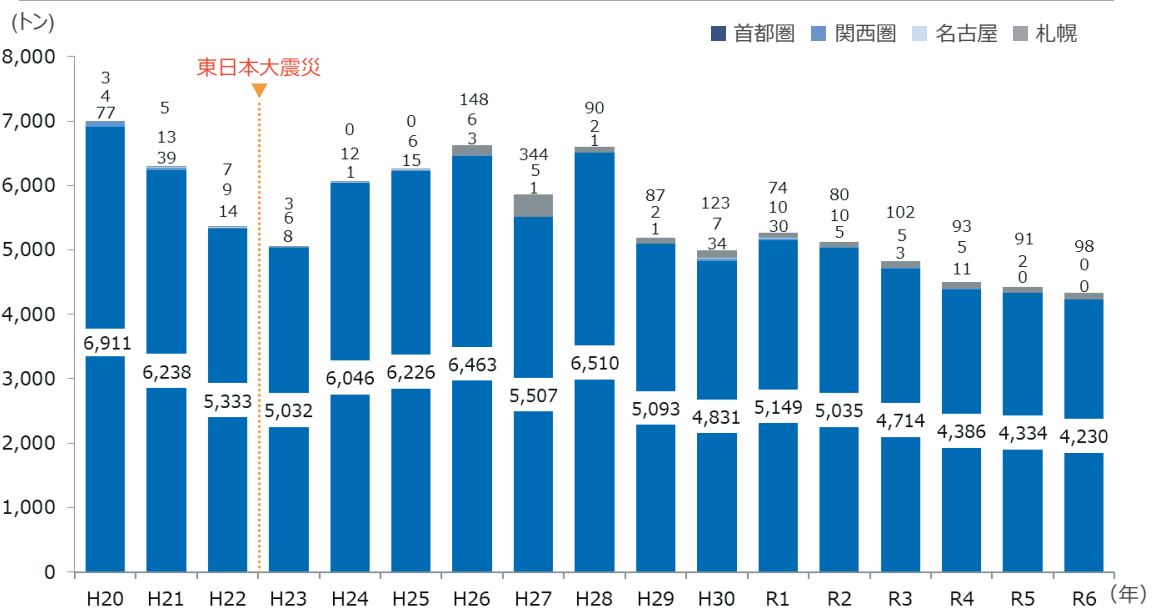


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産トマトは、震災前後を問わず、多くが首都圏で取り扱われている。札幌では、震災後の平成26年に取扱量が増えた。令和6年においては、関西圏・名古屋での取扱量は僅かとなった。

各市場における福島県産トマトの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるトマトの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、8月～10月は福島県産トマトのシェアが10%～20%程度であるが、それ以外の月では取扱いがほとんど見られなかった。横浜市中央卸売市場では、7月～9月に福島県産トマトのシェアは2位となった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	1%	1%	2%	5%	18%	17%	12%	2%	1%	3,424
熊本	40%	32%	30%	32%	26%	18%	4%	1%	2%	14%	35%	35%	13,059
栃木	20%	24%	26%	28%	25%	21%	7%	1%	1%	3%	12%	23%	9,957
愛知	16%	14%	13%	11%	13%	12%	4%	0%	0%	5%	13%	17%	5,812
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	6%	19%	25%	19%	13%	4%	0%	5,128
千葉	3%	4%	4%	5%	7%	11%	6%	2%	14%	16%	9%	5%	4,314
総量	4,891	4,897	4,593	6,052	6,815	7,049	6,451	7,457	4,979	4,062	2,974	3,086	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	1%	17%	23%	19%	6%	1%	0%	806
熊本	70%	64%	64%	65%	60%	44%	8%	3%	2%	27%	66%	72%	5,953
栃木	14%	21%	20%	19%	16%	14%	3%	0%	0%	1%	4%	10%	1,437
青森	0%	0%	0%	0%	0%	5%	24%	24%	17%	13%	2%	0%	1,042
千葉	4%	4%	4%	4%	5%	6%	4%	3%	19%	17%	10%	5%	908
北海道	0%	0%	0%	0%	1%	4%	12%	18%	15%	17%	6%	0%	851
総量	1,083	1,046	920	1,394	1,466	1,494	1,384	1,336	991	1,044	729	815	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるトマトの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産トマトの取扱いは、大阪市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では、年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	86%	84%	82%	81%	76%	42%	3%	0%	3%	19%	61%	77%	7,952
北海道	0%	0%	0%	0%	2%	21%	50%	49%	32%	26%	4%	0%	3,823
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	4%	22%	36%	50%	43%	22%	0%	3,269
愛知	7%	8%	9%	7%	9%	11%	6%	0%	0%	2%	7%	11%	1,041
福岡	3%	4%	6%	7%	6%	3%	0%	0%	0%	3%	4%	7%	563
総量	1,283	1,279	1,133	1,522	1,603	1,907	1,881	3,011	1,710	1,401	971	811	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
熊本	71%	69%	69%	66%	58%	40%	8%	4%	5%	19%	48%	63%	5,376
北海道	0%	0%	0%	0%	3%	26%	52%	57%	40%	30%	8%	0%	3,109
岐阜	1%	1%	0%	1%	0%	0%	24%	36%	48%	32%	7%	0%	2,055
福岡	18%	18%	21%	21%	24%	19%	5%	0%	0%	9%	21%	21%	1,881
三重	2%	3%	3%	5%	6%	6%	2%	0%	0%	0%	2%	3%	378
総量	833	863	893	1,323	1,393	1,424	1,397	1,845	1,286	1,112	791	807	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるトマトの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産トマトの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、5月～8月・11月・12月にシェアが3位以内となったが、北海道産や熊本県産と比較して、取扱量は僅かであった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
岐阜		17%	15%	13%	15%	14%	17%	38%	65%	78%	63%	40%	15%	4,809
熊本		48%	48%	56%	55%	52%	36%	4%	1%	0%	14%	30%	46%	4,253
愛知		21%	22%	19%	15%	18%	23%	24%	10%	7%	11%	16%	19%	2,381
三重		11%	11%	11%	14%	15%	14%	5%	0%	0%	3%	11%	18%	1,224
北海道		0%	0%	0%	0%	0%	2%	18%	18%	8%	4%	0%	0%	779
総量		973	1,029	957	1,322	1,521	1,497	1,454	1,902	1,244	925	673	615	

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	1%	3%	4%	6%	3%	2%	1%	0%	0%	3%	5%	98
北海道		0%	2%	8%	16%	59%	93%	98%	99%	100%	98%	83%	6%	3,482
熊本		93%	80%	67%	65%	33%	3%	0%	0%	0%	2%	14%	78%	974
長崎		2%	13%	13%	10%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	94
千葉		0%	1%	1%	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	28
宮崎		1%	0%	5%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	19
総量		247	186	225	274	407	595	804	795	473	408	215	100	

データ出所：各卸売市場の統計データ

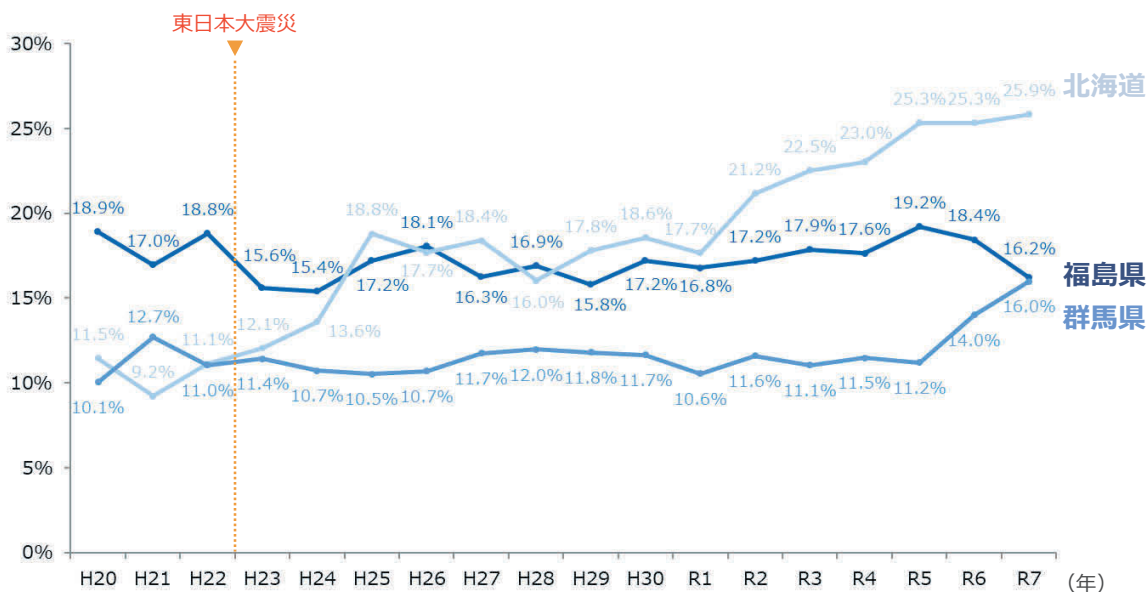
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

479

東京都中央卸売市場における福島県産トマトのシェアの推移

東京都中央卸売市場における8月の福島県産トマトのシェアは、震災後に微減したが、回復し、概ね横ばいで推移していた。令和6年以降、群馬県産のシェアは拡大したが、福島県産は減少している。北海道産のシェアは震災後に拡大し、福島県産を上回った。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(8月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

480

東京都中央卸売市場における福島県産トマトの単価の推移

東京都中央卸売市場における8月の福島県産トマトの平均単価は、震災後に下落し、群馬県産と価格ポジションが逆転したが、平成25年以降は再び逆転し、価格差を広げている。近年北海道産との価格差は縮小し、令和7年は3円/kgの差であった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(8月)



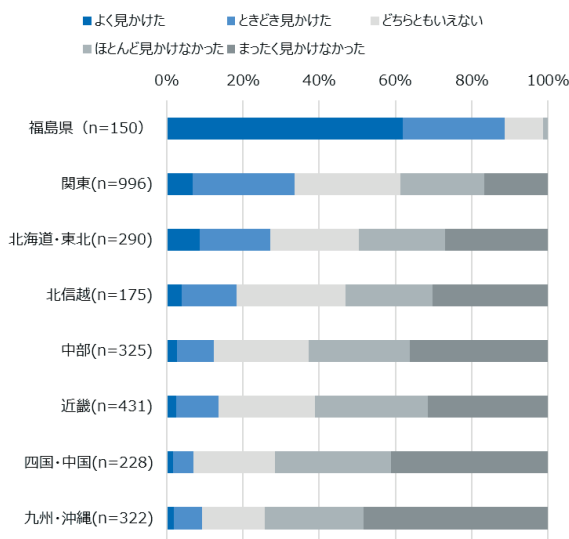
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

481

福島県産トマトを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

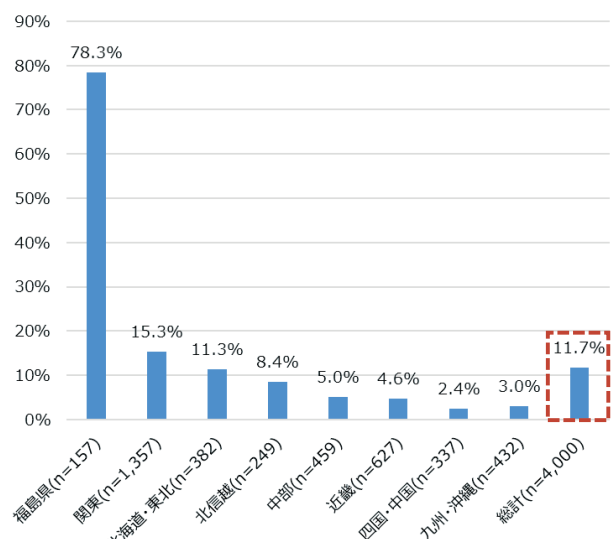
福島県産トマトを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産トマトを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では11.7%であった。

福島県産トマトを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トマトの購入経験率



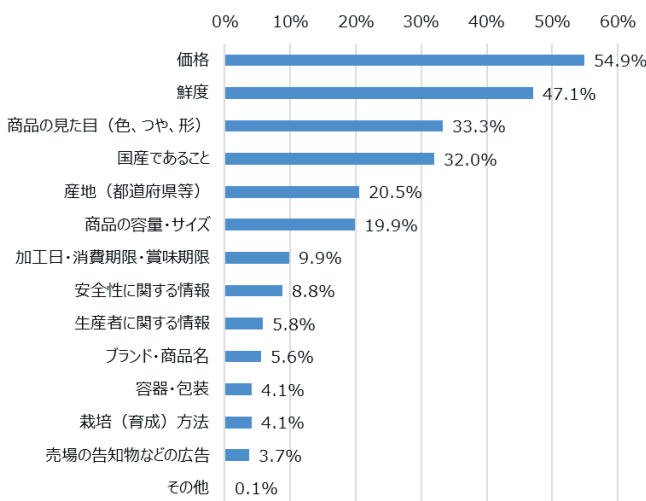
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。

482

トマト購入時の重視点と福島県産トマトの購入者の評価（消費者アンケート）

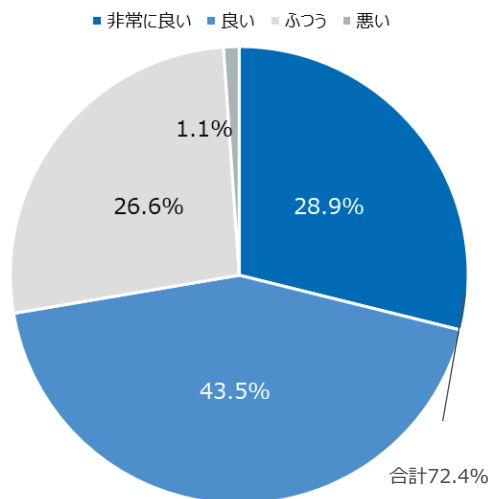
福島県産に限らずトマト購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産トマトの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が72.4%であった。

トマト購入時の重視点（n=3,356、複数回答）



※トマト購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上トマトを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トマトの購入者の評価（n=467）

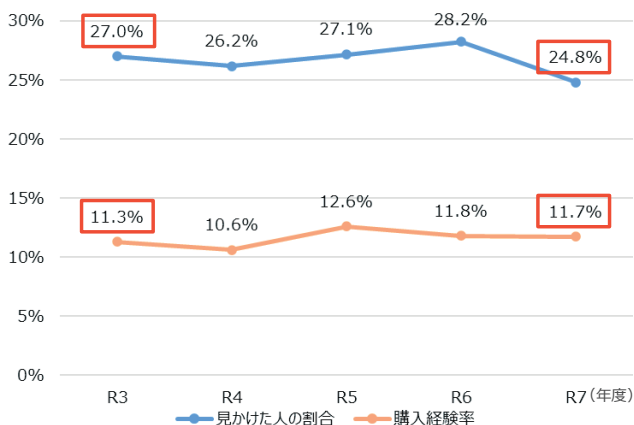


※福島県産トマトを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産トマトを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

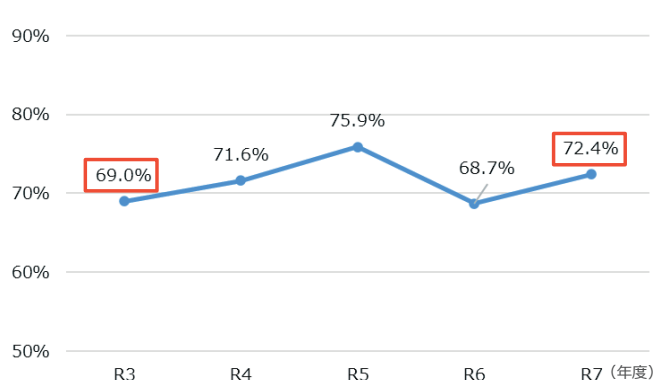
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産トマトを店頭で見かけた人の割合は2.2%下降、購入経験率は0.4%上昇した。福島県産トマトの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.4%上昇した。

福島県産トマトを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トマトを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,865、R4:3,665、R5:2,903、R6:2,633、R7:2,917。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産トマトを高く評価している人の割合

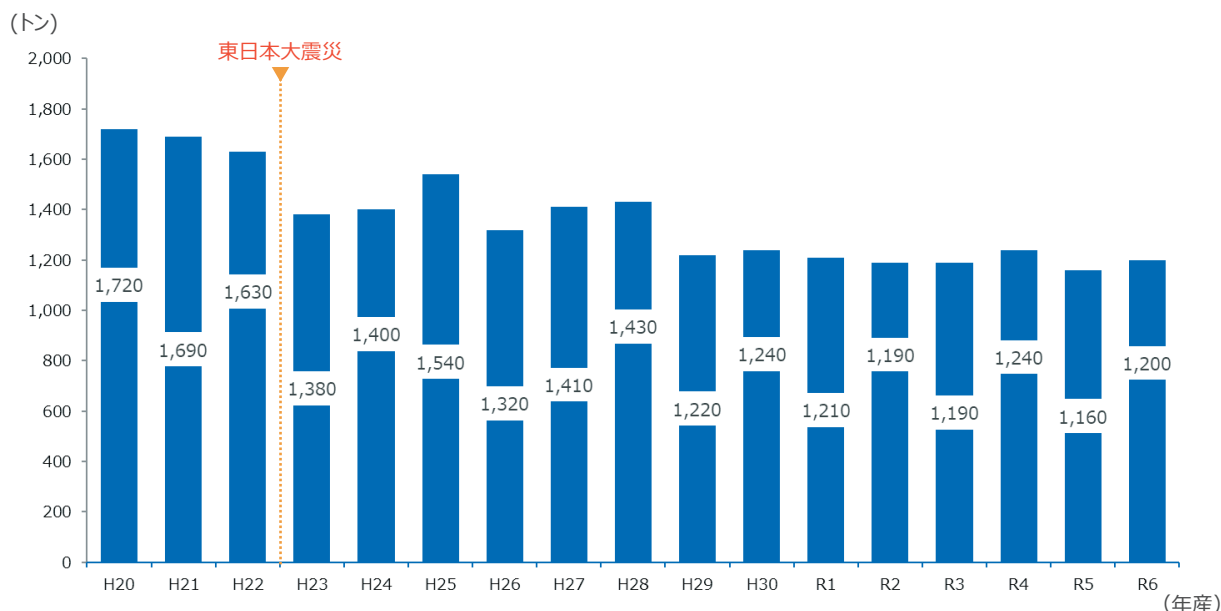


※福島県産トマトを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:1,248、R4:584、R5:502、R6:470、R7:467。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移

福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後に減少し、平成29年産以降、ほぼ横ばいの傾向であり、現在も震災前の水準に回復していない。

福島県産アスパラガスの出荷量の推移



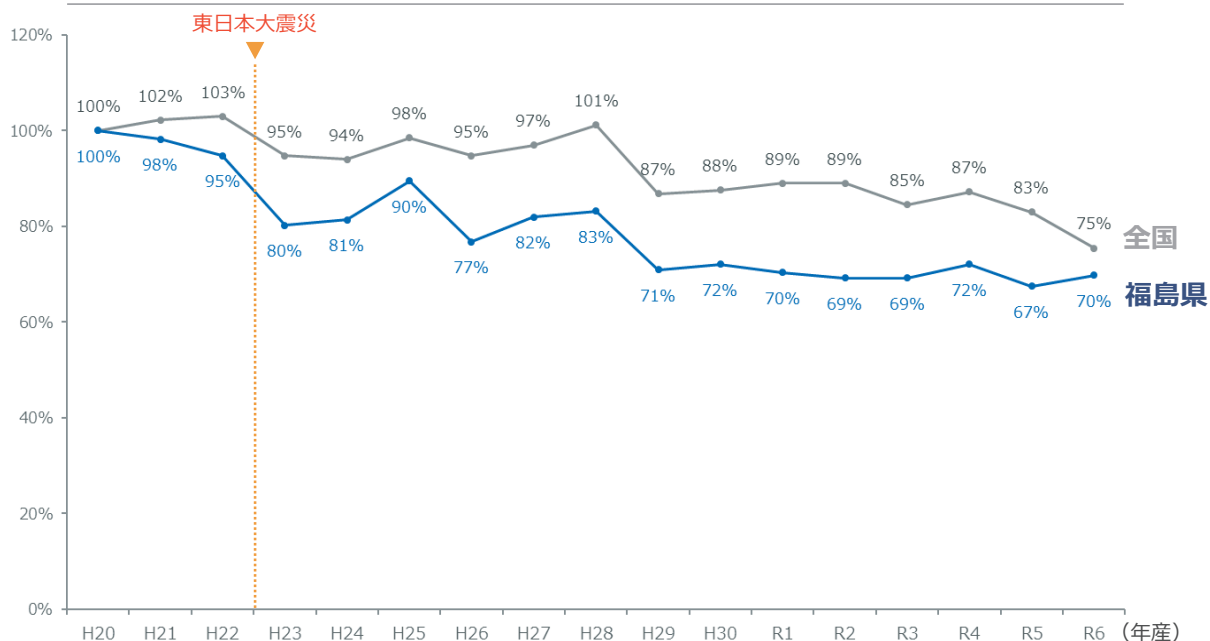
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

485

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移

全国のアスパラガスの出荷量は、平成20年産より2割以上減少し推移している。福島県産アスパラガスの出荷量は、震災直後と平成29年産で大きく減少した。平成29年産以降は全国の出荷量が減少傾向にある一方で、福島県産は概ね横ばいで推移している。

全国・福島県産アスパラガスの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

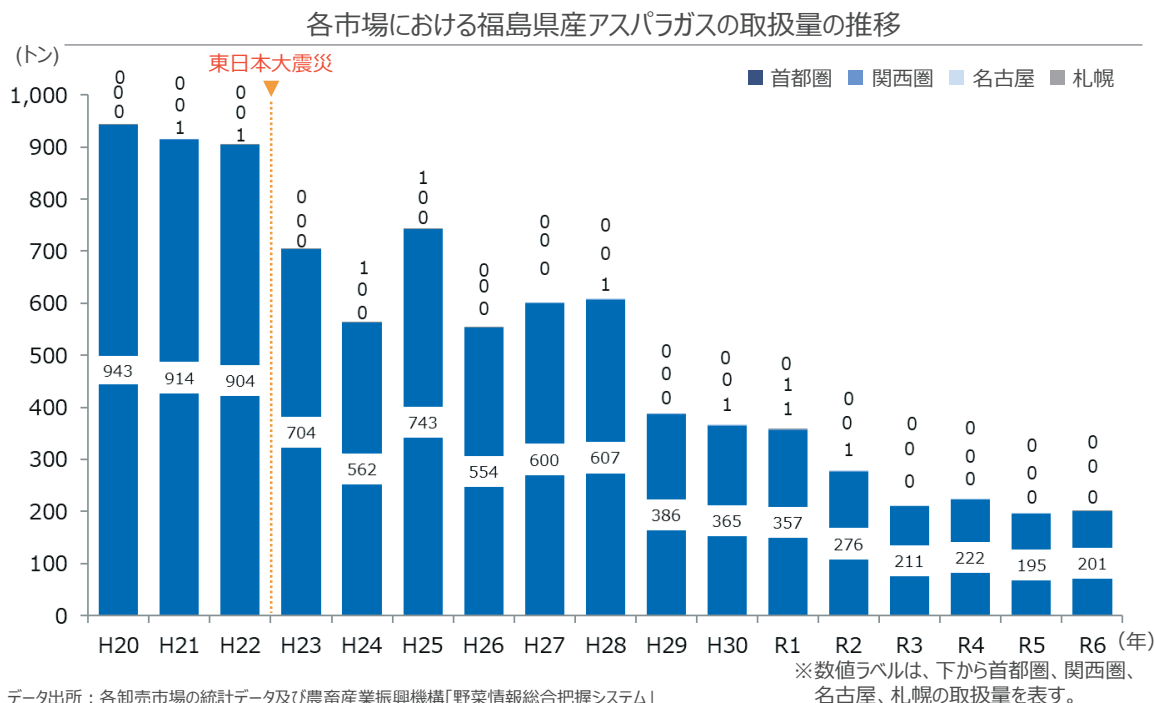


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

486

各市場における福島県産アスパラガスの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産アスパラガスは、ほとんどが首都圏で取り扱われており、関西圏や他地域での取扱いは極めて少量である。震災以降、首都圏での取扱量は段階的に減っているが、近年は概ね横ばいで推移している。



各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では3月～10月にかけて福島県産アスパラガスの取扱いがある(3月は1%に満たない数量)が、いずれの月もシェアは4位以下であった。横浜市中央卸売市場では5・7月に福島県産アスパラガスのシェアが10%程度であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ 色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	5%	7%	3%	6%	6%	6%	1%	0%	0%	153
栃木	1%	5%	7%	26%	21%	14%	30%	36%	31%	16%	0%	0%	814
メキシコ	70%	52%	38%	22%	5%	3%	0%	0%	7%	36%	62%	79%	722
佐賀	5%	20%	23%	9%	6%	28%	24%	15%	13%	9%	0%	0%	624
長崎	0%	6%	16%	9%	2%	12%	14%	11%	8%	7%	1%	0%	368
山形	0%	0%	0%	3%	14%	6%	5%	8%	7%	1%	0%	0%	201
総量	78	230	474	494	486	430	537	505	327	183	109	84	

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	6%	10%	4%	9%	8%	7%	5%	0%	0%	48
佐賀	7%	29%	24%	7%	6%	32%	22%	14%	16%	21%	0%	0%	146
メキシコ	71%	53%	41%	22%	1%	1%	1%	0%	3%	31%	68%	84%	128
熊本	0%	6%	16%	23%	5%	15%	18%	19%	16%	12%	0%	0%	125
栃木	0%	0%	0%	18%	16%	8%	16%	21%	23%	6%	0%	0%	111
秋田	22%	4%	0%	5%	26%	8%	12%	13%	10%	2%	0%	2%	85
総量	11	35	89	111	106	100	128	116	81	43	19	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 488

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産アスパラガスの取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長崎	2%	26%	50%	39%	15%	45%	54%	52%	39%	30%	5%	0%	183	
メキシコ	56%	43%	21%	15%	15%	13%	0%	0%	4%	31%	42%	31%	69	
福岡	0%	23%	15%	1%	9%	15%	11%	6%	18%	0%	0%	0%	47	
香川	0%	0%	0%	2%	1%	0%	2%	1%	12%	28%	48%	69%	43	
島根	0%	0%	6%	14%	5%	4%	6%	6%	7%	6%	2%	0%	27	
総量	5	19	51	36	38	71	78	59	45	30	25	20		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
福岡	0%	30%	41%	39%	21%	40%	42%	40%	41%	35%	4%	0%	111	
佐賀	27%	27%	22%	17%	18%	27%	28%	28%	29%	39%	23%	0%	76	
熊本	0%	1%	5%	13%	8%	7%	9%	14%	9%	6%	1%	0%	25	
愛媛	0%	9%	6%	10%	10%	10%	10%	7%	8%	6%	0%	0%	25	
メキシコ	68%	27%	6%	5%	0%	0%	0%	0%	3%	10%	69%	100%	19	
総量	3	14	46	33	28	42	49	39	26	16	5	3		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。489

各市場におけるアスパラガスの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産アスパラガスの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長野	6%	1%	4%	51%	64%	37%	34%	48%	49%	24%	0%	1%	275	
熊本	0%	13%	25%	12%	8%	33%	37%	24%	16%	14%	1%	0%	155	
メキシコ	91%	72%	42%	16%	5%	4%	0%	0%	7%	32%	86%	97%	142	
愛知	0%	4%	8%	6%	3%	6%	9%	10%	10%	7%	1%	0%	53	
佐賀	0%	2%	8%	4%	4%	6%	7%	5%	6%	3%	0%	0%	38	
総量	12	35	78	94	97	89	115	97	66	41	20	16		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に												
		■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	34%	5%	16%	82%	100%	98%	92%	100%	60%	0%	0%	7%	386	
メキシコ	65%	81%	71%	15%	0%	0%	0%	0%	30%	85%	82%	86%	105	
熊本	0%	6%	6%	2%	0%	2%	7%	0%	4%	3%	0%	0%	12	
福岡	0%	5%	4%	1%	0%	0%	0%	0%	3%	2%	0%	0%	5	
オーストラリア	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	10%	18%	7%	4	
総量	4	22	55	102	125	72	39	48	19	14	8	7		

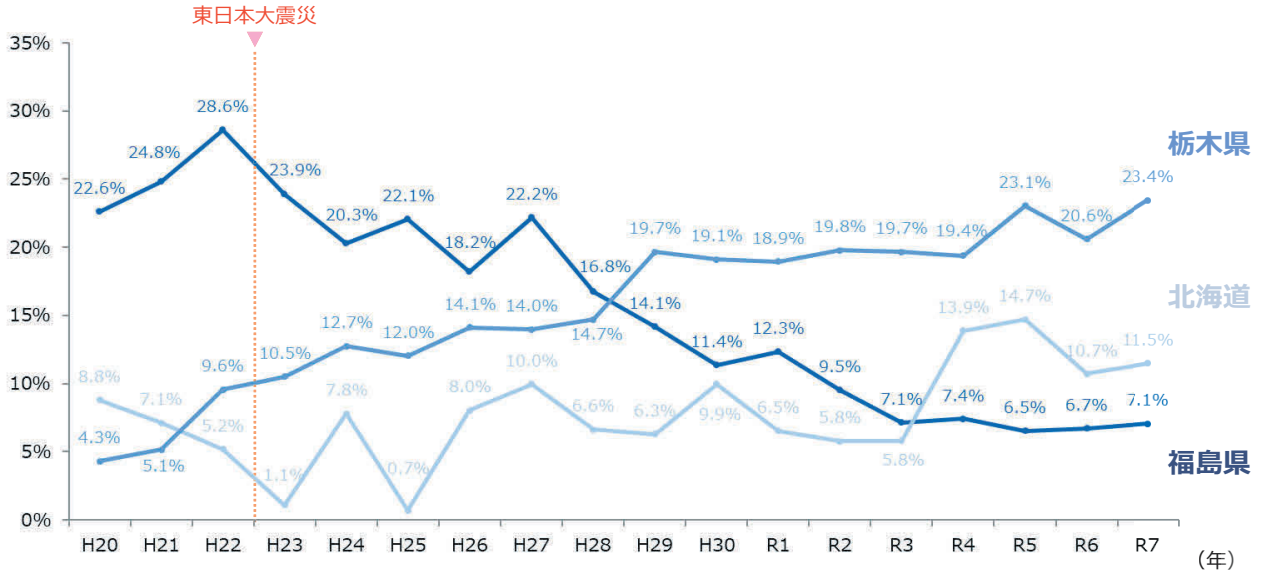
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスのシェアの推移

東京都中央卸売市場における5月の福島県産アスパラガスのシェアは、震災以降、徐々に縮小しており、平成29年以降は栃木県産、令和4年以降は北海道産を下回るようになり、その後概ね横ばいで推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(5月)

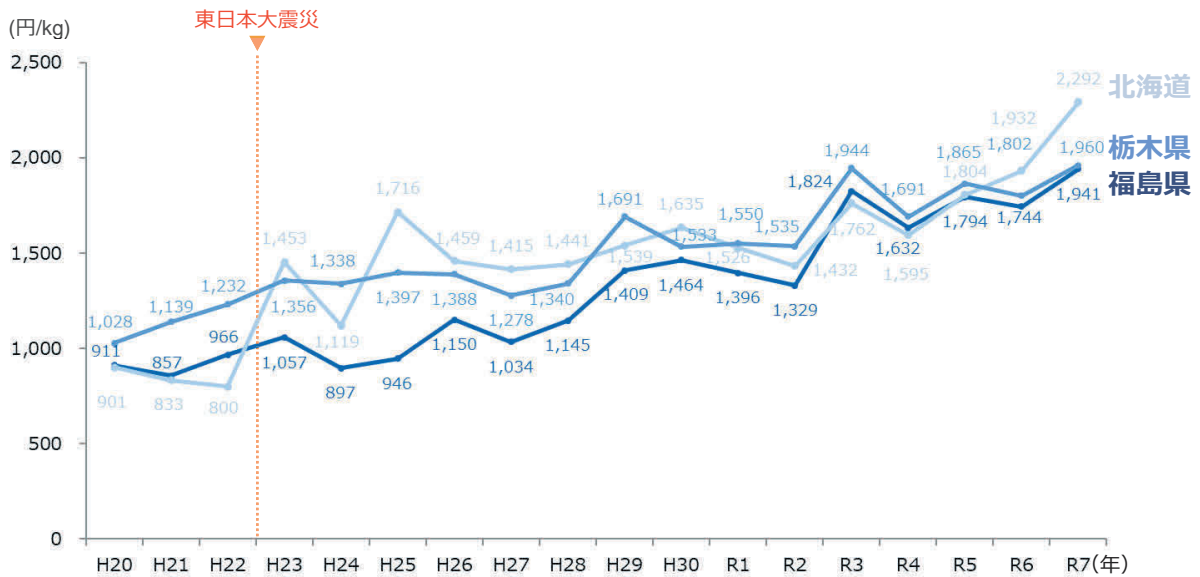


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産アスパラガスの単価の推移

東京都中央卸売市場における5月の福島県産アスパラガスの平均単価は、震災前から概ね継続して上昇しており、栃木県産との価格差は縮小しつつある。ただし、未だ栃木県産・北海道産よりも低い水準となっており、令和7年は北海道産との価格差が拡大した。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(5月)

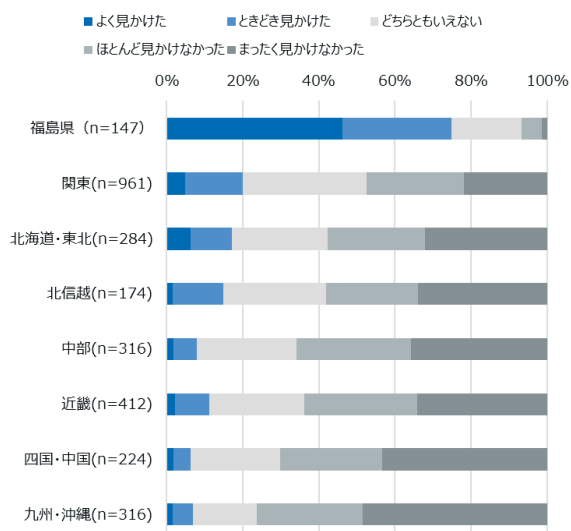


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産アスパラガスを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

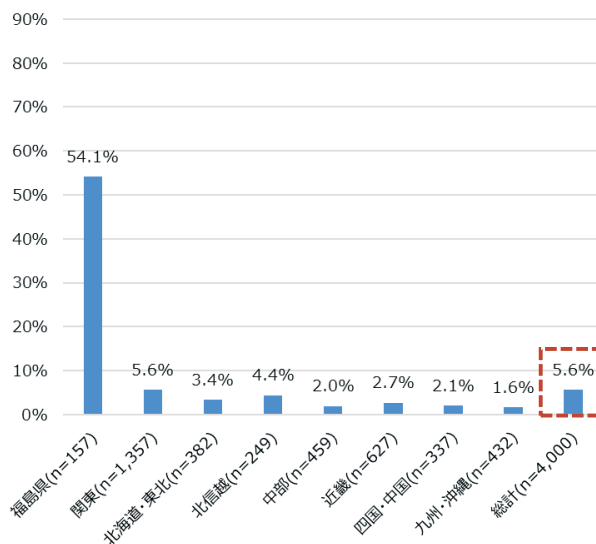
福島県産アスパラガスを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産アスパラガスを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.6%であった。

福島県産アスパラガスを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産アスパラガスの購入経験率



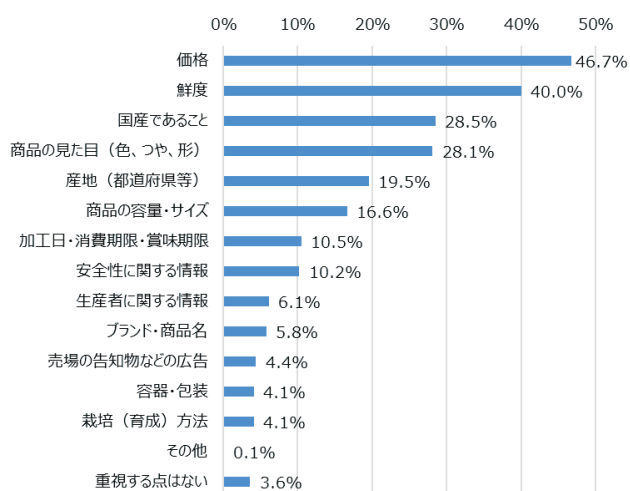
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていない場合は購入経験なしとなる。

493

アスパラガス購入時の重視点と福島県産アスパラガスの購入者の評価（消費者アンケート）

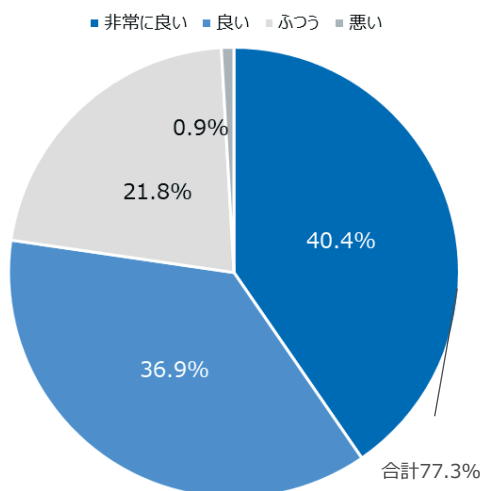
福島県産に限らずアスパラガス購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産アスパラガスの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が77.3%であった。

アスパラガス購入時の重視点 (n=1,980、複数回答)



※アスパラガス購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上アスパラガスを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産アスパラガスの購入者の評価 (n=225)



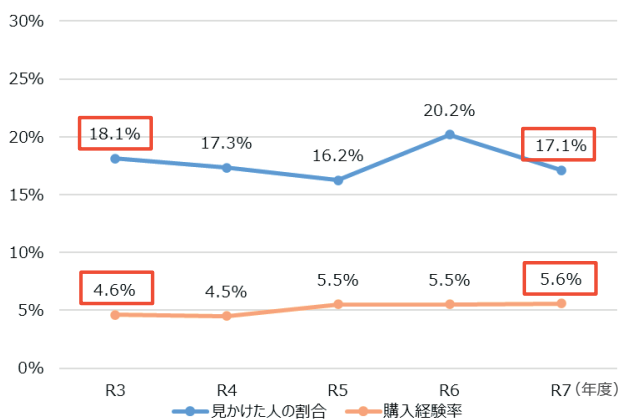
※福島県産アスパラガスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

494

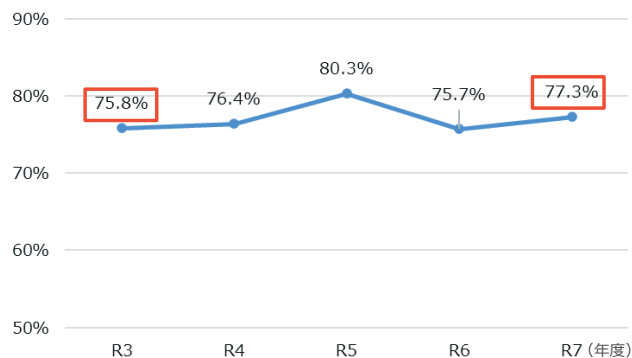
福島県産アスパラガスを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産アスパラガスを店頭で見かけた人の割合は1.0%下降、購入経験率は1.0%上昇した。福島県産アスパラガスの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.5%上昇した。

福島県産アスパラガスを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産アスパラガスを高く評価している人の割合



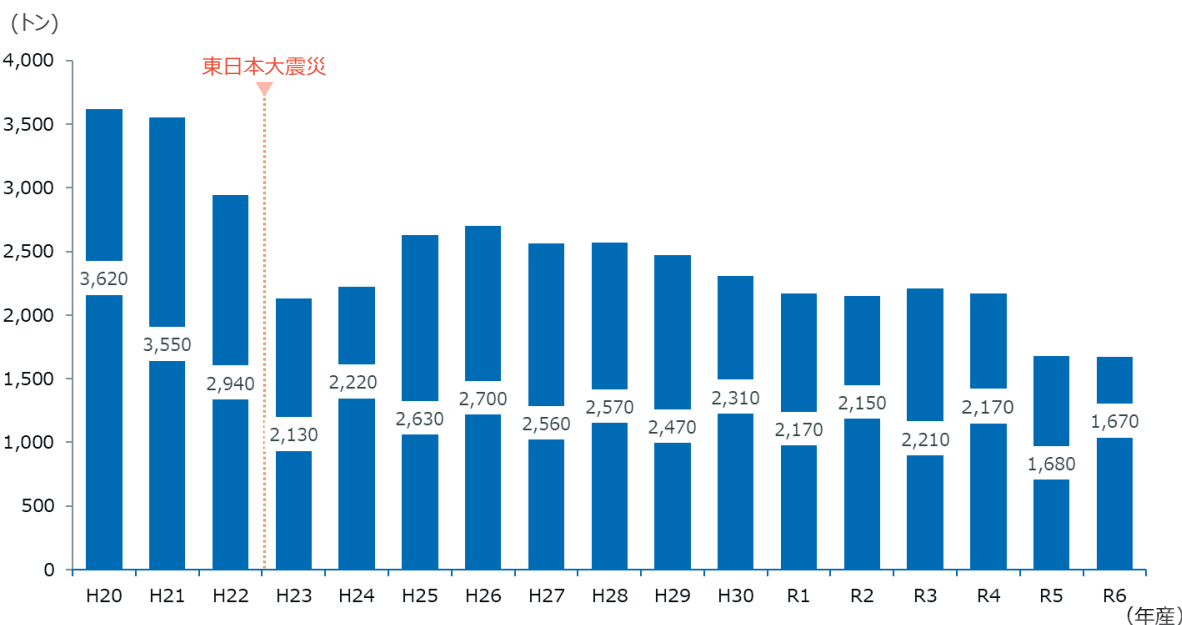
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産アスパラガスを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,548、R4:3,493、R5:2,752、R6:2,528、R7:2,834。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていけば購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産アスパラガスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR2:473、R3:507、R4:250、R5:219、R6:218、R7:225。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

福島県産さやいんげんは、震災後に出荷量が減少した。平成25年産以降、出荷量は回復傾向にあったが、平成28年産以降は再び減少傾向となり、令和5年産に大幅に減少し、令和6年産は1,670トンとなった。

福島県産さやいんげんの出荷量の推移

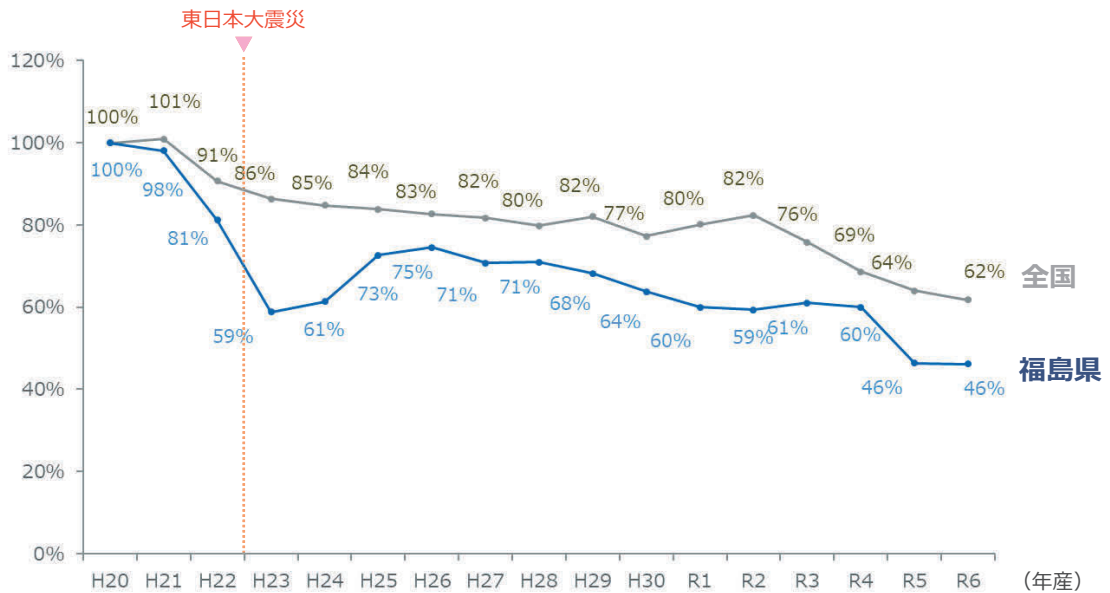


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移

全国のさやいんげんの出荷量は緩やかに減少している中で、福島県産さやいんげんは震災直後に出荷量が急減し、その後やや回復したが、平成28年産以降緩やかに減少した。令和5年産は大幅に減少し、令和6年産は平成20年産の46%となった。

全国・福島県産さやいんげんの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

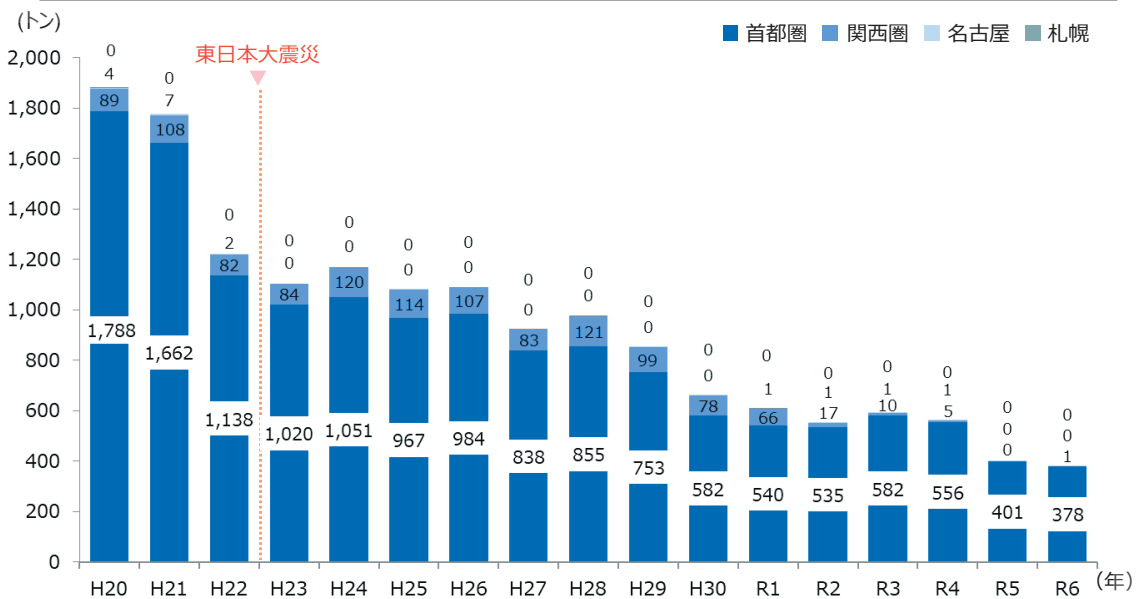


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産さやいんげんは、主に首都圏で取り扱われているが、その取扱量は震災前から徐々に減少し、令和6年の首都圏での取扱量は、378トンであった。

各市場における福島県産さやいんげんの取扱量の推移



※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

データ出所：各卸売市場統計のデータ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるさやいんげんの産地別シェア(令和6年産・首都圏)

福島県産さやいんげんのシェアは、東京都中央卸売市場では7月～10月、横浜市中心卸売市場では7月～9月は1位であった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	4%	3%	3%	4%	3%	9%	57%	42%	39%	26%	7%	2%	311
沖縄	65%	69%	70%	50%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	35%	431
鹿児島	10%	5%	5%	27%	30%	13%	0%	0%	1%	17%	39%	46%	282
千葉	1%	0%	1%	12%	39%	31%	2%	0%	0%	3%	10%	2%	199
茨城	0%	0%	0%	2%	10%	31%	15%	1%	3%	15%	6%	1%	168
長崎	1%	0%	1%	4%	14%	11%	1%	0%	0%	6%	31%	13%	132
総量	152	175	159	116	198	256	208	128	114	126	152	97	

横浜市中心卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	1%	7%	53%	53%	47%	28%	5%	0%	67
沖縄	79%	80%	83%	54%	5%	2%	0%	1%	1%	1%	0%	30%	100
鹿児島	10%	7%	7%	32%	38%	11%	0%	0%	10%	10%	52%	62%	71
茨城	0%	0%	0%	0%	17%	63%	24%	0%	2%	9%	8%	0%	66
千葉	0%	0%	0%	12%	34%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	24
山形	0%	0%	0%	0%	2%	4%	1%	0%	1%	34%	22%	2%	21
総量	29	33	32	24	46	64	53	26	24	27	32	20	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

499

各市場におけるさやいんげんの産地別シェア(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場共に、年間を通して福島県産さやいんげんの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	1
鹿児島	19%	22%	18%	80%	96%	65%	0%	0%	5%	39%	82%	86%	81
オマーン	73%	75%	72%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	56
北海道	2%	0%	0%	0%	0%	2%	29%	61%	67%	38%	1%	0%	22
愛媛	0%	0%	0%	0%	0%	22%	13%	1%	1%	2%	1%	0%	8
長野	0%	0%	0%	0%	0%	3%	39%	14%	6%	0%	0%	0%	8
総量	20	30	27	8	16	28	14	11	9	10	15	11	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	24%	11%	11%	40%	57%	30%	3%	0%	2%	32%	68%	54%	70
沖縄	23%	32%	51%	30%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	29
その他	35%	44%	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	21
熊本	8%	4%	5%	15%	22%	8%	1%	0%	0%	7%	13%	14%	21
高知	9%	9%	8%	16%	13%	13%	4%	0%	0%	1%	4%	14%	19
総量	19	21	21	18	26	28	12	7	6	12	28	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

500

各市場におけるさやいんげんの産地別シェア(令和6年産・その他)

福島県産さやいんげんの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位~3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鹿児島	53%	49%	47%	71%	77%	34%	0%	0%	0%	34%	76%	72%	98
長野	0%	0%	0%	0%	0%	6%	77%	76%	55%	24%	1%	0%	39
沖縄	24%	25%	18%	14%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	15
徳島	0%	0%	0%	0%	0%	26%	13%	0%	7%	16%	7%	0%	15
和歌山	0%	0%	0%	2%	14%	18%	1%	0%	0%	9%	10%	5%	14
総量	17	16	18	15	23	25	18	14	15	16	28	13	
札幌市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	55%	99%	100%	100%	100%	100%	40%	3%	44
高知	72%	69%	49%	60%	36%	1%	0%	0%	0%	0%	26%	62%	7
鹿児島	23%	12%	45%	36%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	32%	34%	3
沖縄	0%	14%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
オマーン	6%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	2	2	2	1	2	9	9	11	7	6	2	1	

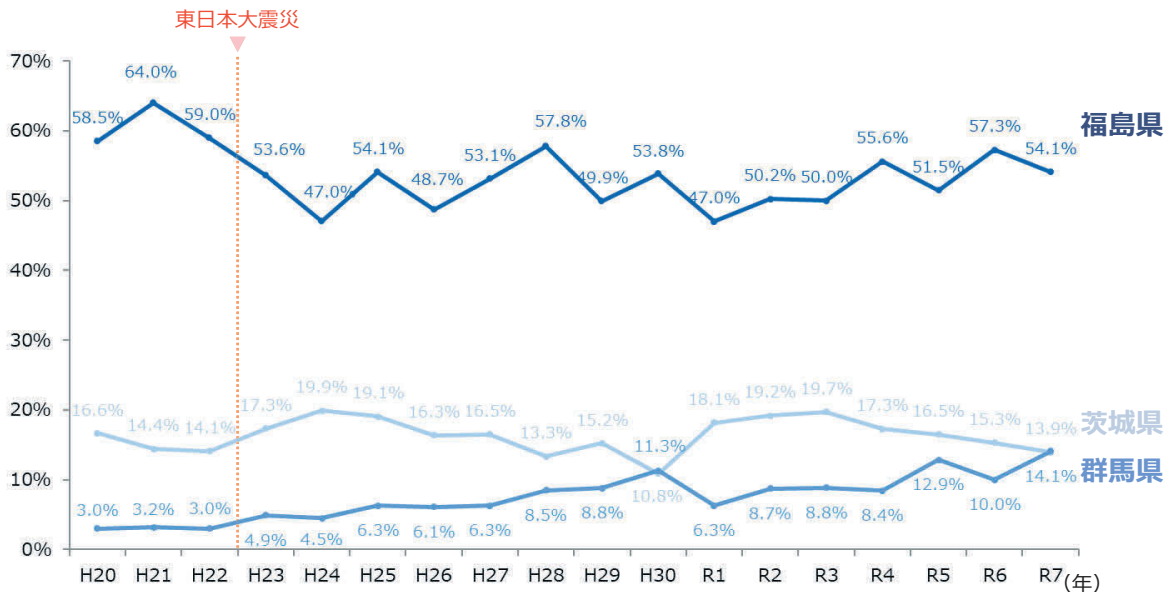
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 501

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんのシェアの推移

東京都中央卸売市場における7月の福島県産さやいんげんのシェアは、震災前から圧倒的に高く、震災後に縮小したものの、高い水準を維持しており、令和7年は54.1%となった。群馬県産・茨城県産のシェアとは約40%の差をつけシェア1位となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(7月)



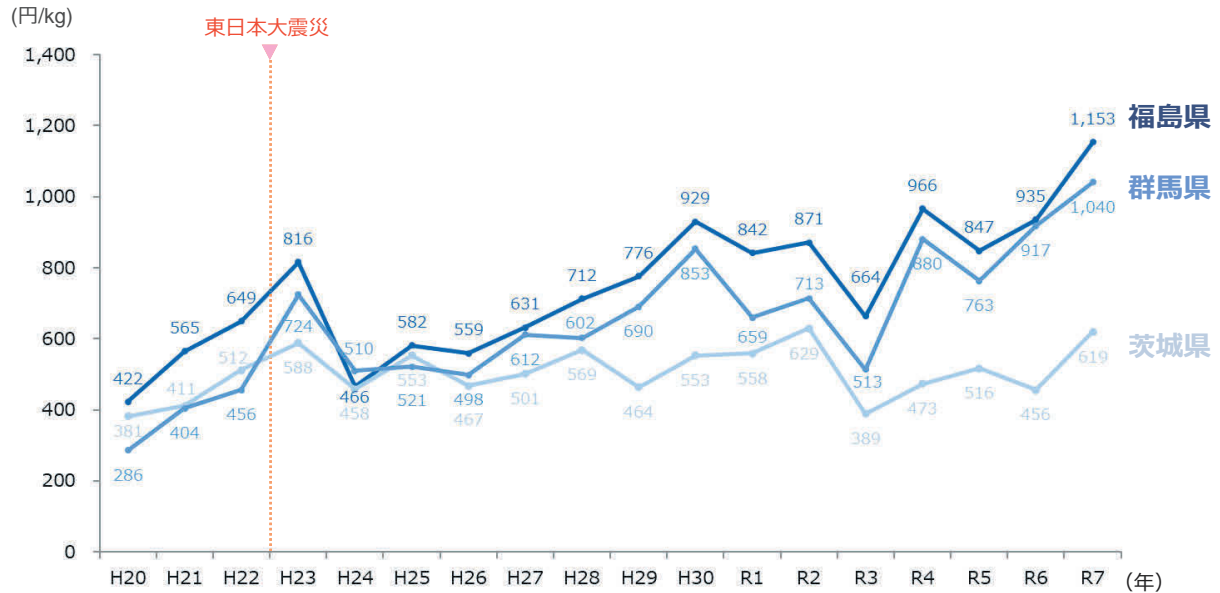
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

502

東京都中央卸売市場における福島県産さやいんげんの単価の推移

東京都中央卸売市場における7月の福島県産さやいんげんの平均単価は、平成24年に大幅に下落し、群馬県産・茨城県産と同程度の価格水準となった。平成25年以降は概ね上昇傾向で推移しており、両県を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(7月)



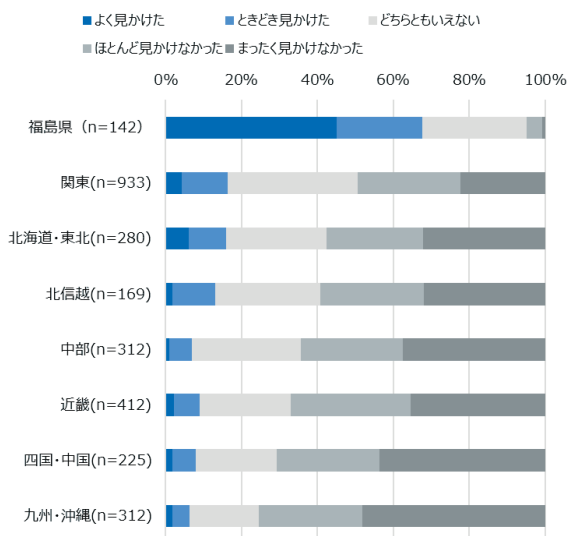
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

503

福島県産さやいんげんを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

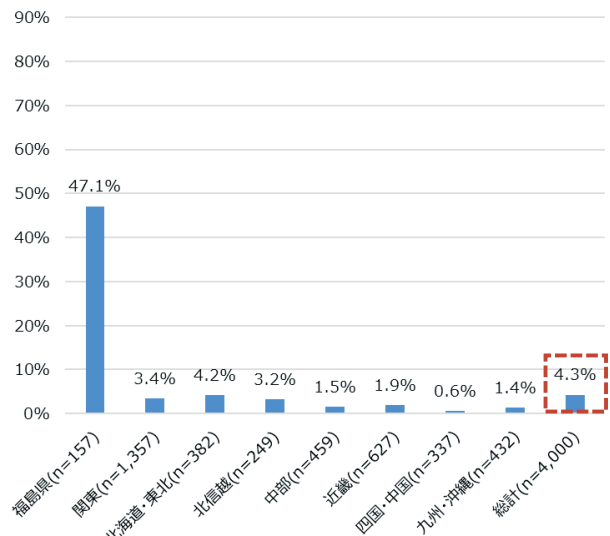
福島県産さやいんげんを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産さやいんげんを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.3%であった。

福島県産さやいんげんを店頭で見かけたか



※過去1〜2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産さやいんげんの購入経験率



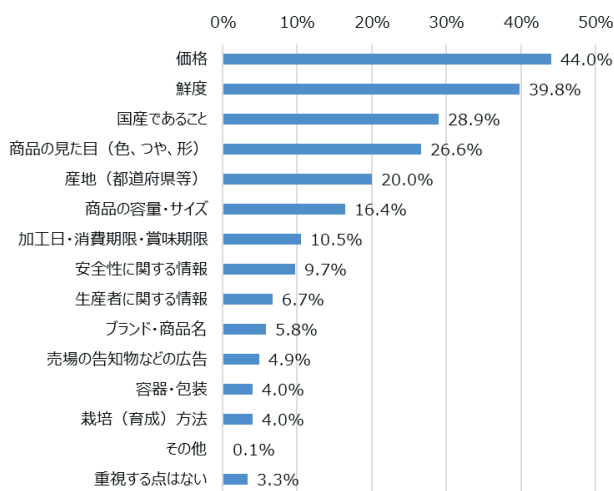
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。

504

さやいんげん購入時の重視点と福島県産さやいんげんの購入者の評価（消費者アンケート）

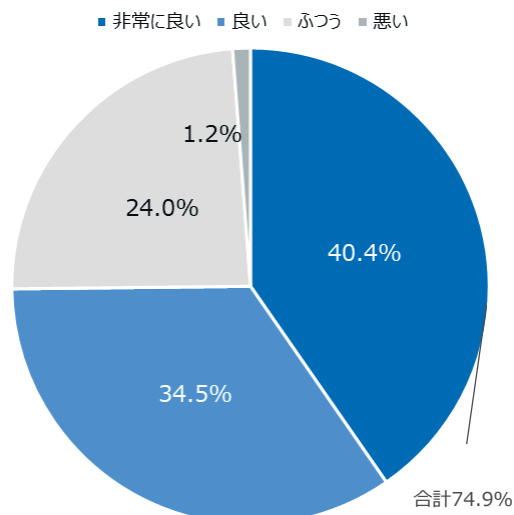
福島県産に限らずさやいんげん購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産さやいんげんの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.9%であった。

さやいんげん購入時の重視点（n=1,659、複数回答）



※さやいんげん購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上さやいんげんを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産さやいんげんの購入者の評価（n=171）

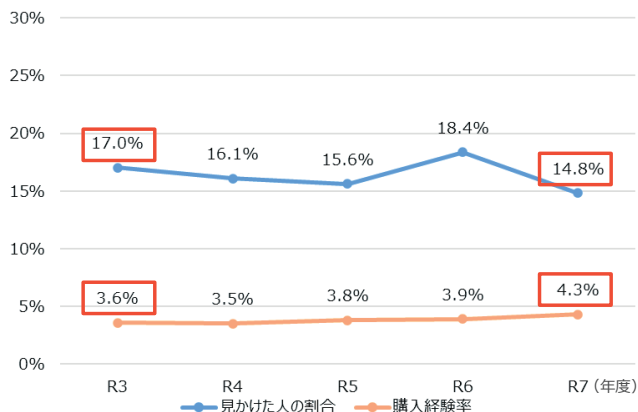


※福島県産さやいんげんを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産さやいんげんを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

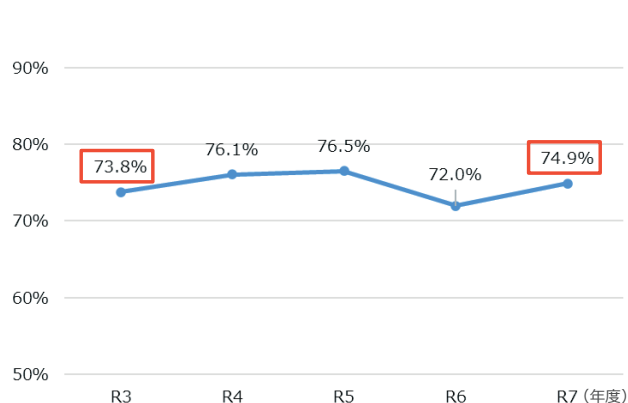
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産さやいんげんを店頭で見かけた人の割合は2.2%下降、購入経験率は0.7%上昇した。福島県産さやいんげんの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は1.1%上昇した。

福島県産さやいんげんを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産さやいんげんを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR3:7,434、R4:3,398、R5:2,726、R6:2,495、R7:2,735。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産さやいんげんを高く評価している人の割合

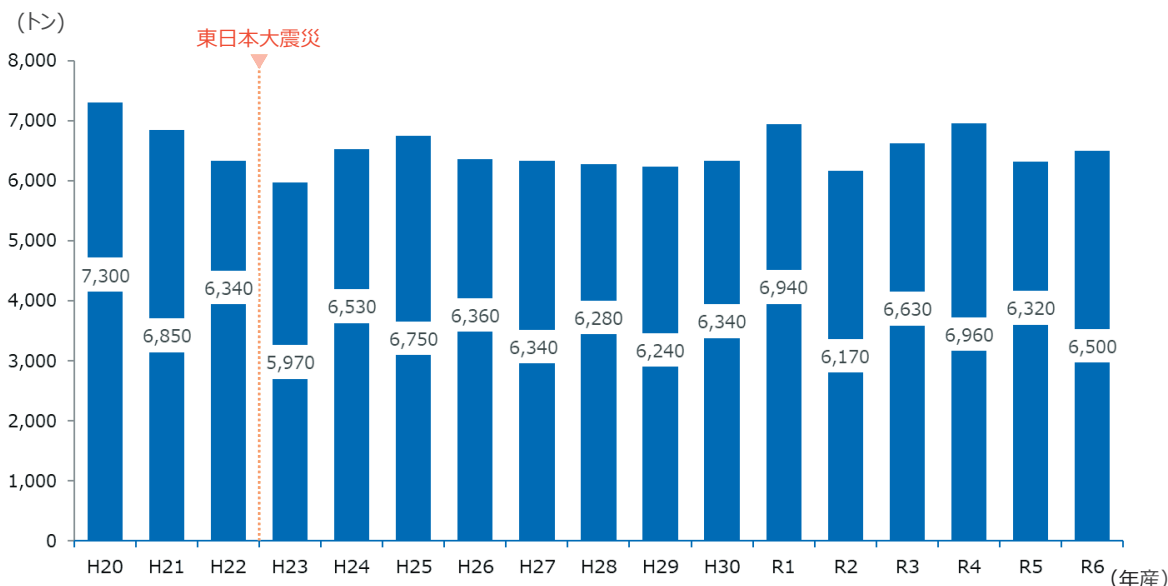


※福島県産さやいんげんを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR2:333、R3:400、R4:193、R5:153、R6:157、R7:171。

福島県産ねぎの出荷量の推移

福島県産ねぎの出荷量は震災直後に減少したが、平成23年産から平成25年産にかけて徐々に増加し、平成26年産以降は、概ね横ばいで推移しており、令和6年産は、6,500トンとなった。

福島県産ねぎの出荷量の推移

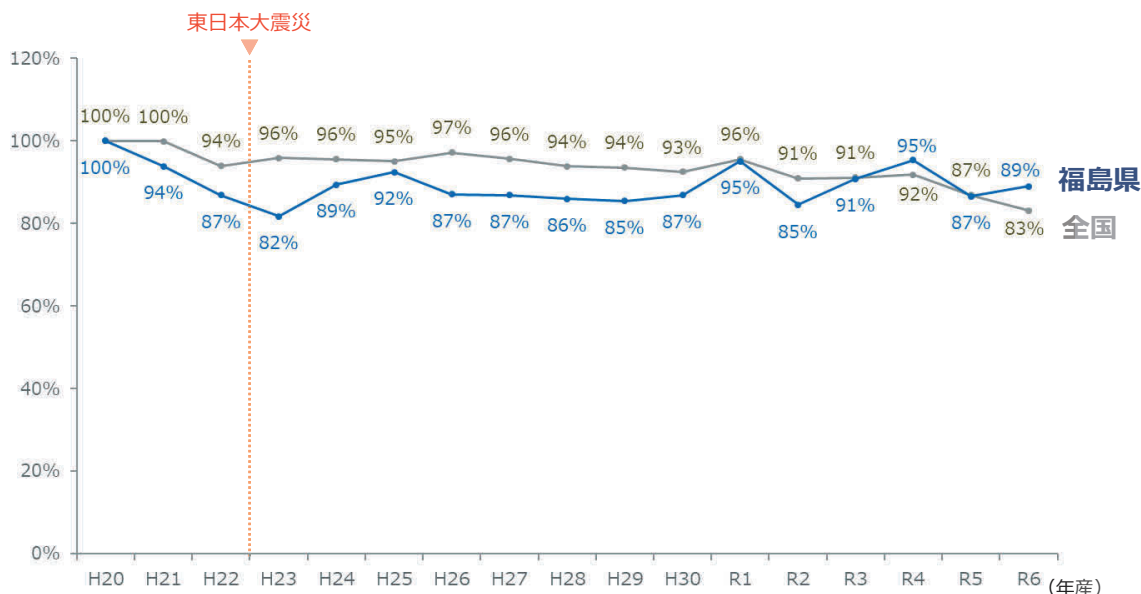


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移

全国のねぎの出荷量は、平成27年産以降、令和元年産を除いては緩やかな減少傾向にある。福島県産ねぎについては、平成27年産以降、令和元年産と令和4年産を除き、ほぼ横ばいで推移しており、令和6年産は全国の出荷量の水準を上回った。

全国・福島県産ねぎの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

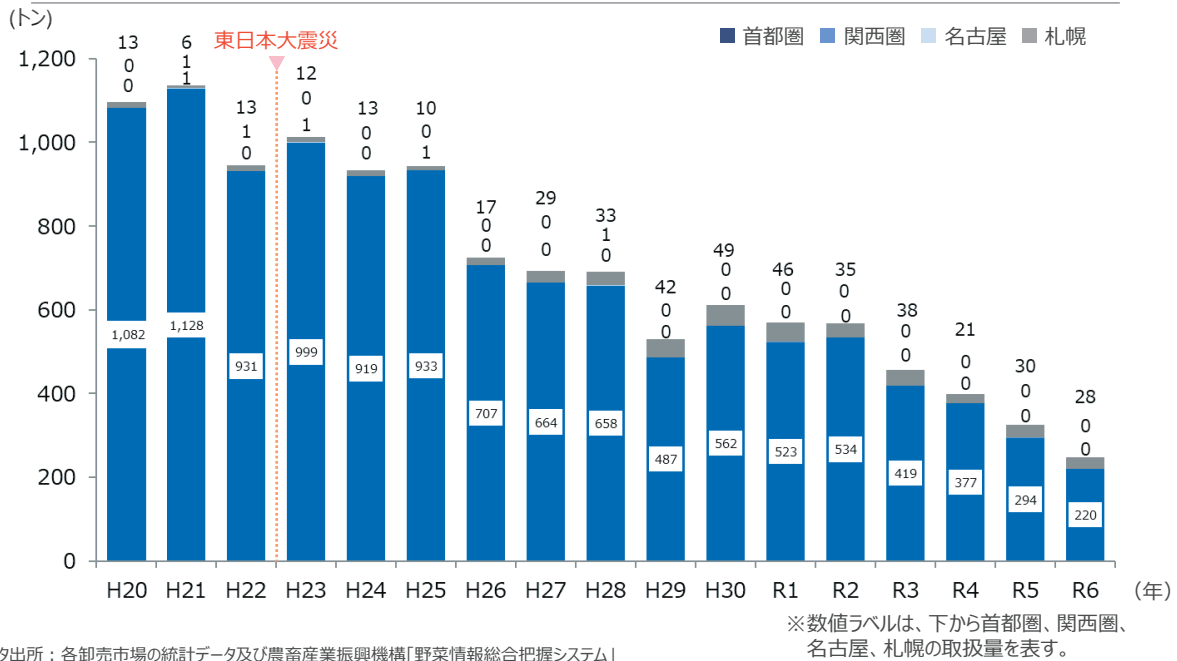


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産のねぎは、ほとんどが首都圏で取り扱われている。震災以降、段階的に取扱量が減少しているが、特に令和3年以降は減少傾向が顕著であり、令和6年は平成20年以降で過去最低水準の約250トンとなった。

各市場における福島県産ねぎの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

509

各市場におけるねぎの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産ねぎの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して0～1%程度であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
東京都中央卸売市場														
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	200
茨城	26%	18%	17%	23%	56%	68%	59%	29%	8%	6%	12%	25%	13,375	
千葉	30%	37%	39%	36%	21%	20%	14%	3%	0%	1%	3%	17%	8,801	
埼玉	20%	22%	23%	21%	8%	3%	4%	2%	1%	1%	6%	16%	5,277	
秋田	1%	0%	0%	1%	1%	0%	6%	21%	25%	23%	23%	8%	4,708	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	17%	28%	27%	10%	0%	3,795	
総量	4,627	4,087	3,874	3,501	3,645	3,422	3,366	3,675	3,868	4,968	4,930	5,145		
横浜市中央卸売市場														
福島	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	20	
千葉	47%	55%	54%	52%	25%	23%	13%	4%	3%	2%	6%	23%	1,801	
茨城	15%	7%	8%	13%	40%	51%	40%	21%	8%	7%	8%	19%	1,313	
秋田	0%	0%	0%	1%	3%	1%	6%	25%	27%	25%	29%	12%	781	
埼玉	12%	15%	21%	23%	18%	10%	8%	5%	3%	4%	5%	8%	757	
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	15%	24%	22%	9%	2%	480	
総量	645	621	583	512	529	472	511	531	549	653	668	754		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。510

各市場におけるねぎの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産ねぎの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
鳥取		21%	18%	26%	29%	24%	23%	22%	18%	7%	6%	10%	11%	1,426
北海道		3%	0%	1%	3%	0%	1%	19%	34%	46%	43%	15%	0%	1,176
長野		1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	23%	33%	33%	35%	17%	1,154
群馬		29%	25%	18%	16%	5%	1%	1%	0%	0%	3%	13%	26%	1,112
大分		12%	14%	16%	15%	11%	11%	4%	1%	0%	0%	0%	7%	626
総量		862	756	725	609	530	458	484	546	683	900	939	989	

京都市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
京都		19%	18%	21%	24%	26%	28%	21%	17%	14%	15%	18%	18%	572
鳥取		20%	17%	23%	27%	25%	23%	21%	19%	7%	8%	10%	12%	512
大分		20%	23%	23%	21%	20%	22%	16%	17%	3%	4%	8%	21%	490
北海道		0%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	24%	48%	43%	11%	0%	324
滋賀		19%	23%	16%	9%	7%	2%	3%	6%	6%	4%	8%	10%	306
総量		301	292	286	226	182	190	189	189	213	269	279	338	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 511

各市場におけるねぎの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産ねぎの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

名古屋市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
大分		29%	34%	41%	42%	37%	35%	30%	5%	0%	0%	2%	16%	1,807
北海道		0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	37%	53%	49%	21%	0%	1,388
長野		8%	3%	0%	1%	0%	0%	2%	24%	28%	28%	35%	31%	1,351
茨城		7%	7%	7%	8%	20%	26%	26%	14%	6%	3%	4%	6%	861
群馬		11%	10%	12%	9%	7%	1%	2%	1%	2%	3%	5%	13%	579
総量		817	733	714	643	560	537	517	648	773	916	933	969	

札幌市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		2%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	28
北海道		1%	0%	2%	2%	9%	44%	83%	98%	100%	100%	95%	16%	4,120
茨城		21%	15%	14%	21%	63%	46%	12%	1%	0%	0%	0%	26%	957
埼玉		39%	43%	50%	44%	14%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	26%	889
群馬		15%	15%	12%	10%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	9%	264
千葉		8%	7%	10%	12%	3%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	4%	199
総量		355	379	412	402	412	454	559	654	867	1,081	766	535	

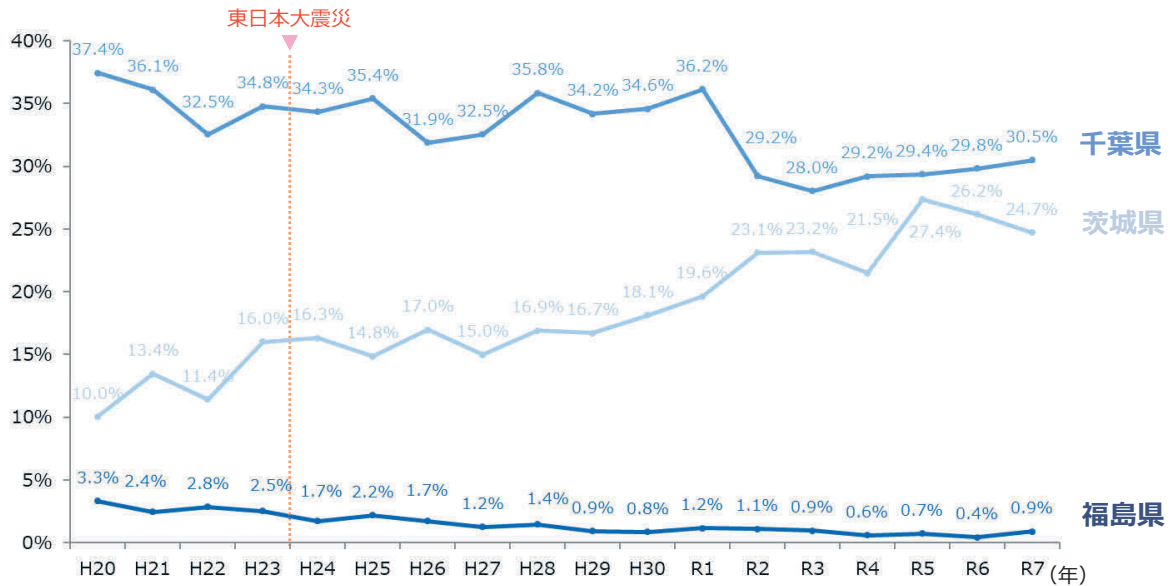
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎのシェアの推移

東京都中央卸売市場における1月の福島県産ねぎのシェアは、震災後、徐々に減少し、令和3年以降は1%を下回っている。近年、茨城県産のシェアが拡大傾向にあり、シェア1位の千葉県産のシェアに迫っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(1月)



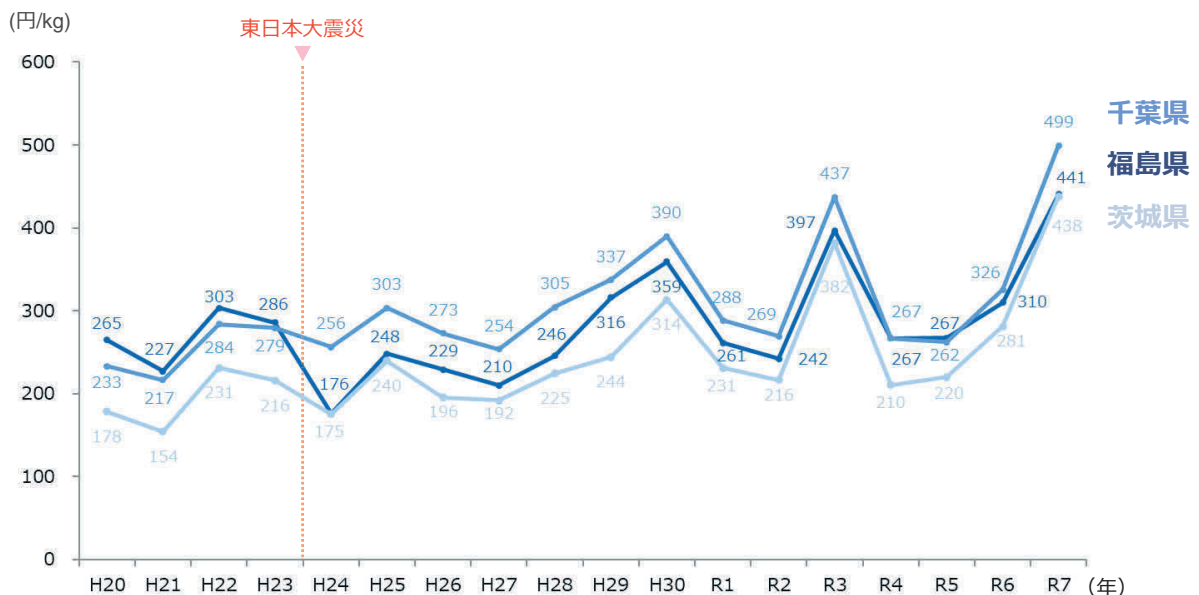
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

513

東京都中央卸売市場における福島県産ねぎの単価の推移

東京都中央卸売市場における1月の福島県産ねぎの平均単価は、震災前は千葉県産より高い水準だったが、震災後に価格ポジションが逆転した。震災前後ともに茨城県産より福島県産は高い水準を維持しているが、平成24年以降、価格差が縮まっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(1月)



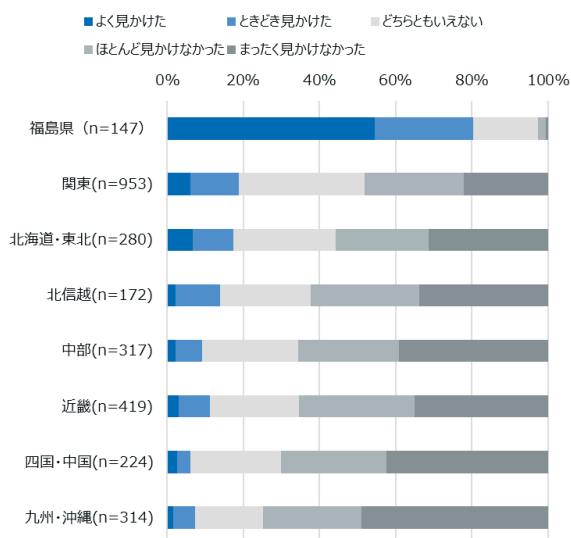
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

514

福島県産ねぎを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

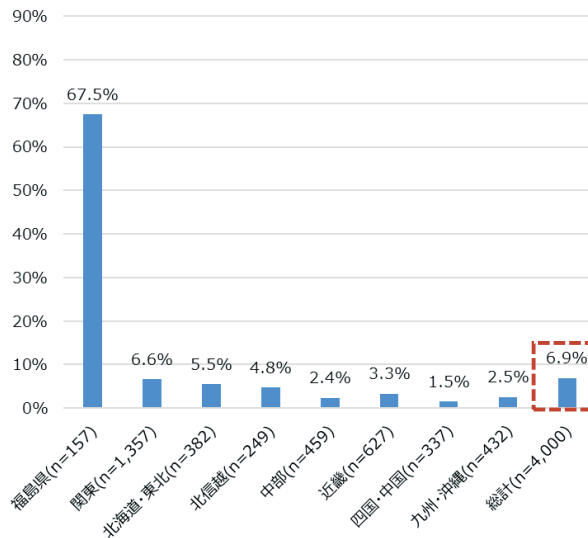
福島県産ねぎを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ねぎを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.9%であった。

福島県産ねぎを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ねぎの購入経験率

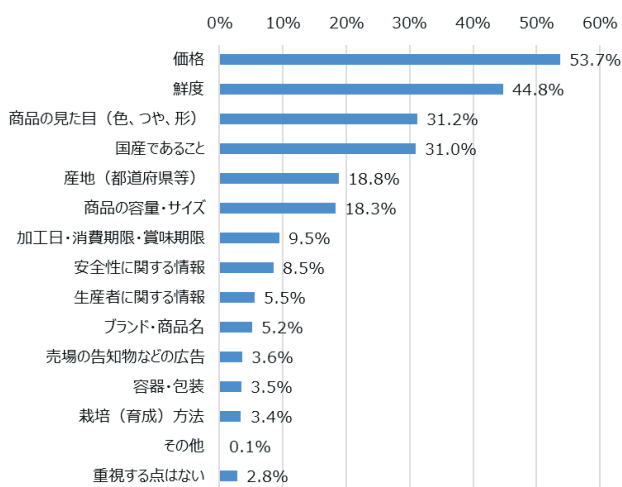


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

ねぎ購入時の重視点と福島県産ねぎの購入者の評価（消費者アンケート）

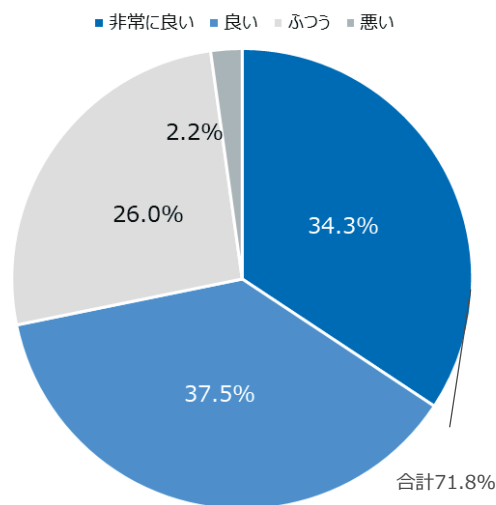
福島県産に限らずねぎ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ねぎの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が71.8%であった。

ねぎ購入時の重視点 (n=3,270、複数回答)



※ねぎ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ねぎを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ねぎの購入者の評価 (n=277)

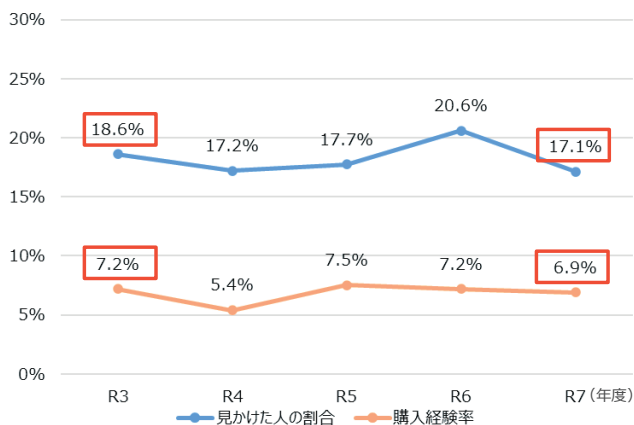


※福島県産ねぎを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

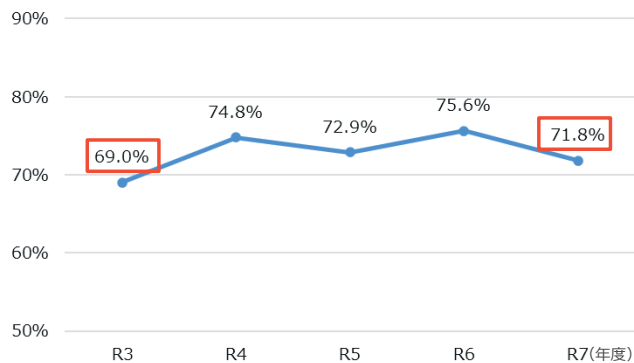
福島県産ねぎを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産ねぎを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ1.5%、0.3%下降した。福島県産ねぎの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.8%上昇した。

福島県産ねぎを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産ねぎを高く評価している人の割合



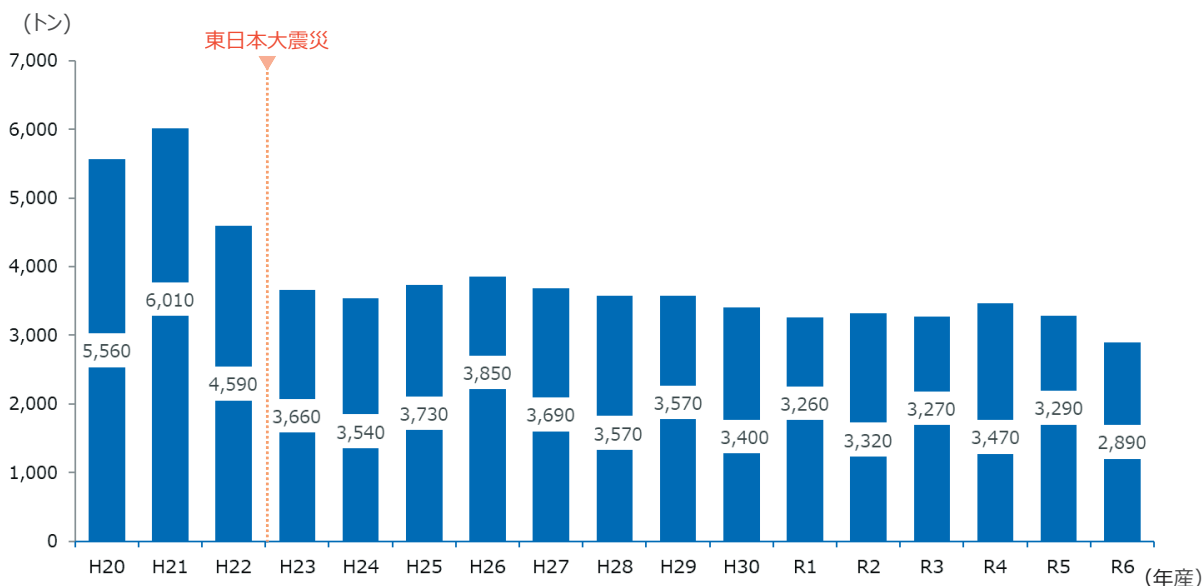
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ねぎを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,653、R4:3,537、R5:2,813、R6:2,562、R7:2,826。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産ねぎを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:795、R4:297、R5:298、R6:287、R7:277。

福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

福島県産ブロッコリーの出荷量は、平成22年産・平成23年産が大きく減少し、その後は概ね横ばいで推移しており、令和6年産はやや減少し、2,890トンとなった。

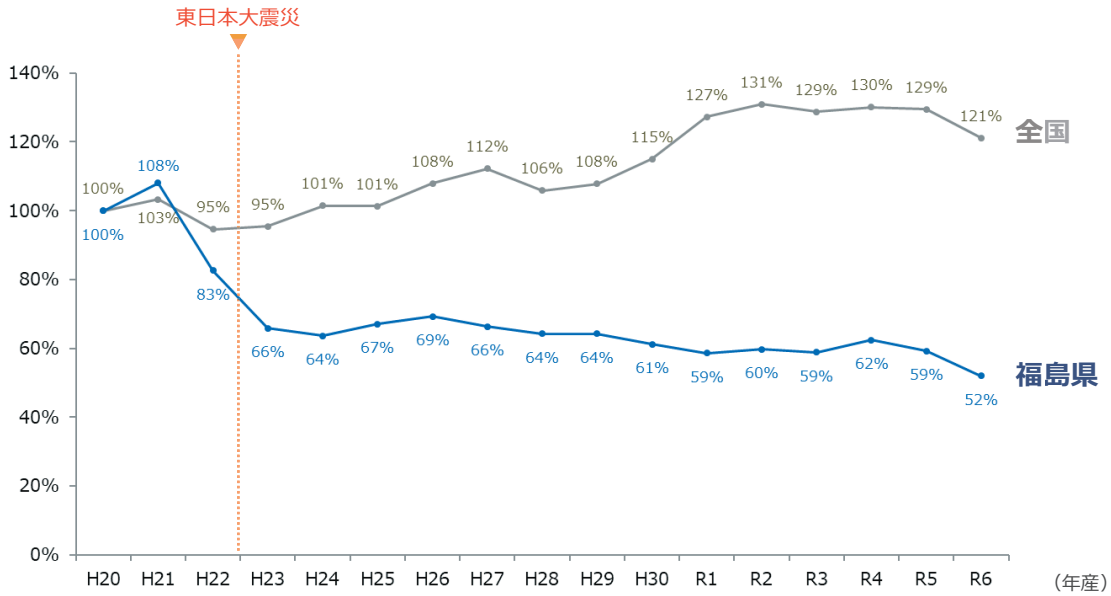
福島県産ブロッコリーの出荷量の推移



全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移

全国のブロッコリーの出荷量は、平成23年産から概ね増加傾向にあり、令和6年産は121%となった。一方、福島県産の出荷量は、平成21年産をピークに平成22・23年産が大きく減少した後、概ね横ばいで推移し、令和6年産は52%となった。

全国・福島県産ブロッコリーの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

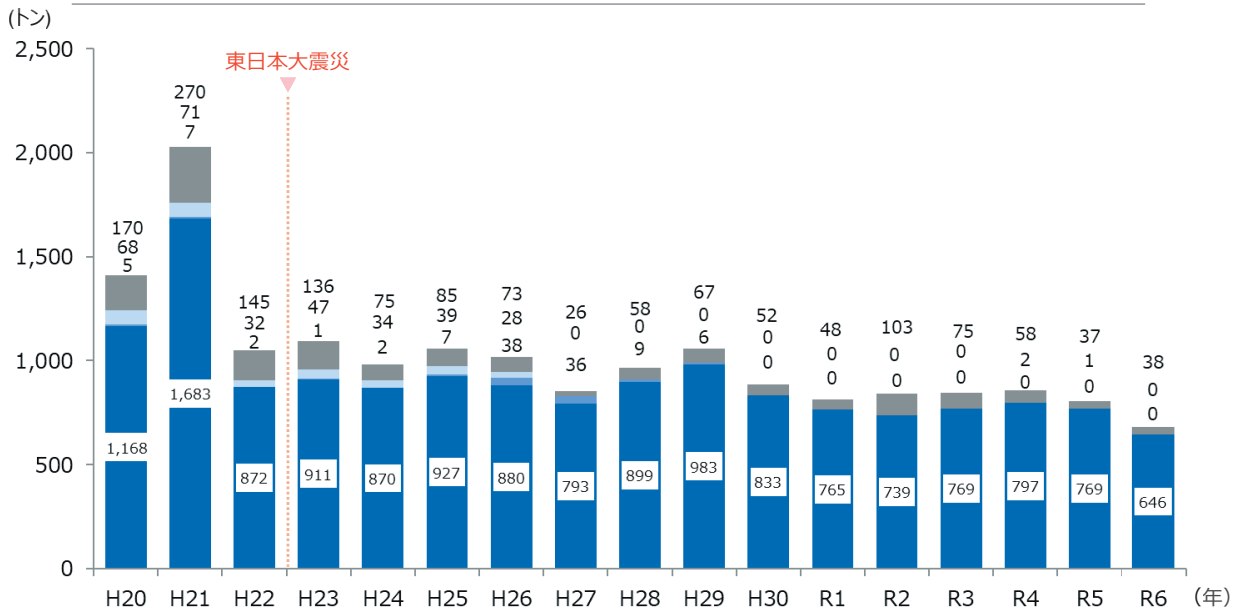


データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ブロッコリーは、主に首都圏で取り扱われている。震災直前の平成22年以降、ほぼ横ばいの取扱量となっていたが、平成30年以降はやや低い水準で推移するようになり、令和6年の首都圏の取扱量は646トンとなった。

各市場における福島県産ブロッコリーの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるブロッコリーの産地別シェア(令和6年産・首都圏)

福島県産ブロッコリーのシェアは、東京都中央卸売市場では6月に3位となった。横浜市中央卸売市場では5月に2位となった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	8%	8%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	506
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	25%	71%	73%	65%	45%	5%	0%	6,940
香川	24%	31%	38%	32%	16%	1%	0%	0%	0%	0%	8%	20%	5,522
熊本	19%	21%	22%	20%	14%	1%	0%	0%	0%	2%	18%	15%	4,197
長野	3%	3%	2%	2%	7%	28%	21%	21%	28%	18%	5%	3%	3,520
愛知	23%	19%	15%	7%	5%	0%	0%	0%	0%	1%	9%	16%	3,119
総量	3,813	4,000	3,072	3,411	2,169	2,793	2,822	2,198	2,022	2,513	2,682	2,656	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	22%	16%	0%	0%	0%	8%	4%	1%	140
香川	45%	52%	55%	49%	38%	3%	0%	0%	0%	0%	17%	35%	1,071
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	18%	61%	67%	56%	44%	5%	0%	742
長野	0%	0%	0%	0%	2%	57%	38%	33%	44%	36%	2%	0%	627
愛知	27%	23%	23%	10%	11%	0%	0%	0%	0%	0%	13%	18%	463
熊本	13%	15%	14%	18%	10%	1%	0%	0%	0%	3%	22%	14%	384
総量	422	506	339	372	234	294	337	271	258	328	257	319	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。521

各市場におけるブロッコリーの産地別シェア(令和6年産・関西圏)

福島県産ブロッコリーの取扱いは、大阪市中央卸売市場・京都市中央卸売市場において年間を通して見られなかった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
徳島	43%	55%	65%	63%	49%	35%	15%	11%	21%	18%	39%	52%	2,533
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	8%	50%	56%	47%	44%	12%	0%	1,109
長野	0%	0%	0%	0%	1%	28%	35%	33%	26%	17%	1%	0%	744
香川	11%	10%	16%	22%	15%	2%	0%	0%	0%	3%	15%	17%	605
鳥取	9%	4%	4%	5%	10%	19%	0%	0%	0%	11%	15%	8%	475
総量	605	679	471	476	542	574	643	482	397	497	581	558	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	26%	92%	93%	85%	63%	9%	0%	947
徳島	40%	52%	60%	51%	48%	16%	0%	0%	0%	6%	33%	46%	821
鳥取	10%	8%	11%	7%	24%	21%	0%	0%	0%	7%	12%	12%	266
長野	0%	0%	0%	0%	2%	15%	8%	7%	15%	10%	0%	0%	142
長崎	9%	7%	5%	18%	4%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	3%	132
総量	244	278	184	235	237	254	314	259	180	281	252	199	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。522

各市場におけるブロッコリーの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産ブロッコリーの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、1月～3月・5月・11月・12月に福島県産ブロッコリーの取扱いがあった(3月・5月は1%に満たない数量)。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
香川	23%	26%	27%	47%	51%	9%	0%	0%	0%	8%	47%	40%	1,942	
愛知	45%	44%	35%	18%	9%	2%	0%	0%	0%	3%	19%	29%	1,479	
長野	0%	0%	0%	0%	7%	49%	42%	37%	48%	31%	1%	0%	1,173	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	9%	56%	63%	52%	34%	2%	0%	1,123	
徳島	8%	11%	18%	18%	17%	5%	0%	0%	0%	12%	10%	11%	753	
総量	784	871	569	776	638	637	595	481	422	600	750	589		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	9%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	7%	38	
北海道	0%	0%	0%	0%	40%	98%	100%	100%	100%	100%	71%	1%	3,867	
熊本	30%	43%	39%	52%	20%	1%	0%	0%	0%	0%	20%	25%	377	
徳島	11%	10%	24%	17%	19%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	21%	151	
愛知	23%	20%	10%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	19%	140	
長崎	12%	11%	17%	17%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	12%	133	
総量	198	205	143	129	107	429	1,144	839	724	537	225	137		

データ出所：各卸売市場の統計データ

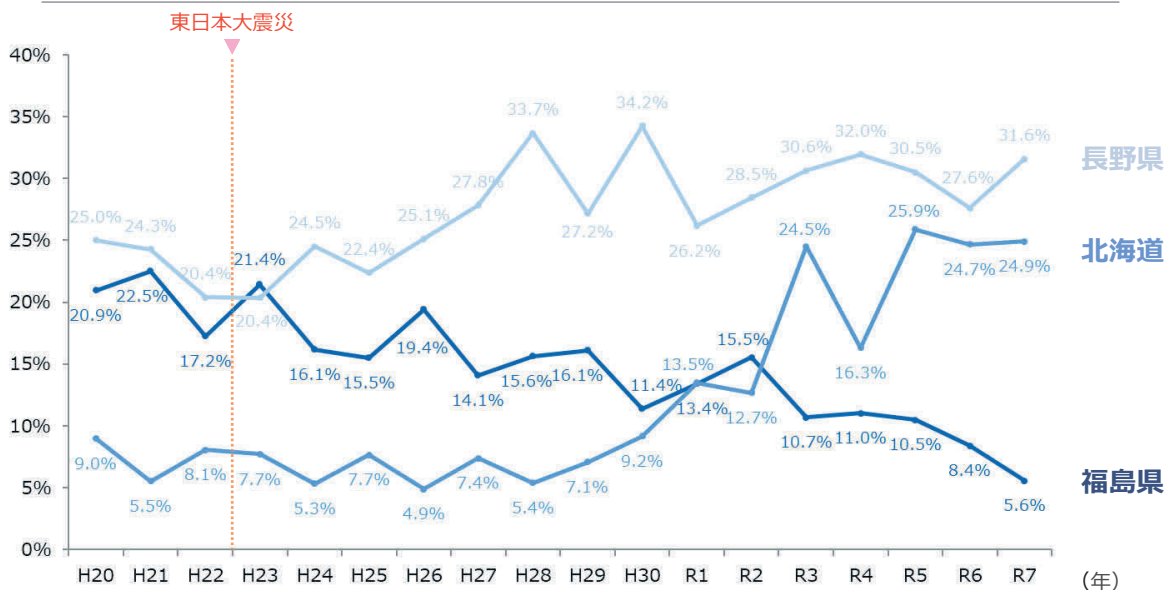
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

523

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーのシェアの推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産ブロッコリーのシェアは、震災以前に比べて縮小傾向にあり、令和7年は約5%となった。一方で、近年北海道産・長野県産のシェアが拡大傾向にある。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(6月)



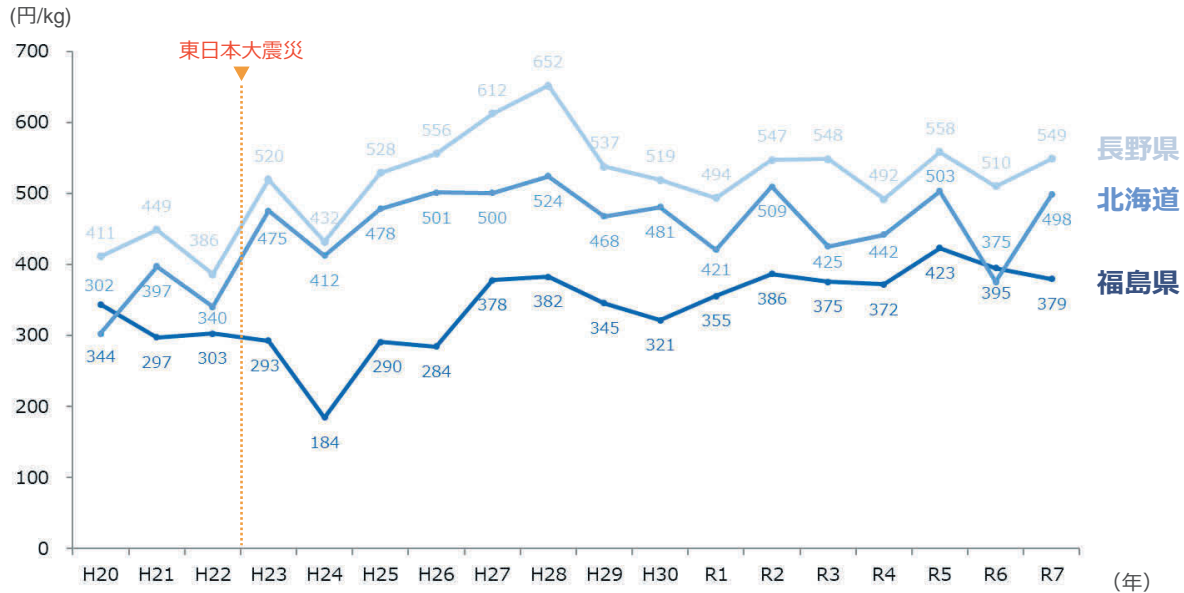
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

524

東京都中央卸売市場における福島県産ブロッコリーの単価の推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産ブロッコリーの平均単価は、震災前から北海道産や長野県産よりも低く、さらに平成24年には大幅に下落した。平成27年以降、震災以前の価格水準に戻ったが、競合産地よりも低い水準で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(6月)



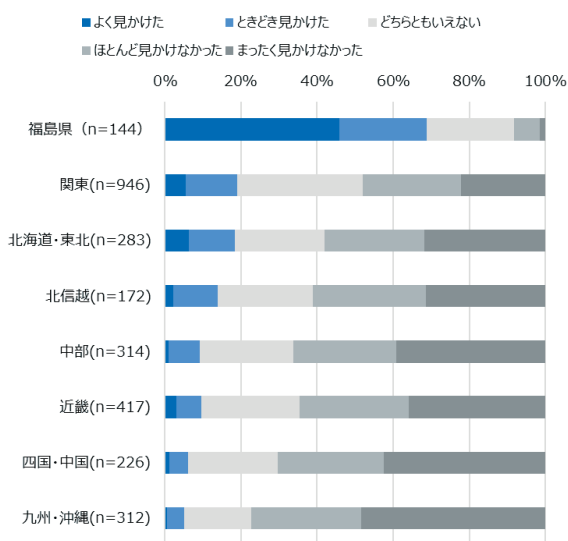
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

525

福島県産ブロッコリーを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

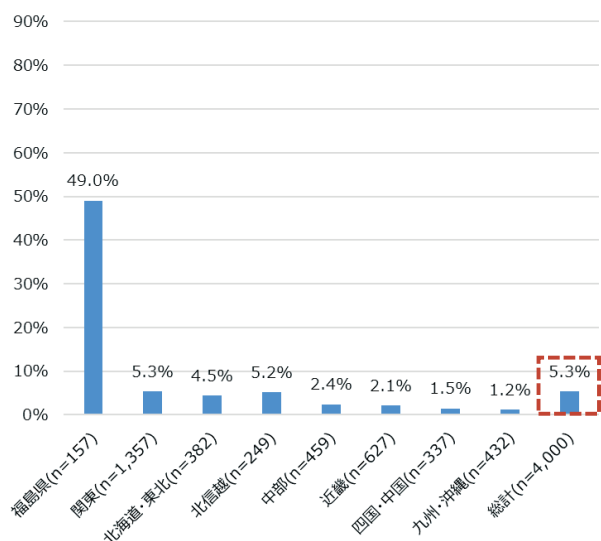
福島県産ブロッコリーを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ブロッコリーを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.3%であった。

福島県産ブロッコリーを店頭で見かけたか



※過去1〜2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ブロッコリー購入経験率



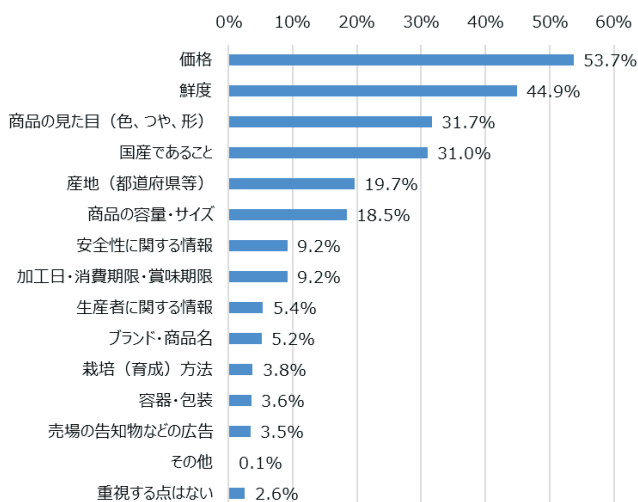
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

526

ブロッコリー購入時の重視点と福島県産ブロッコリーの購入者の評価（消費者アンケート）

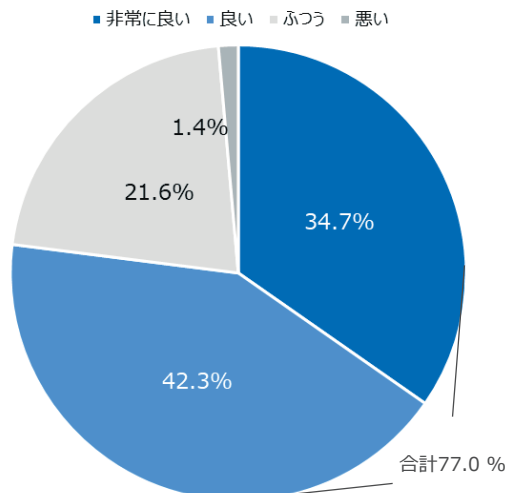
福島県産に限らずブロッコリー購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ブロッコリーの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が77.0%であった。

ブロッコリー購入時の重視点（n=2,969、複数回答）



※ブロッコリー購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ブロッコリーを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ブロッコリーの購入者の評価（n=213）

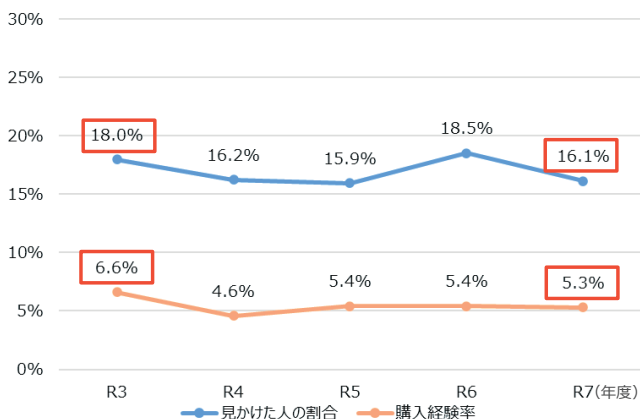


※福島県産ブロッコリーを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産ブロッコリーを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

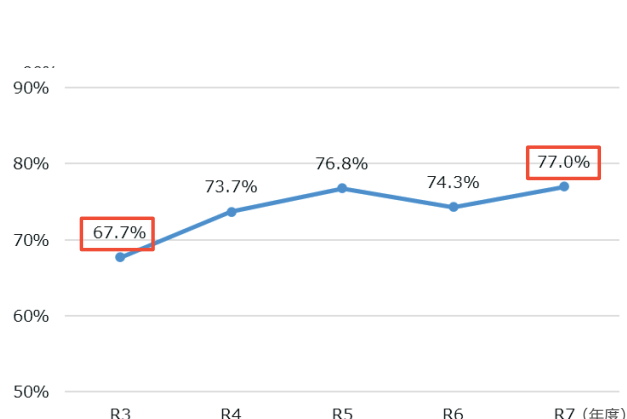
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産ブロッコリーを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ1.9%、1.3%下降した。福島県産ブロッコリーの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は9.3%上昇した。

福島県産ブロッコリーを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ブロッコリーを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR3:7,618、R4:3,508、R5:2,784、R6:2,541、R7:2,814。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験などとなる。
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産ブロッコリーを高く評価している人の割合

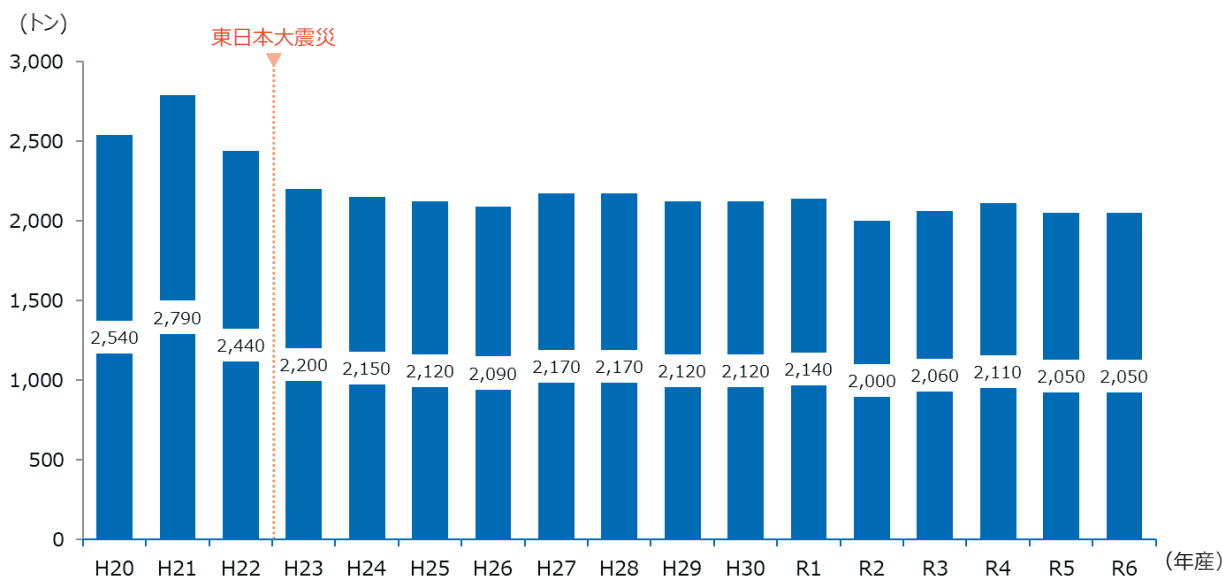


※福島県産ブロッコリーを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR3:727、R4:251、R5:215、R6:214、R7:213。

福島県産いちごの出荷量の推移

福島県産いちごの出荷量は、平成22年産・平成23年産は大きく減少し、その後は概ね横ばいで推移しており、令和6年産は2,050トンとなった。

福島県産いちごの出荷量の推移



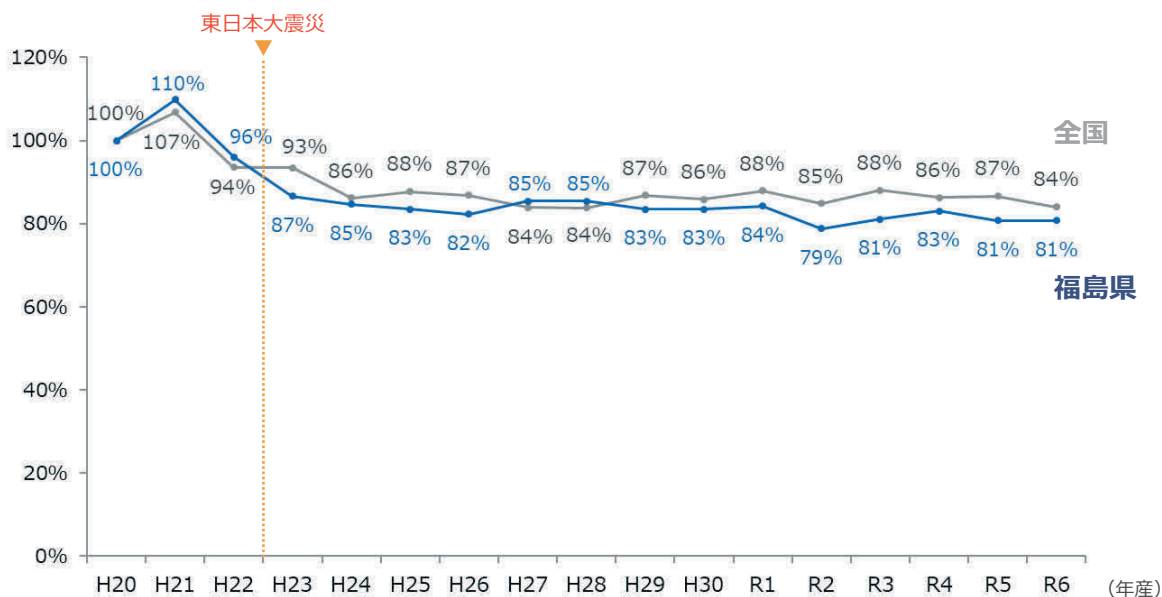
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

529

全国・福島県産いちごの出荷量の推移

全国・福島県産いちごの出荷量は、平成21年産をピークにゆるやかに減少し、近年は横ばいで推移している。震災前は福島県産いちごの出荷量は全国水準を上回っていたが、震災後は全国水準を概ね下回っている。

全国・福島県産いちごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



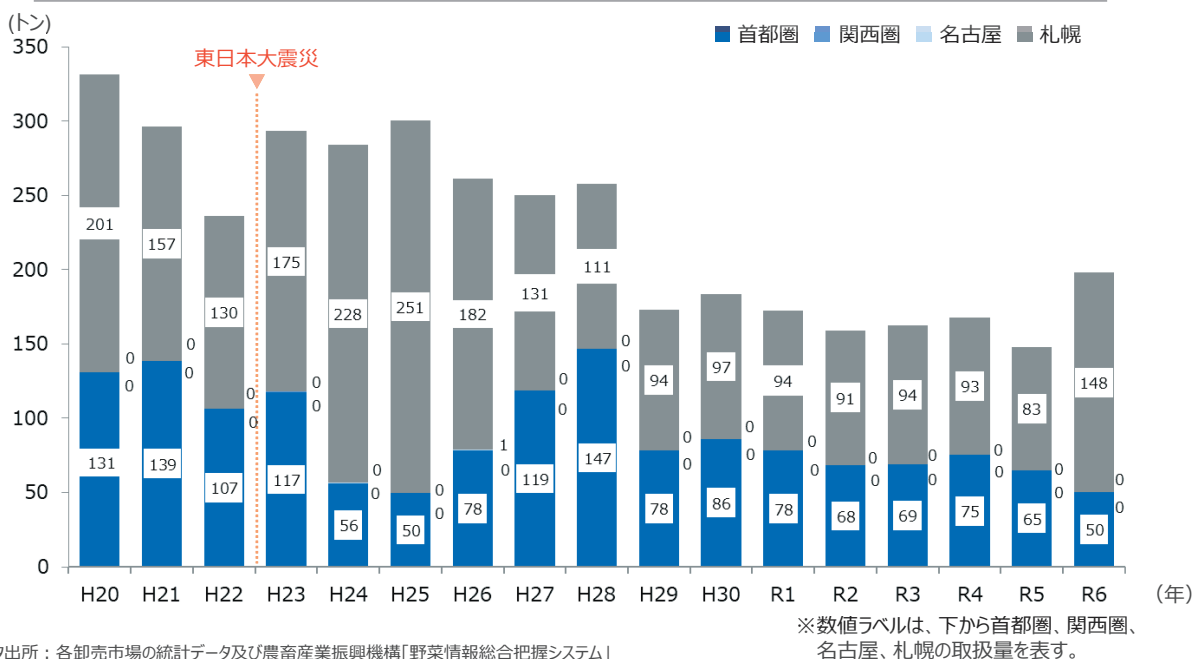
データ出所：農林水産省「野菜生産出荷統計」

530

各市場における福島県産いちごの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産いちごは、主に首都圏と札幌で取り扱われている。震災後の取扱量は、平成26年と平成29年に大きく減少し、その後横ばいで推移しているものの、令和6年は札幌での取扱量が伸び、総取扱量は増加した。

各市場における福島県産いちごの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

各市場におけるいちごの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、福島県産いちごは、5月・6月に1～3%程度のシェアを占めていた。横浜市中央卸売市場においては、年間を通してほとんど取扱いがなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	1%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	50
栃木	49%	54%	50%	51%	62%	14%	0%	0%	1%	28%	75%	61%	12,690
茨城	12%	11%	12%	12%	12%	5%	0%	0%	0%	3%	10%	11%	2,769
福岡	12%	11%	13%	12%	3%	4%	0%	0%	0%	0%	7%	10%	2,544
静岡	9%	9%	8%	8%	9%	5%	0%	0%	0%	1%	4%	7%	1,940
佐賀	6%	4%	6%	5%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1,046
総量	3,913	4,510	4,871	4,854	2,582	194	37	31	23	37	689	2,041	
横浜市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
栃木	61%	69%	67%	69%	72%	13%	0%	0%	0%	0%	82%	66%	1,117
熊本	13%	11%	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	13%	152
静岡	7%	5%	6%	9%	20%	13%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	134
長崎	7%	6%	5%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	79
福岡	5%	4%	4%	4%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	63
総量	286	330	342	337	186	10	4	4	5	5	43	126	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるいちごの産地別シェア(令和6年産・関西圏)

福島県産いちごの取扱いは、大阪市中央卸売市場ではほとんど見られなかった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して見られなかった。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長崎	34%	32%	33%	33%	35%	35%	0%	0%	0%	0%	40%	31%	2,305	
熊本	20%	17%	16%	14%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	27%	1,148	
福岡	13%	15%	15%	16%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	8%	16%	979	
佐賀	11%	9%	11%	12%	18%	16%	0%	0%	0%	0%	1%	8%	767	
香川	7%	8%	7%	8%	16%	32%	2%	0%	0%	0%	9%	7%	605	
総量	1,240	1,296	1,439	1,414	657	105	38	35	32	39	173	613		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
福岡	26%	27%	33%	33%	26%	4%	0%	0%	0%	0%	33%	32%	631	
大分	21%	26%	21%	21%	31%	61%	13%	0%	0%	0%	11%	15%	485	
熊本	24%	19%	19%	18%	15%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	25%	415	
佐賀	12%	13%	12%	11%	10%	2%	0%	0%	0%	0%	5%	12%	248	
長崎	11%	8%	8%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	159	
総量	343	403	475	475	193	30	8	10	8	11	41	167		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 533

各市場におけるいちごの産地別シェア(令和6年産・その他)

福島県産いちごの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、福島県産いちごは4月・11月・12月にシェア3位であり、6月～10月を除き、年間を通して5%前後の取扱いが見られた。

各市場における産地別シェア(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
愛知	54%	61%	62%	69%	90%	86%	1%	0%	0%	15%	80%	62%	2,357	
熊本	30%	23%	23%	18%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	29%	752	
鹿児島	7%	7%	7%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	199	
佐賀	3%	3%	2%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	79	
福岡	2%	2%	2%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	70	
総量	645	685	705	715	382	49	16	16	14	18	106	304		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
福島	5%	4%	5%	7%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	5%	148	
宮城	68%	64%	70%	69%	71%	33%	0%	0%	0%	3%	85%	77%	2,035	
佐賀	11%	16%	9%	12%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	299	
北海道	0%	0%	0%	1%	11%	51%	74%	63%	59%	60%	5%	0%	118	
茨城	3%	2%	4%	6%	5%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	109	
栃木	5%	4%	5%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	4%	107	
総量	443	511	610	607	408	51	15	13	12	11	71	251		

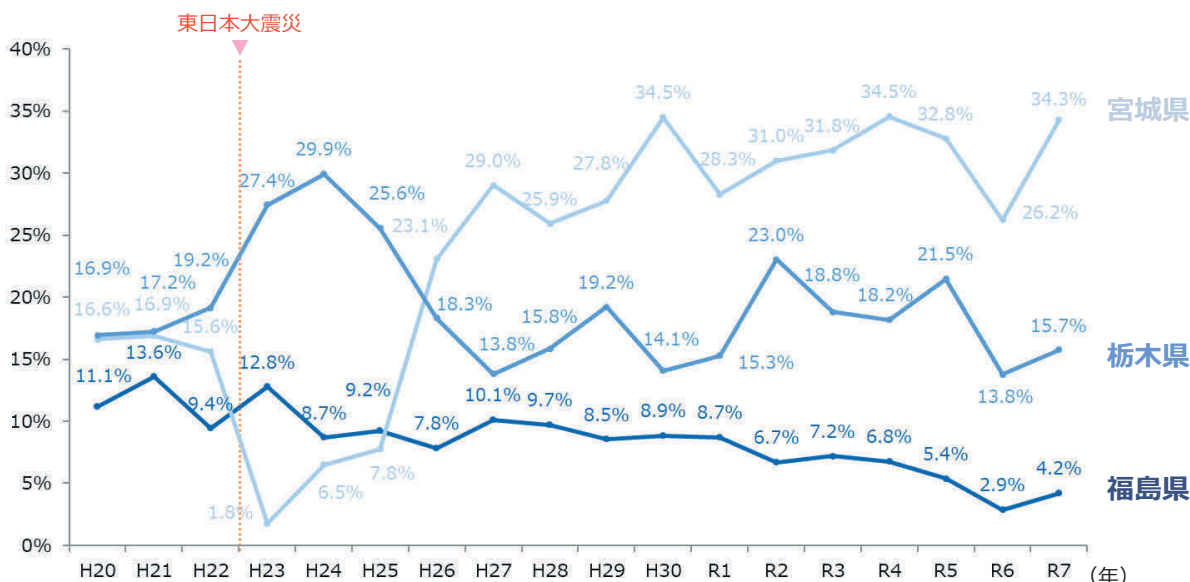
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産いちごのシェアの推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産いちごのシェアは、震災前後で大きく変わらなかったが、平成24年以降徐々に縮小し、近年は5%前後で推移している。震災後、宮城県産のシェアが縮小したが、その後回復し、現在は栃木県産を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(6月)

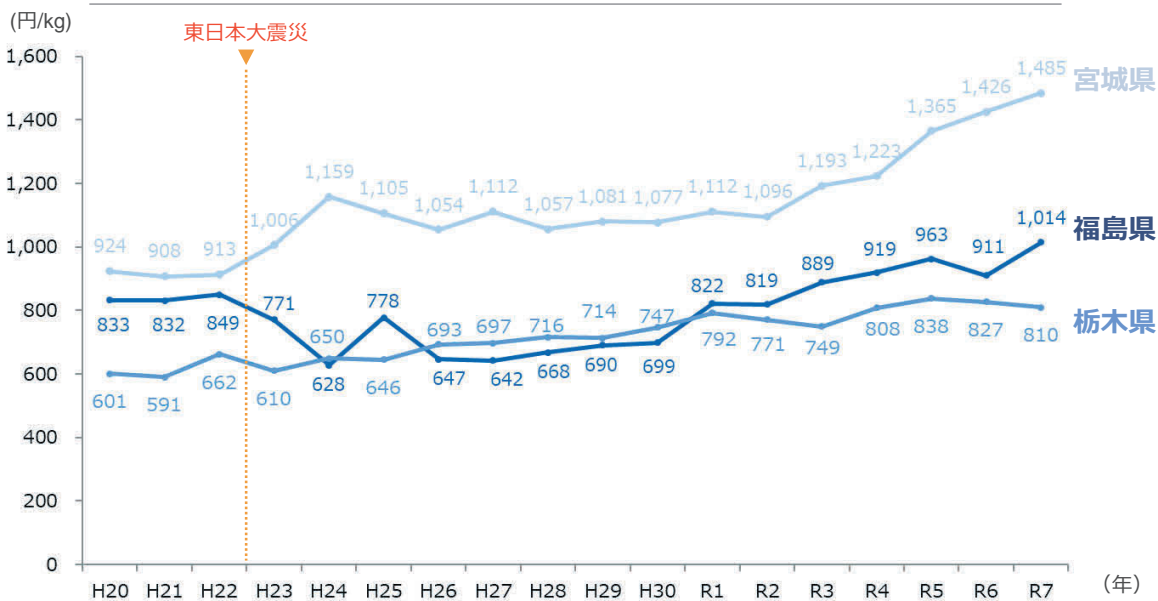


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産いちごの単価の推移

東京都中央卸売市場における6月の福島県産いちごの平均単価は、震災後に栃木県産を下回るようになった。令和元年以降、福島県産の平均単価は再び800円/kgを超え、栃木県産を上回るようになったが、宮城県産との価格差は拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(6月)

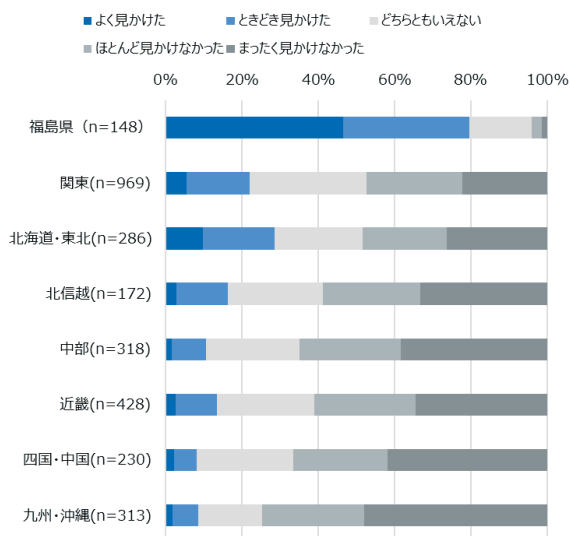


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産いちごを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

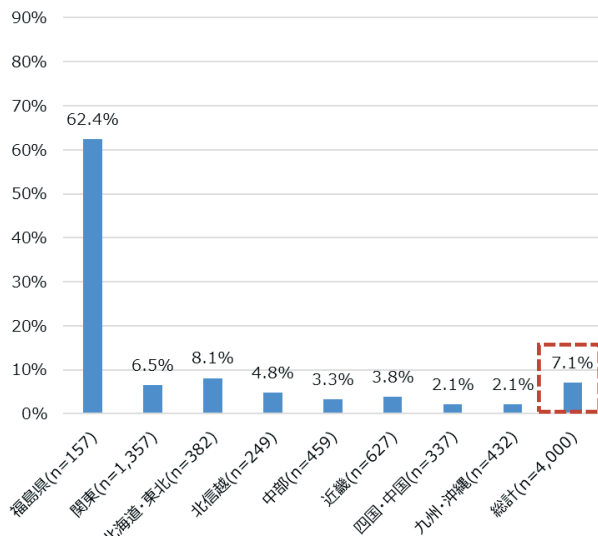
福島県産いちごを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産いちごを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.1%であった。

福島県産いちごを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産いちごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産いちごの購入経験率

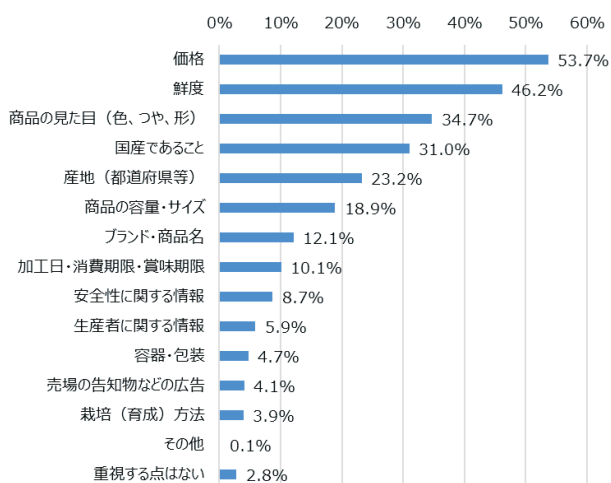


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

いちご購入時の重視点と福島県産いちごの購入者の評価（消費者アンケート）

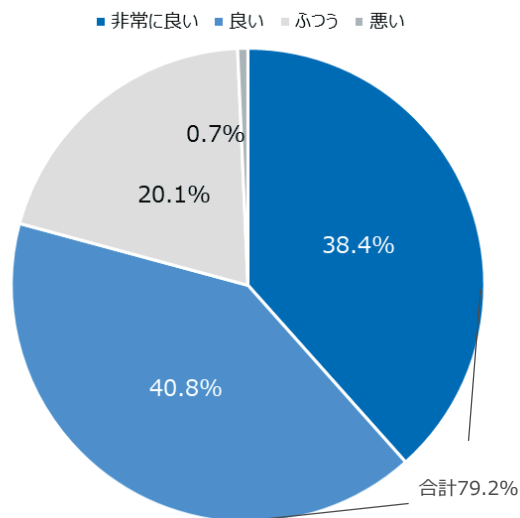
福島県産に限らずいちご購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産いちごの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が79.2%であった。

いちご購入時の重視点 (n=2,608、複数回答)



※いちご購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上いちごを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産いちごの購入者の評価 (n=284)

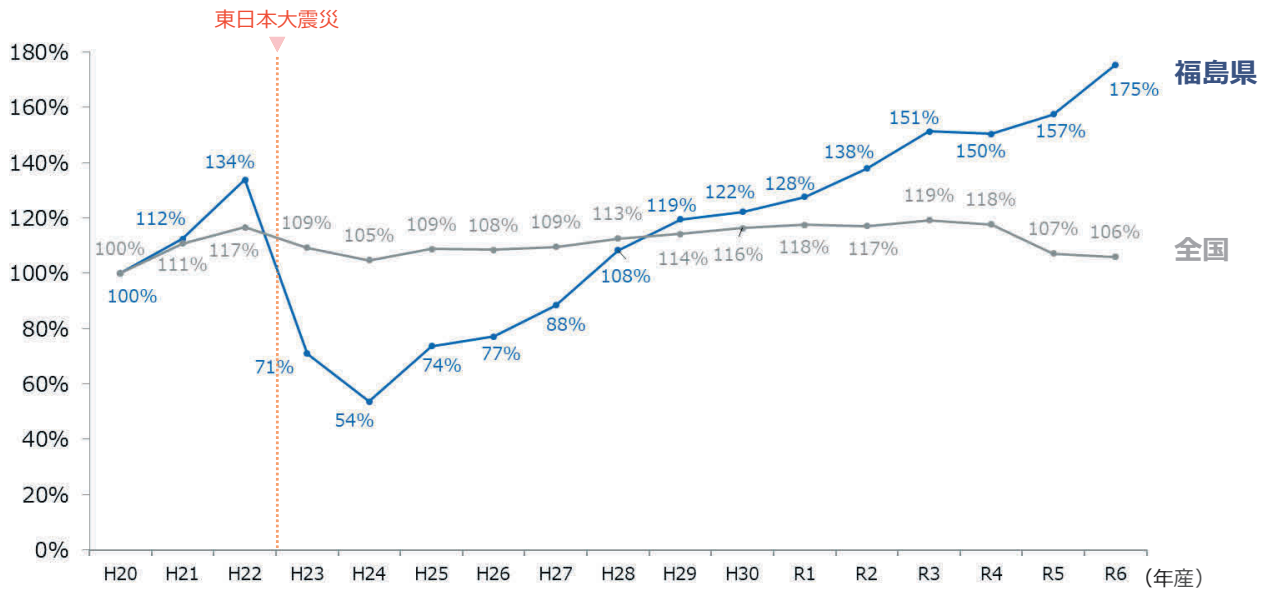


※福島県産いちごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移

福島県産菌床しいたけの生産量は、震災後に大きく減少したが徐々に回復し、平成28年産では平成20年産の生産量を上回った。その後も増加傾向が続き、令和6年産では175%と高い水準になった。

全国・福島県産菌床しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

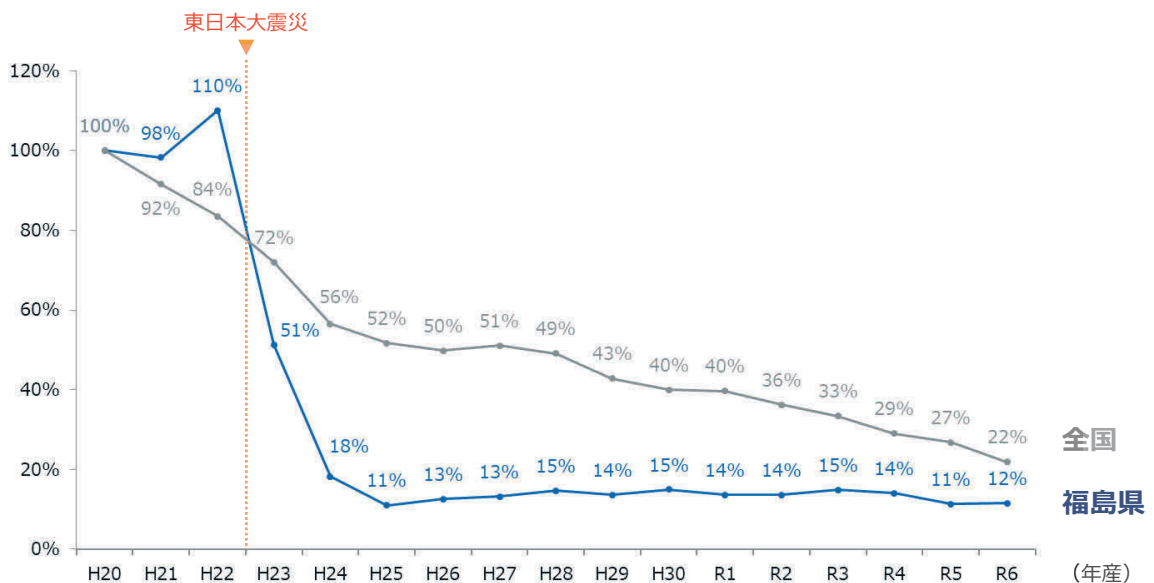


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」 ※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移

福島県産原木しいたけの生産量は、平成23・24年産において大幅に減少した。その後、横ばい傾向が続き、令和6年産は平成20年産の12%となった。全国の生産量は福島県産と同様に総じて減少傾向にあり、令和6年産は平成20年産の22%となった。

全国・福島県産原木しいたけの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

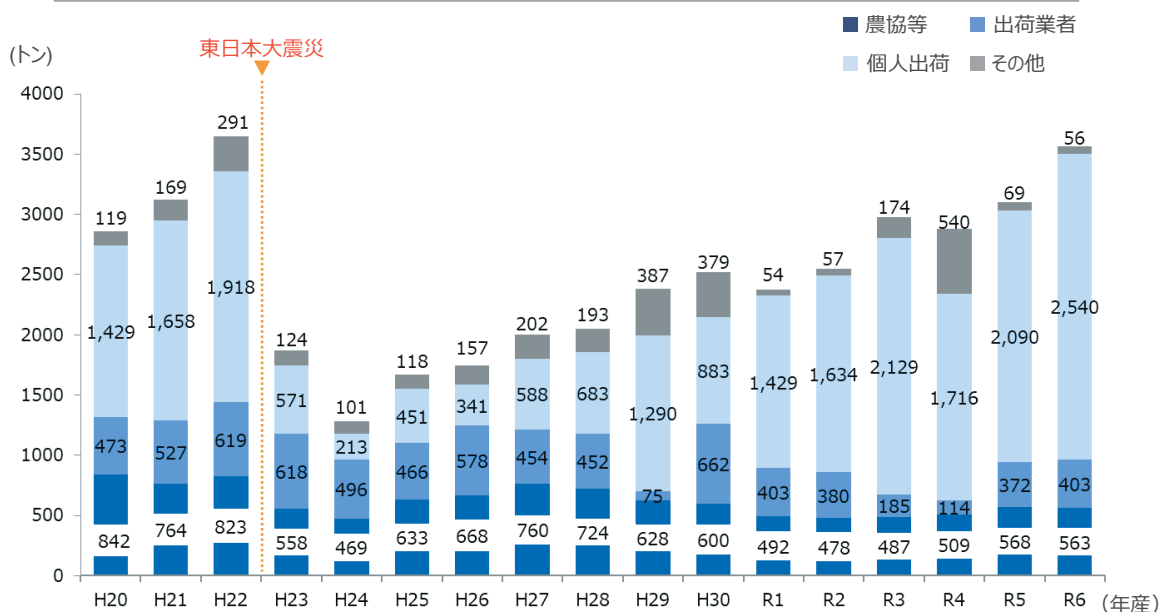


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」 ※生産量は生しいたけと乾しいたけの単純合計。

福島県産しいたけの出荷主体別出荷量の推移

福島県産しいたけは、震災後、個人での出荷量が特に大きく減少し、平成24年産は平成22年産の約11%の水準であった。その後再び増加し、令和6年産は個人出荷量・合計出荷量ともに、平成22年産と同程度の出荷量まで回復した。

福島県産しいたけの出荷主体別出荷量の推移

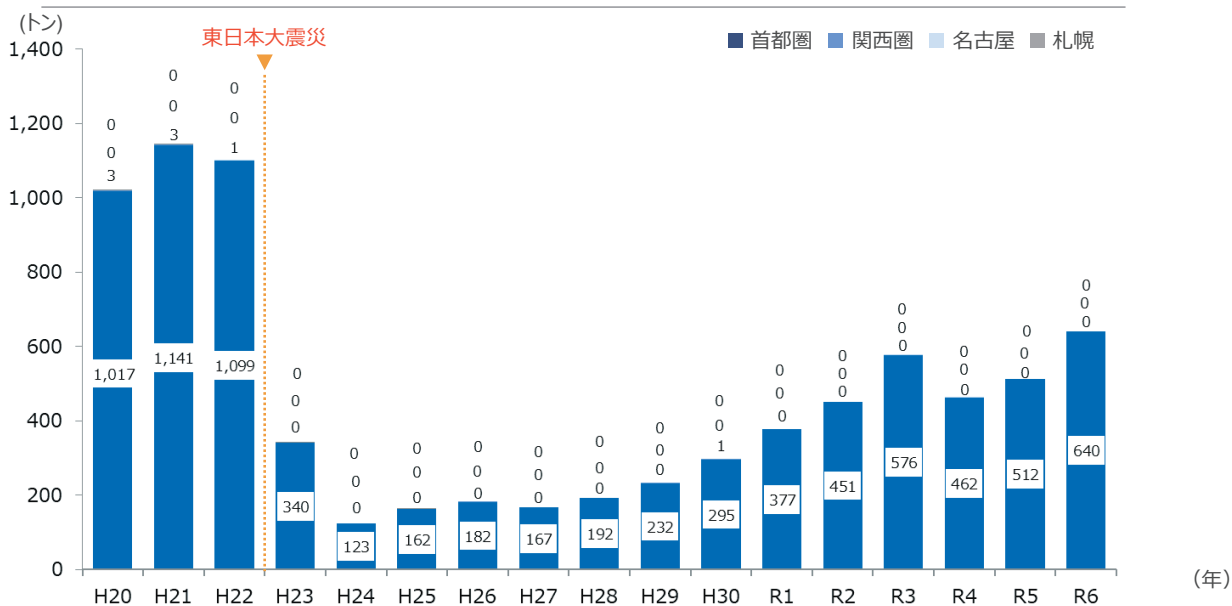


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産しいたけはほとんどが首都圏で取り扱われている。震災後、取扱量が大きく減少したが徐々に回復し、令和4年に取扱量が減少したものの、再び回復し令和6年には640トンの取扱量となった。

各市場における福島県産しいたけの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産しいたけの市場シェアは、東京都中央卸売市場では6～8月は2位、5月・9月は3位であった。横浜市中央卸売市場では1月を除き3位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

東京都中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	4%	5%	6%	7%	9%	12%	14%	13%	9%	7%	6%	5%	492	
秋田	22%	22%	21%	23%	25%	27%	27%	25%	23%	20%	21%	18%	1,454	
岩手	16%	14%	13%	12%	12%	11%	11%	11%	10%	13%	14%	13%	837	
群馬	11%	10%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	9%	10%	12%	630	
千葉	9%	10%	9%	8%	7%	6%	5%	6%	9%	11%	11%	13%	591	
栃木	8%	8%	7%	7%	5%	4%	4%	3%	3%	8%	9%	7%	429	
総量	632	576	548	512	456	415	411	404	453	647	722	751		

横浜市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	6%	8%	10%	9%	9%	10%	10%	7%	10%	13%	11%	9%	148	
秋田	58%	56%	56%	56%	59%	60%	63%	64%	56%	47%	50%	47%	867	
岩手	24%	22%	20%	23%	21%	21%	18%	18%	21%	22%	22%	23%	336	
山形	7%	6%	5%	5%	4%	4%	3%	3%	3%	6%	8%	7%	83	
青森	1%	3%	3%	2%	2%	0%	0%	1%	3%	6%	3%	8%	47	
中国	1%	1%	1%	2%	1%	1%	3%	3%	2%	2%	2%	3%	31	
総量	136	128	126	127	126	120	117	108	110	146	163	162		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

543

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産しいたけの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
徳島	61%	73%	71%	87%	12%	84%	80%	93%	95%	93%	63%	79%	35	
大阪	0%	0%	0%	0%	86%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	24	
長野	3%	5%	3%	11%	1%	11%	10%	0%	0%	0%	30%	9%	4	
北海道	27%	18%	17%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3	
中国	3%	1%	6%	1%	0%	1%	1%	2%	1%	1%	1%	1%	1	
総量	5	4	4	4	28	4	4	3	3	3	4	3		

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
徳島	44%	44%	41%	39%	49%	49%	47%	47%	46%	46%	49%	49%	648	
和歌山	20%	18%	19%	21%	18%	17%	20%	21%	19%	15%	15%	13%	246	
三重	10%	13%	14%	15%	14%	10%	8%	8%	12%	14%	12%	13%	170	
大分	8%	7%	8%	8%	5%	7%	7%	6%	6%	6%	5%	5%	92	
広島	5%	5%	4%	5%	4%	4%	5%	5%	4%	4%	3%	3%	58	
総量	116	121	120	109	113	100	93	96	105	125	142	165		

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

544

各市場におけるしいたけの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産しいたけの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
徳島	39%	38%	38%	36%	37%	35%	37%	36%	47%	45%	48%	45%	982	
広島	17%	15%	15%	16%	16%	17%	18%	20%	15%	14%	11%	9%	357	
和歌山	7%	8%	8%	9%	11%	11%	11%	12%	11%	9%	7%	7%	217	
北海道	3%	6%	8%	8%	8%	9%	9%	6%	7%	6%	5%	5%	157	
岡山	4%	6%	6%	7%	8%	8%	8%	9%	7%	6%	4%	4%	150	
総量	219	210	206	187	164	150	154	164	189	217	263	283		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	279	
徳島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	1	
栃木	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
愛知	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
総量	27	25	26	23	23	24	17	19	20	23	23	30		

データ出所：各卸売市場の統計データ

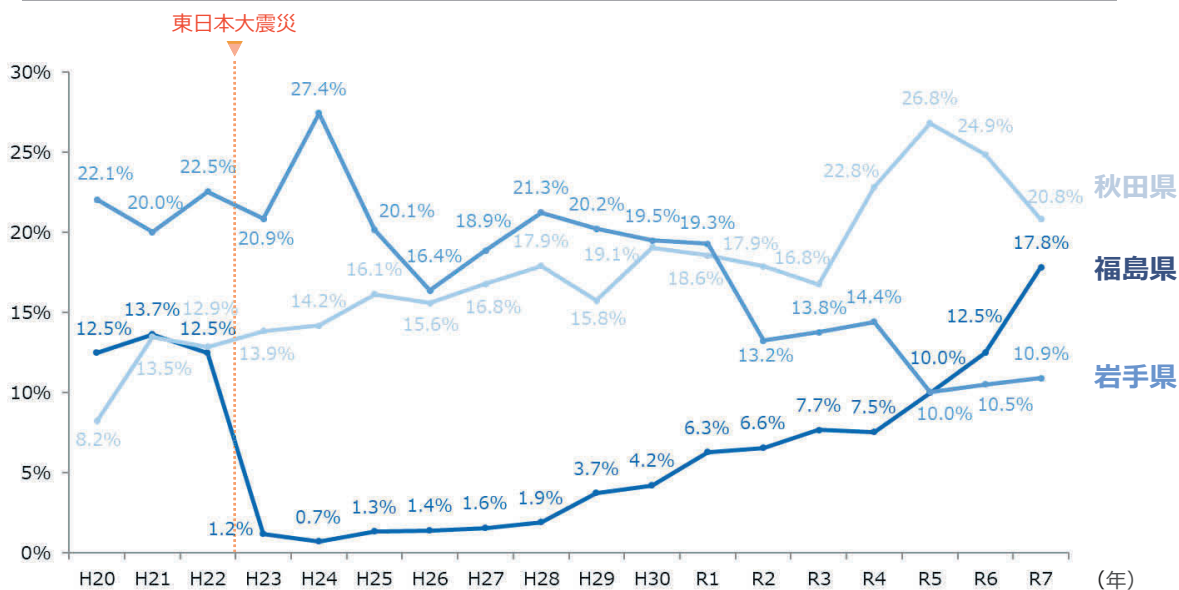
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

545

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけのシェアの推移

東京都中央卸売市場における8月の福島県産しいたけのシェアは、震災後の平成23年に大きく縮小した。以降は少しずつ回復傾向にあり、令和5年以降は岩手県産を上回り、令和7年は震災以前に同水準であった秋田県産のシェアに迫っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(8月)



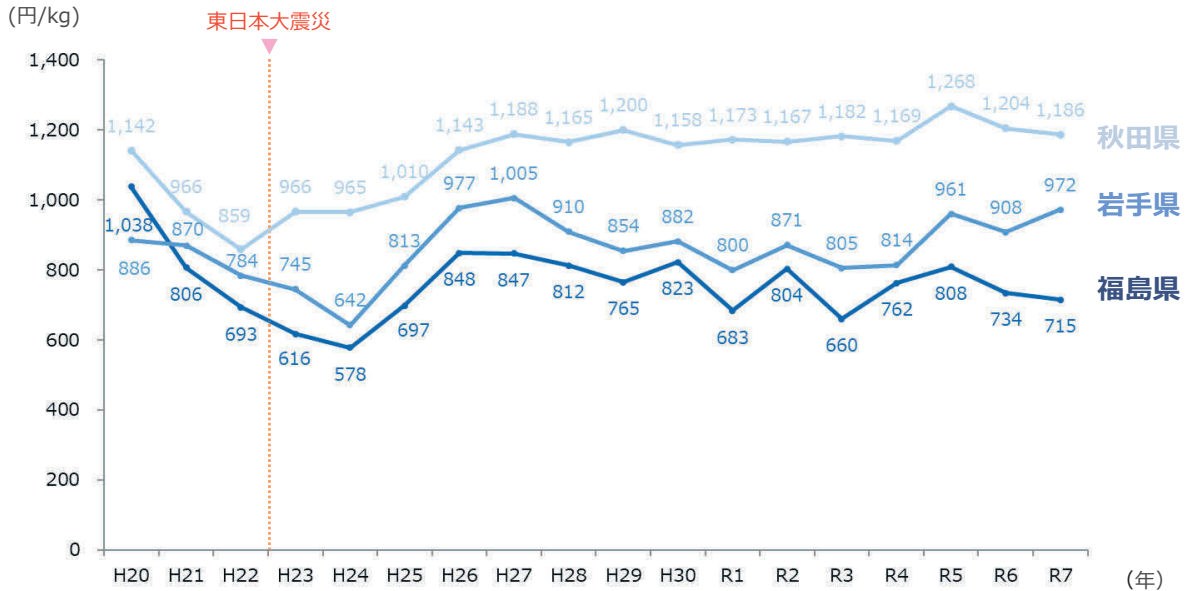
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

546

東京都中央卸売市場における福島県産しいたけの単価の推移

東京都中央卸売市場における8月の福島県産しいたけの平均単価は、震災前後ともに岩手県産と秋田県産を下回っている。令和7年では、岩手県産との価格差が広がり、価格差は257円/kgとなった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(8月)



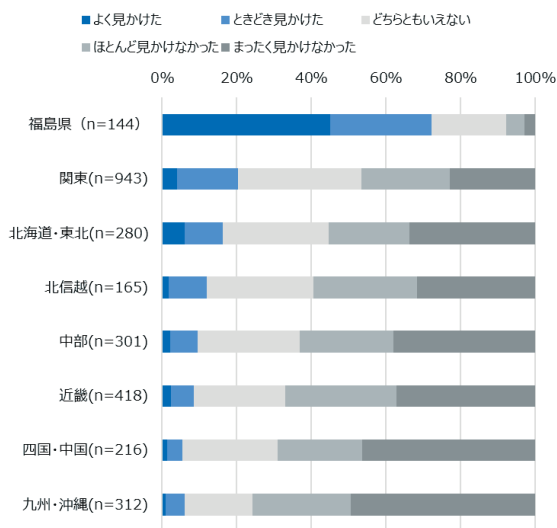
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

547

福島県産しいたけを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

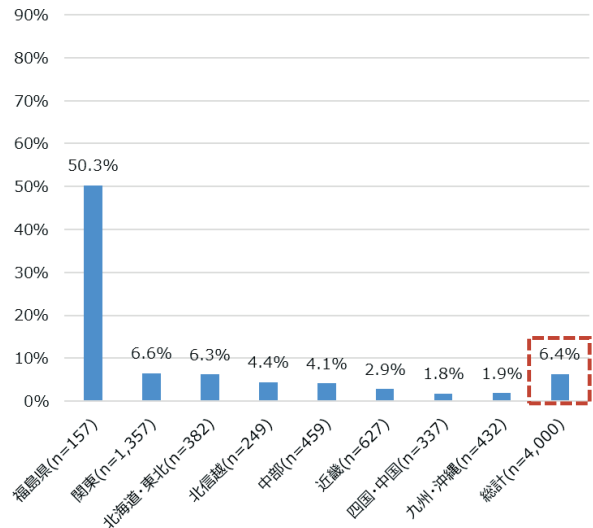
福島県産しいたけを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産しいたけを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.4%であった。

福島県産しいたけを店頭で見かけたか



※過去1〜2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産しいたけの購入経験率



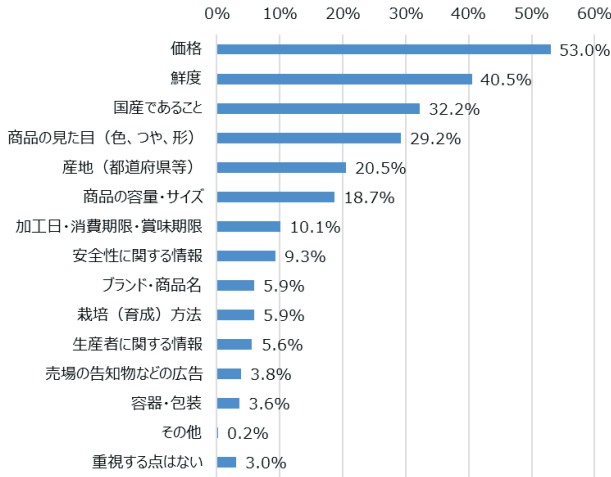
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

548

しいたけ購入時の重視点と福島県産しいたけの購入者の評価（消費者アンケート）

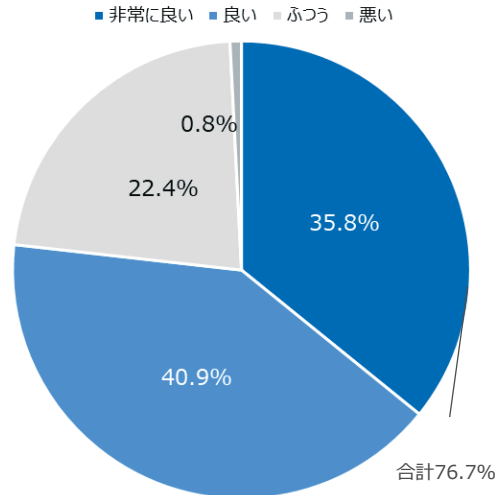
福島県産に限らずしいたけ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産しいたけの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が76.7%であった。

しいたけ購入時の重視点（n=2,870、複数回答）



※しいたけ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上しいたけを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産しいたけの購入者の評価（n=254）

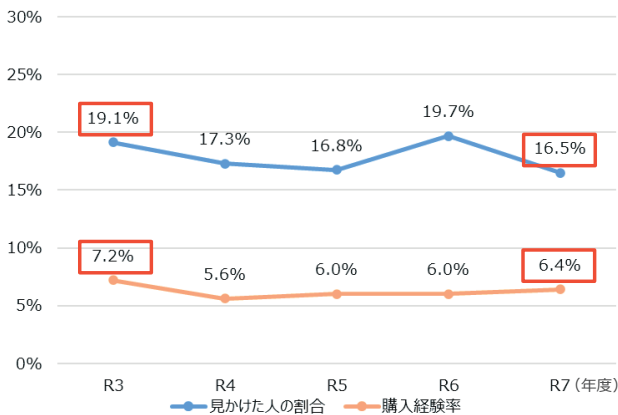


※福島県産しいたけを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産しいたけを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

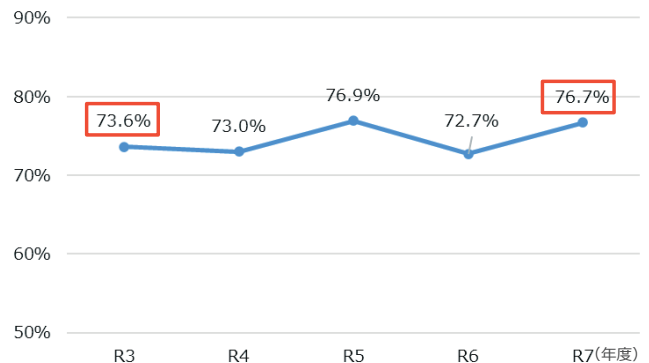
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産しいたけを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ2.6%、0.8%下降した。福島県産しいたけの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.1%上昇した。

福島県産しいたけを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産しいたけを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR3:7,494、R4:3,392、R5:2,764、R6:2,504、R7:2,779。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産しいたけを高く評価している人の割合

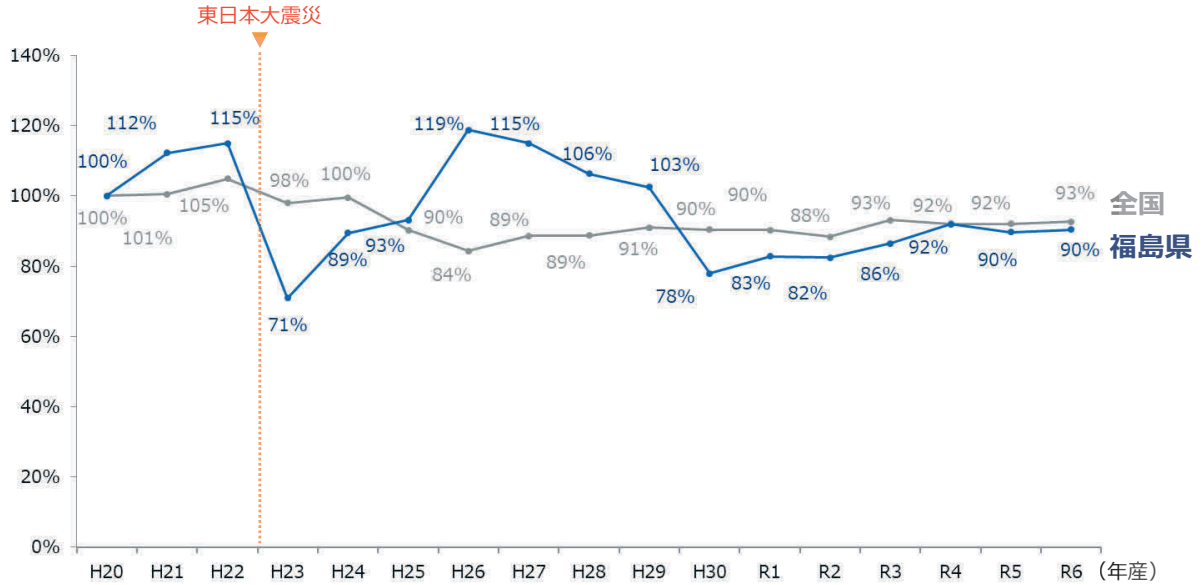


※福島県産しいたけを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR3:790、R4:308、R5:239、R6:238、R7:254。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移

震災後なめこの生産量が全国的に減少している中、福島県産なめこの生産量は震災直後の急減から回復したが、平成30年産で大きく減少。その後は概ね回復傾向にあり、近年、全国と福島県産の生産量は同水準で推移している。

全国・福島県産菌床なめこの生産量の推移(平成20年産を100%とした値)

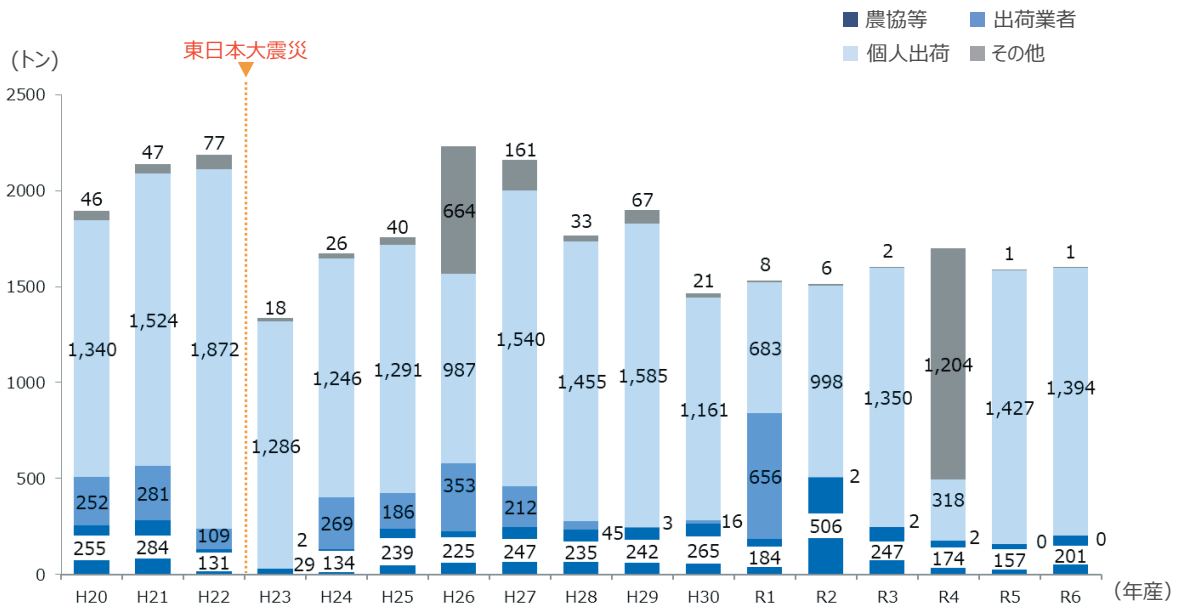


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

福島県産なめこの出荷量は震災直後に減少し、平成26年産・平成27年産では一時的に震災前の水準に戻ったが、平成28年産以降は再び減少した。令和4年産では個人出荷の割合が大きく減少したが、令和5年産以降は回復した。

福島県産なめこの出荷主体別出荷量の推移

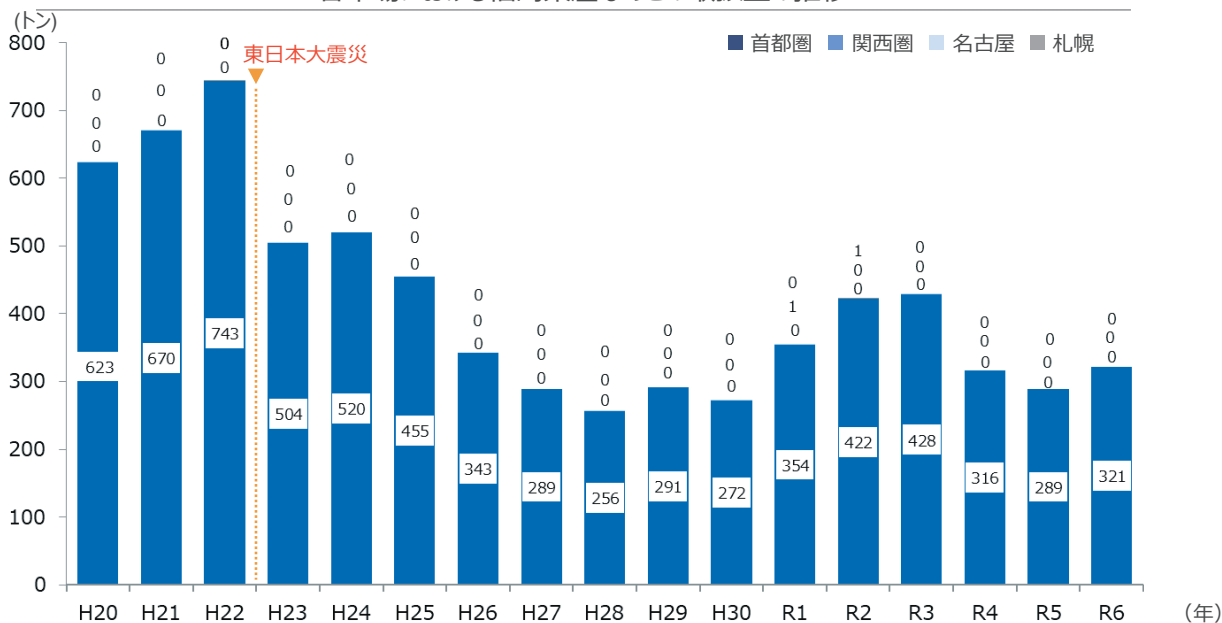


データ出所：農林水産省「特用林産物生産統計調査」

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産なめこは、ほとんど首都圏のみで取り扱われている。震災後、取扱量が減少し、その後回復傾向にあったものの、令和4年に取扱量が再び減少し、その後同程度の水準で推移している。

各市場における福島県産なめこの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ及び農畜産業振興機構「野菜情報総合把握システム」

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるなめこの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場のいずれにおいても、年間を通して福島県産なめこの取扱いがあり、市場シェアはそれぞれ8%~12%、5%~8%であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位~3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	9%	9%	8%	9%	10%	10%	11%	10%	10%	12%	11%	11%	280
長野	27%	32%	32%	29%	31%	32%	31%	28%	27%	28%	27%	27%	818
山形	26%	29%	27%	30%	31%	31%	31%	29%	26%	27%	26%	28%	796
新潟	18%	7%	9%	8%	8%	7%	9%	14%	16%	11%	17%	17%	336
群馬	10%	13%	12%	12%	11%	12%	11%	9%	10%	11%	10%	11%	310
宮城	7%	6%	7%	7%	5%	5%	3%	4%	6%	6%	4%	4%	150
総量	231	233	245	232	220	211	216	234	247	239	251	245	
横浜市中央卸売市場													
福島	5%	5%	5%	6%	6%	5%	6%	5%	6%	6%	7%	8%	41
長野	61%	59%	59%	58%	57%	56%	56%	57%	54%	53%	55%	52%	403
山形	21%	22%	21%	21%	23%	21%	21%	21%	21%	20%	24%	25%	156
群馬	11%	12%	12%	14%	12%	12%	13%	12%	13%	13%	12%	13%	88
秋田	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%	14
新潟	1%	0%	0%	0%	0%	3%	2%	3%	5%	5%	0%	0%	11
総量	58	58	63	60	59	58	57	57	62	63	61	58	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。554

各市場におけるなめこの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産なめこの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	52%	52%	49%	51%	52%	51%	53%	45%	48%	55%	55%	53%	244
長野	41%	43%	46%	40%	41%	43%	41%	41%	48%	41%	40%	43%	201
和歌山	7%	5%	5%	5%	5%	5%	5%	4%	4%	5%	5%	4%	23
新潟	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	0%	0%	0%	0%	5
山形	0%	0%	0%	3%	2%	1%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	3
総量	33	35	41	36	38	37	37	48	42	44	42	43	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
長野	97%	96%	96%	96%	97%	97%	97%	96%	96%	96%	94%	95%	133
和歌山	3%	3%	4%	4%	2%	3%	3%	4%	4%	4%	5%	4%	5
鳥取	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0
栃木	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	10	11	12	10	12	13	12	12	11	12	11	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。555

各市場におけるなめこの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産なめこの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	59%	60%	60%	59%	57%	55%	56%	56%	60%	60%	61%	59%	398
長野	40%	38%	38%	39%	41%	43%	41%	41%	39%	38%	37%	39%	268
新潟	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	6
山形	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	6
岐阜	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1
総量	52	58	63	62	58	52	50	49	59	62	58	56	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道	100%	100%	100%	99%	99%	99%	99%	99%	99%	100%	100%	98%	250
山形	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	0%	1%	1
新潟	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0
長野	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0
千葉	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量	21	22	23	22	21	19	19	19	20	23	23	18	

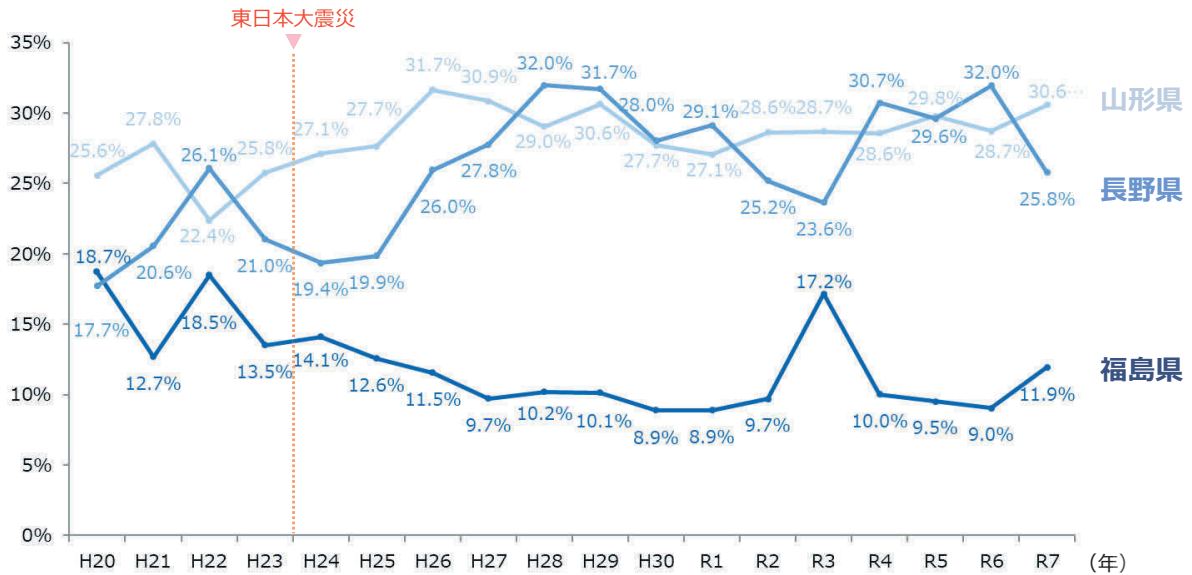
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産なめこのシェアの推移

東京都中央卸売市場における2月の福島県産なめこのシェアは、震災後、平成30年まで減少傾向が続いたが、令和元年以降に増加し、近年は10%前後で推移している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(2月)

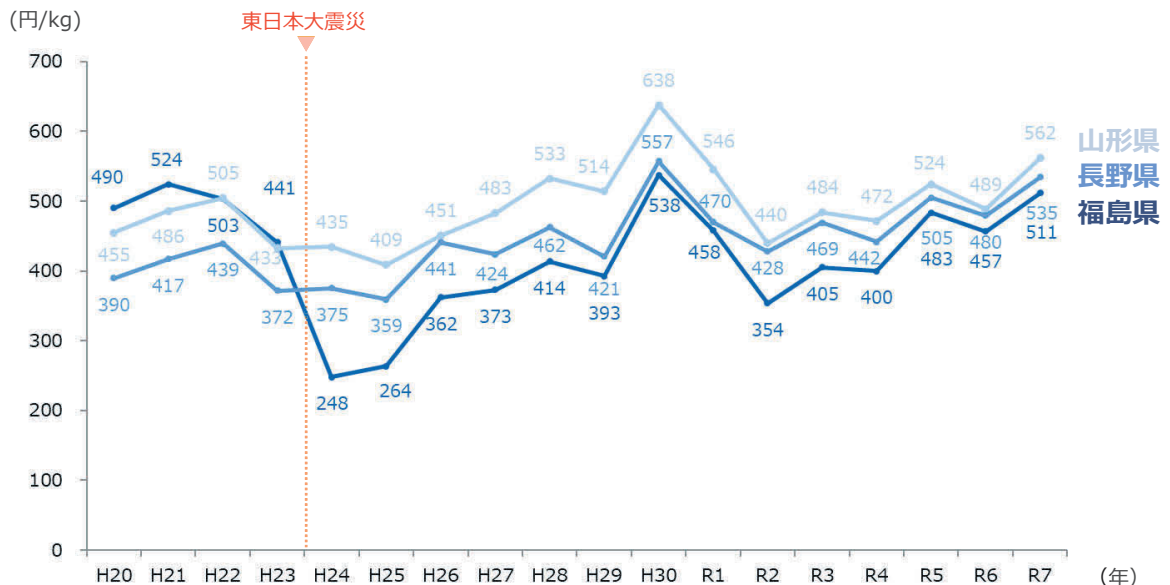


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における福島県産なめこの単価の推移

東京都中央卸売市場における2月の福島県産なめこの平均単価は、震災後大きく下落し、山形県産や長野県産を下回った。その後、回復傾向で推移しているものの、山形県産や長野県産の平均単価には追い付いていない。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(2月)

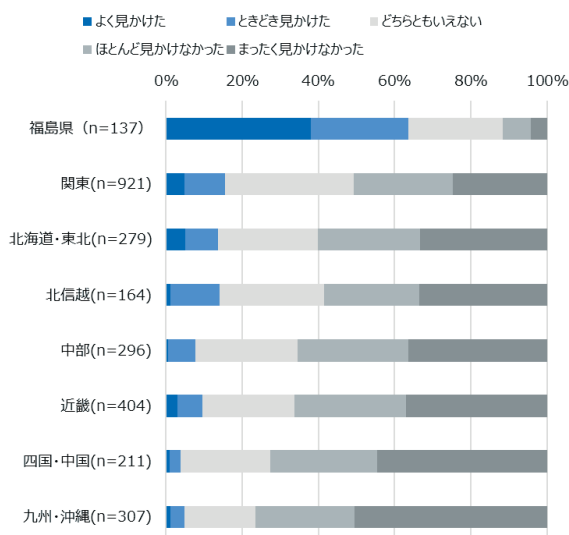


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産なめこを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

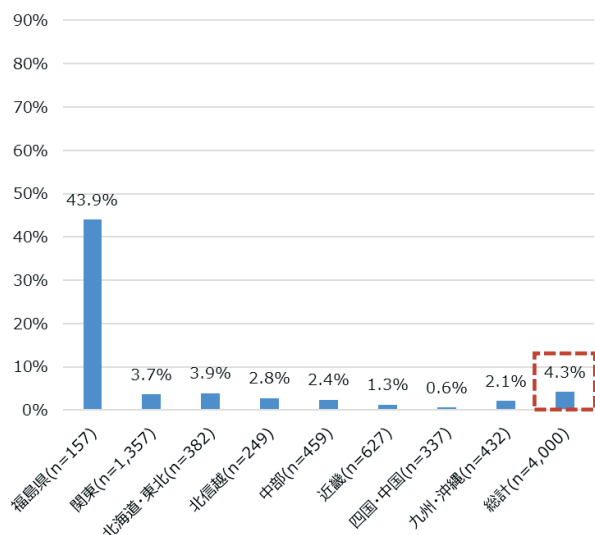
福島県産なめこを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産なめこを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では4.3%であった。

福島県産なめこを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産なめこの購入経験率



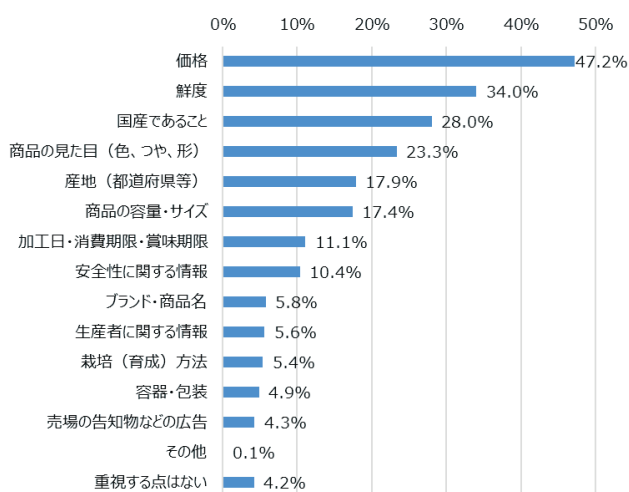
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っただけは購入経験なしとなる。

559

なめこ購入時の重視点と福島県産なめこの購入者の評価（消費者アンケート）

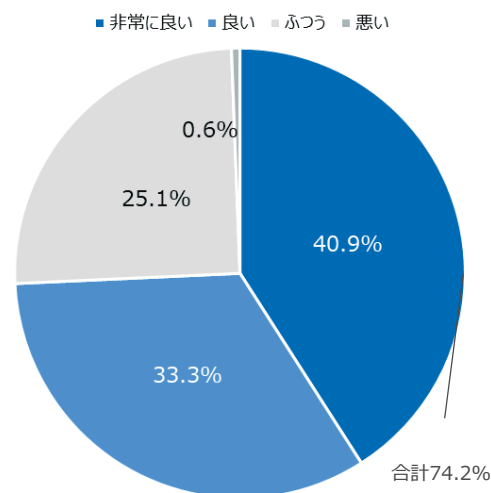
福島県産に限らずなめこ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産なめこの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が74.2%であった。

なめこ購入時の重視点 (n=2,108、複数回答)



※なめこ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上なめこを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産なめこの購入者の評価 (n=171)



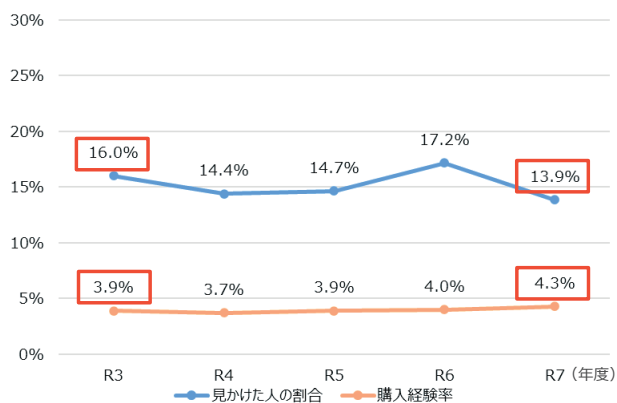
※福島県産なめこを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

560

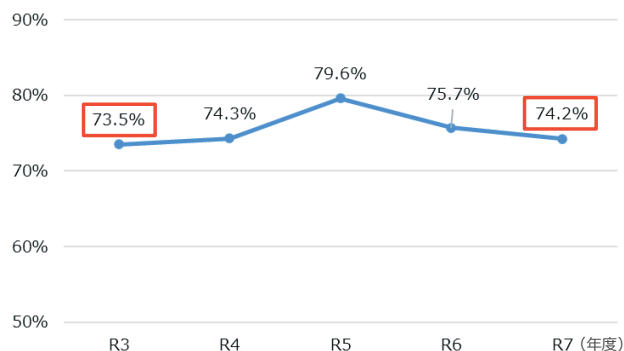
福島県産なめこを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産なめこを店頭で見かけた人の割合は2.1%下降、購入経験率は0.4%上昇した。福島県産なめこの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は0.7%上昇した。

福島県産なめこを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産なめこを高く評価している人の割合



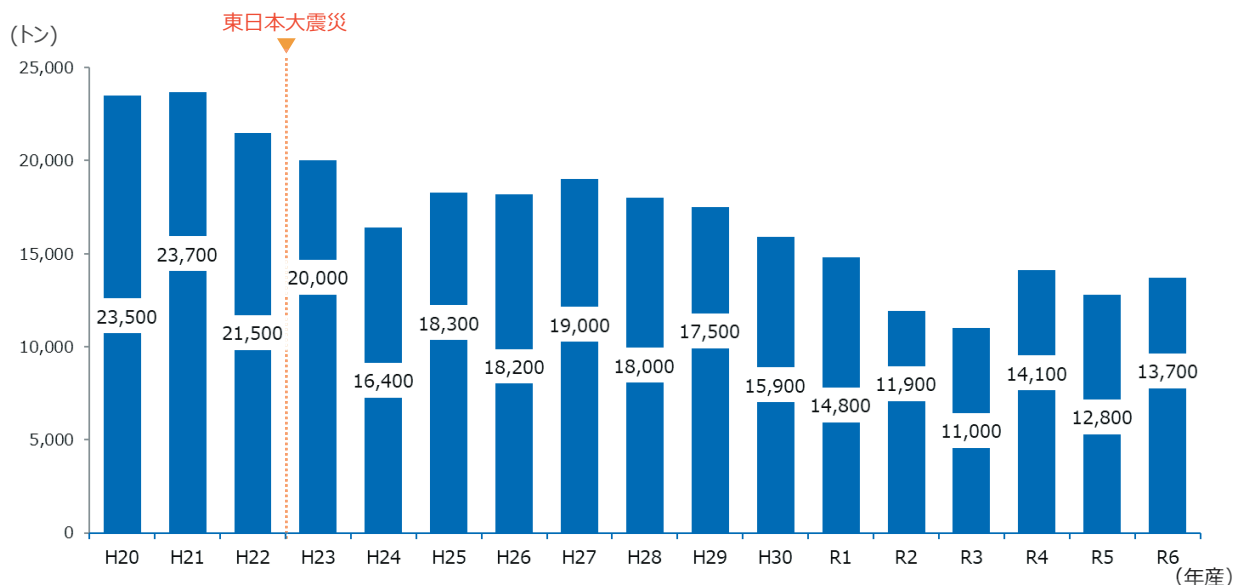
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産なめこを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,217、R4:3,274、R5:2,689、R6:2,448、R7:2,719。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産なめこを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:434、R4:206、R5:157、R6:161、R7:171。

福島県産日本梨の出荷量の推移

福島県産日本梨の出荷量は、震災後に概ね減少傾向で推移していたが、令和4年以降やや回復し、令和6年産は13,700トンとなっている。

福島県産日本梨の出荷量の推移

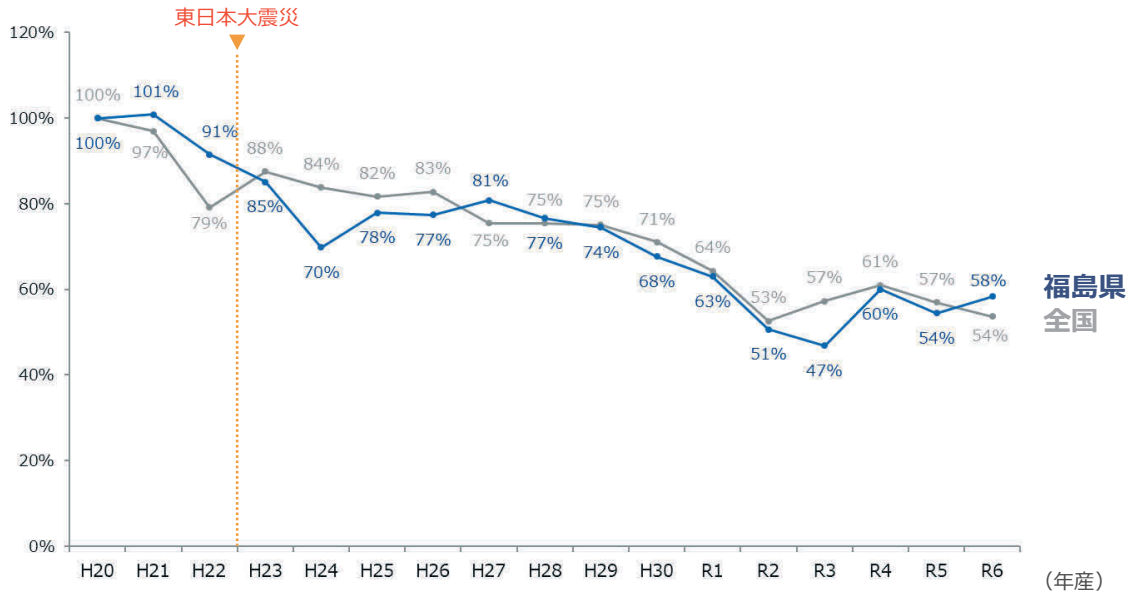


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移

全国の日本梨の出荷量は、平成24年産以降減少傾向にある。福島県産日本梨も震災前から減少しているが、令和4年以降はやや回復傾向にあり、令和6年産の出荷量は平成20年産の約58%と、全国水準を上回った。

全国・福島県産日本梨の出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

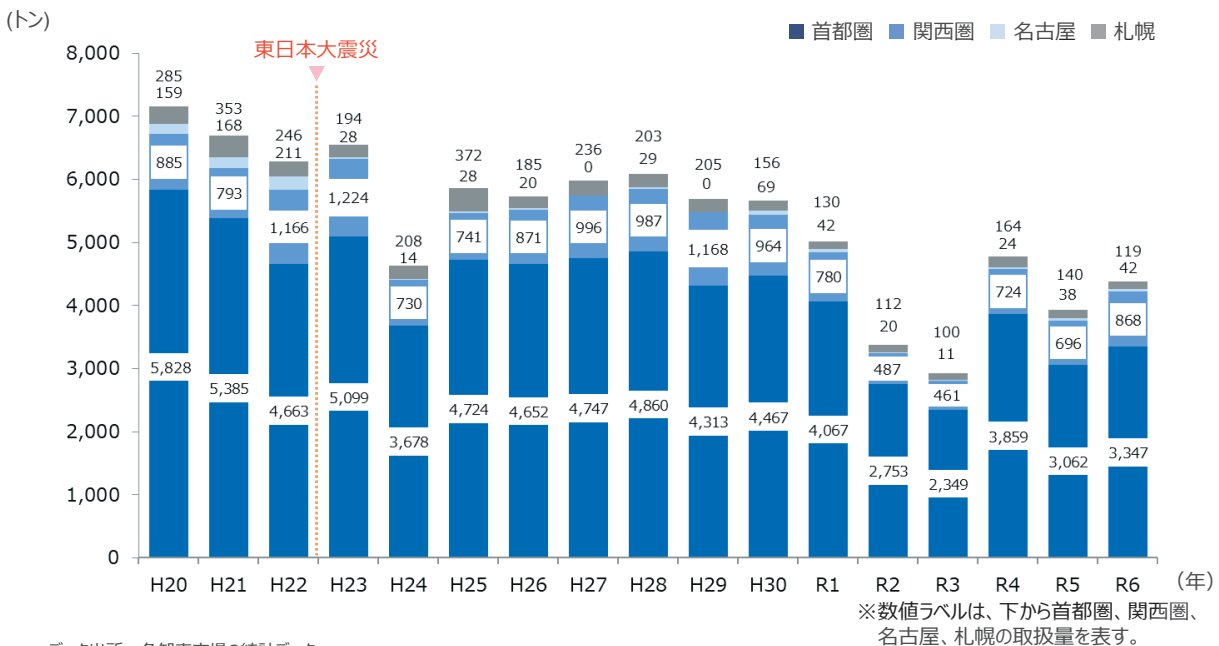


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産梨の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産梨の取扱量は、震災前から継続して首都圏での取扱いが最も多い。また、震災後の取扱量は、いずれの市場においても減少傾向で推移している。令和2年と令和3年は、気象条件や病害の影響もあり少なくなっている。

各市場における福島県産梨の取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場における梨の産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場においては、福島県産梨は1月・3月にはシェア1位、9月～10月にシェアが2位であった。横浜市中央卸売市場においては福島県産梨は10月にシェアが1位、8月・9月・11月にシェアが2位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	87%	-	84%	-	-	0%	0%	12%	21%	21%	6%	3%	2,971
栃木	0%	-	0%	-	-	4%	2%	26%	34%	41%	24%	35%	5,518
茨城	11%	-	0%	-	-	0%	13%	24%	14%	4%	3%	2%	3,000
千葉	2%	-	0%	-	-	0%	11%	22%	15%	3%	4%	2%	2,873
新潟	0%	-	0%	-	-	0%	0%	3%	4%	12%	46%	11%	1,003
長野	0%	-	0%	-	-	0%	0%	2%	6%	9%	5%	0%	870
総量	16	0	2	0	0	7	562	7,219	7,511	2,466	261	44	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	-	-	-	-	-	-	0%	18%	20%	24%	13%	0%	376
茨城	-	-	-	-	-	-	51%	47%	34%	12%	0%	0%	717
栃木	-	-	-	-	-	-	0%	13%	15%	16%	7%	10%	277
秋田	-	-	-	-	-	-	0%	1%	11%	24%	0%	0%	171
新潟	-	-	-	-	-	-	0%	6%	6%	20%	70%	0%	168
千葉	-	-	-	-	-	-	0%	12%	8%	1%	0%	0%	155
総量	0	0	0	0	0	0	69	753	857	275	20	6	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 565

各市場における梨の産地リレー(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場においては、福島県産梨は1月・9月にシェア1位、10月にシェア2位、8月にシェア3位であった。京都市中央卸売市場においては、年間を通して福島県産梨の取扱いは僅かであった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	98%	0%	-	-	-	0%	0%	9%	30%	24%	3%	0%	864
徳島	0%	0%	-	-	-	0%	28%	40%	1%	0%	0%	0%	901
鳥取	2%	0%	-	-	-	0%	0%	16%	18%	0%	5%	15%	675
長野	0%	0%	-	-	-	0%	0%	5%	19%	24%	0%	0%	562
新潟	0%	0%	-	-	-	0%	0%	7%	10%	26%	86%	0%	454
大分	0%	100%	-	-	-	0%	8%	7%	4%	6%	0%	85%	275
総量	8	10	0	0	0	1	214	2,081	1,925	388	16	7	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	-	0%	-	-	-	0%	1%	1%	0%	1%	0%	4
鳥取	100%	-	0%	-	-	-	2%	25%	24%	16%	38%	52%	206
徳島	0%	-	0%	-	-	-	74%	45%	1%	0%	0%	0%	199
富山	0%	-	0%	-	-	-	0%	14%	33%	33%	0%	0%	187
長野	0%	-	38%	-	-	-	0%	6%	21%	17%	0%	0%	108
京都	0%	-	0%	-	-	-	0%	4%	12%	34%	25%	0%	85
総量	2	0	10	0	0	0	16	406	314	73	30	12	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 566

各市場における梨の産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産梨の取扱いは、名古屋市中心卸売市場では、取扱量は少ないものの12月にシェア1位であった。札幌市中心卸売市場では、福島県産は8月～10月に主力産地の一つとなっており、また、取扱量は少ないものの1月・12月にシェア1位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋市中心卸売市場													
福島	0%	-	-	-	-	-	0%	1%	1%	0%	2%	58%	42
長野	0%	-	-	-	-	-	0%	47%	56%	41%	32%	3%	1,707
新潟	0%	-	-	-	-	-	0%	12%	10%	24%	32%	0%	457
富山	0%	-	-	-	-	-	0%	13%	13%	9%	3%	0%	408
佐賀	0%	-	-	-	-	-	90%	11%	0%	0%	0%	0%	324
愛知	0%	-	-	-	-	-	9%	9%	6%	2%	13%	18%	258
総量	3	0	0	0	0	0	203	1,334	1,529	500	77	10	
札幌市中心卸売市場													
福島	100%	-	-	-	-	-	0%	10%	14%	6%	0%	96%	119
新潟	0%	-	-	-	-	-	0%	41%	47%	78%	96%	0%	513
茨城	0%	-	-	-	-	-	24%	29%	17%	3%	0%	0%	159
長野	0%	-	-	-	-	-	0%	5%	8%	4%	0%	0%	56
栃木	0%	-	-	-	-	-	0%	5%	7%	3%	0%	0%	48
千葉	0%	-	-	-	-	-	4%	4%	3%	1%	0%	0%	24
総量	10	0	0	0	0	0	6	278	413	209	43	10	

データ出所：各卸売市場の統計データ

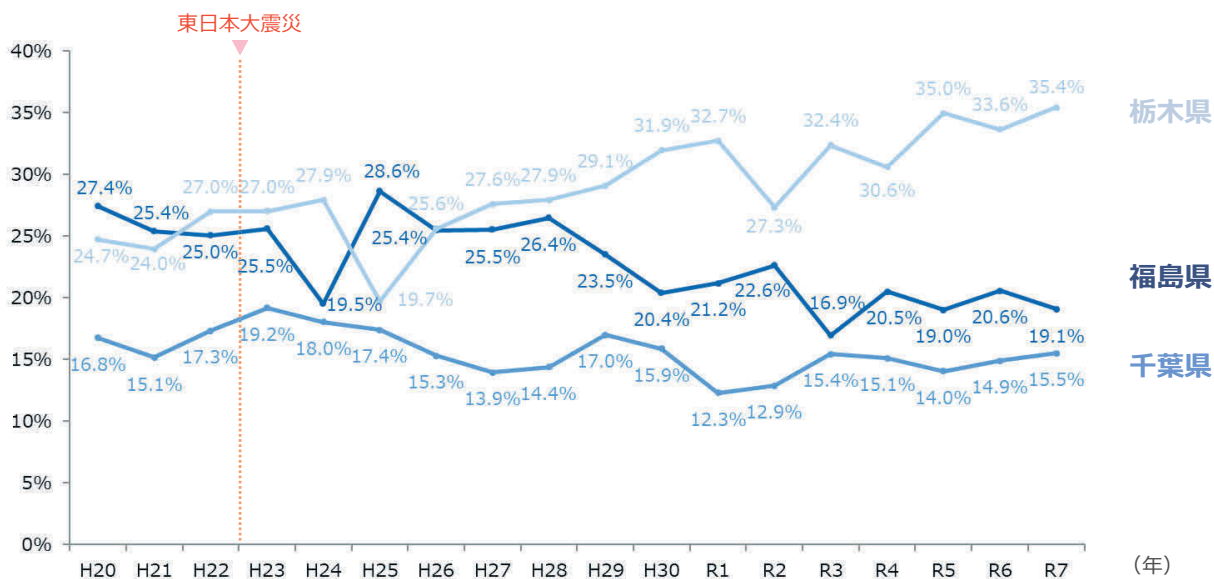
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はト。

567

東京都中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成25年度に震災前を上回るシェアとなったものの、その後は概ね縮小傾向にあり、栃木県産とのシェアが拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)



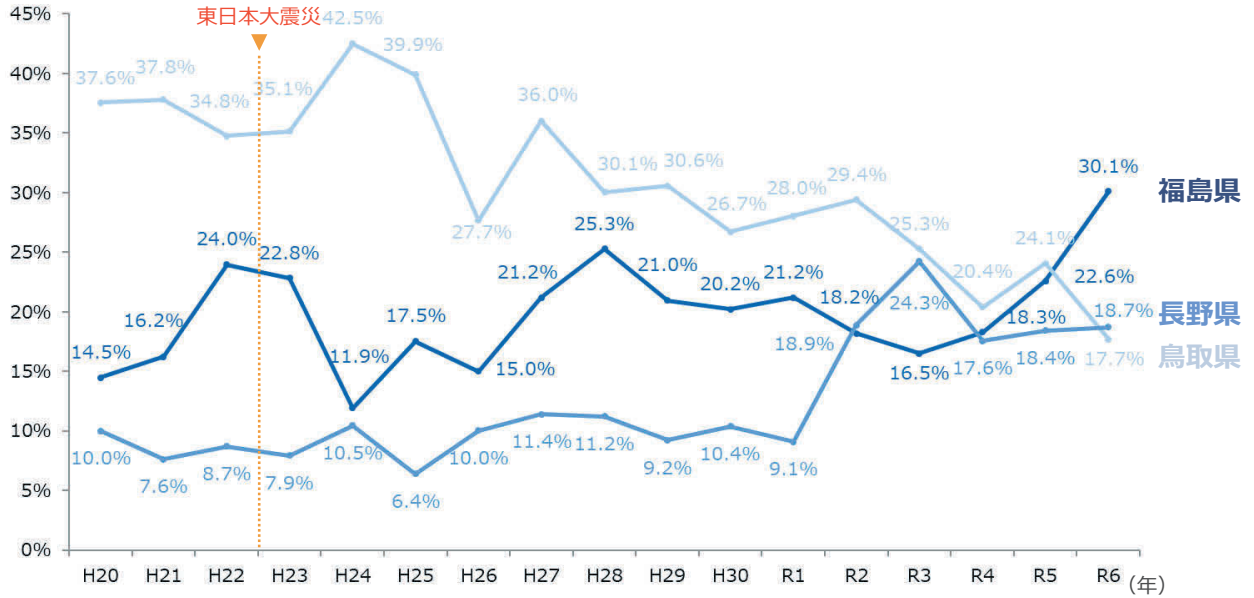
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

568

大阪市中央卸売市場における福島県産梨のシェアの推移

大阪市中央卸売市場における9月の福島県産梨のシェアは、平成24年に大きく縮小し、その後回復傾向にあったものの、平成28年をピークに再び縮小した。一方、令和3年以降は再び回復し、令和6年は長野県産・鳥取県産を上回りシェア1位であった。

大阪市中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

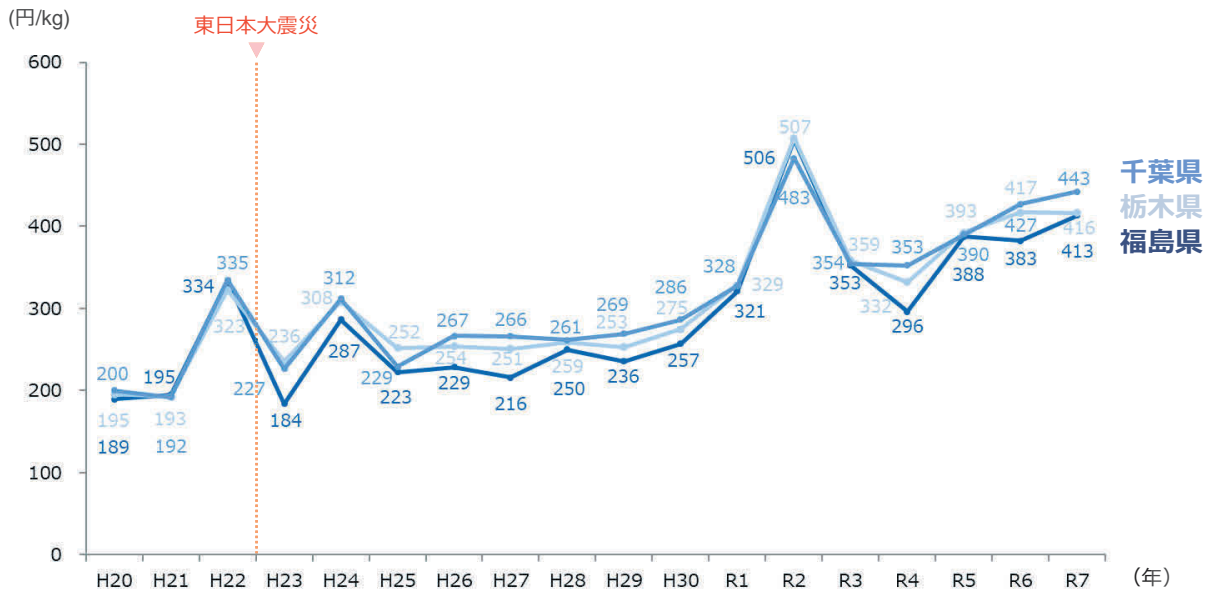


データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

東京都中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産梨の平均単価は、震災前は千葉県産や栃木県産と同水準で推移していたものの、震災後は低い水準となった。令和元年以降は、千葉県産や栃木県産と同水準からやや低い水準で推移している。

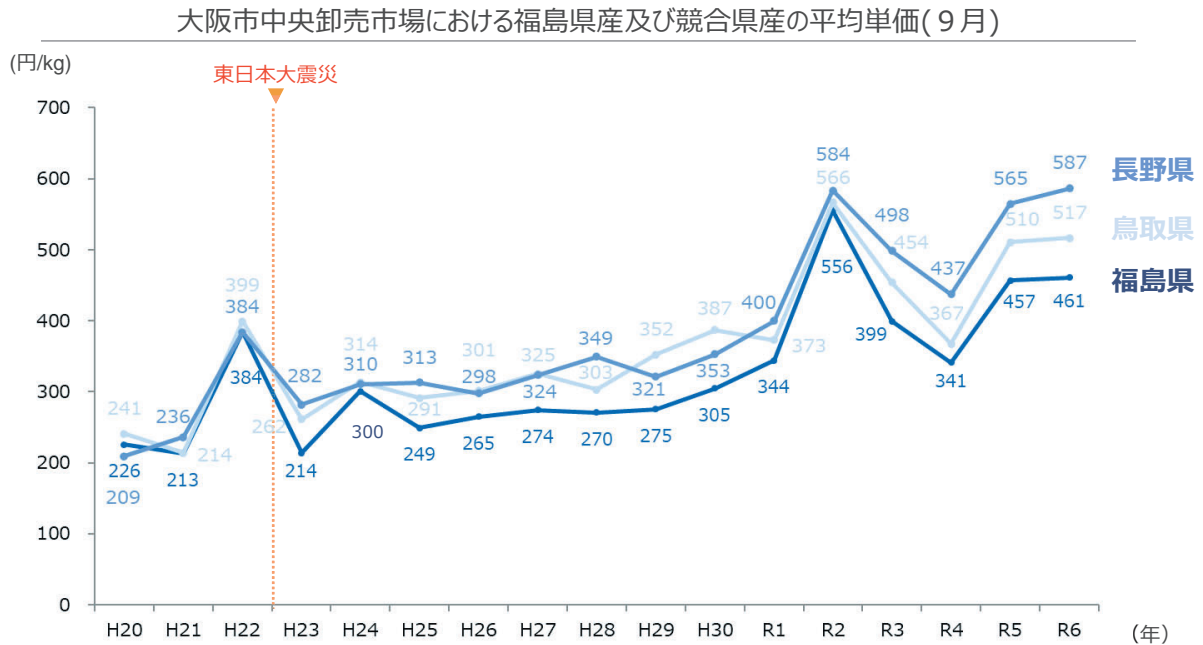
東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

大阪市中央卸売市場における福島県産梨の単価の推移

大阪市中央卸売市場における9月の福島県産梨の平均単価は、震災以前は鳥取県産や長野県産と同水準であったが、震災後、両県を下回るようになった。令和2年はその差が縮小したが、令和3年以降は再び差が拡大傾向にある。



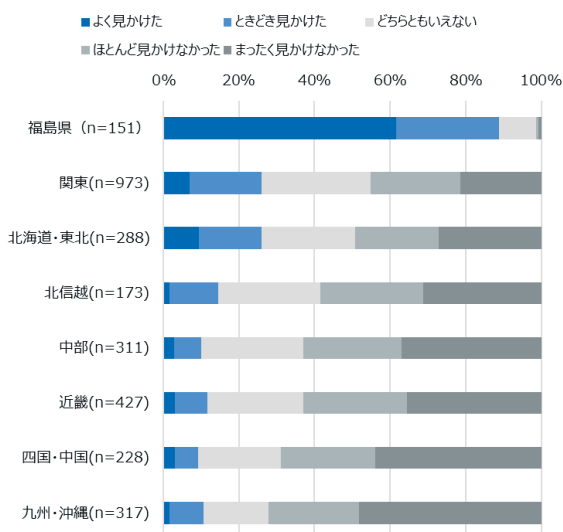
データ出所：大阪市中央卸売市場「市況情報」

571

福島県産梨を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

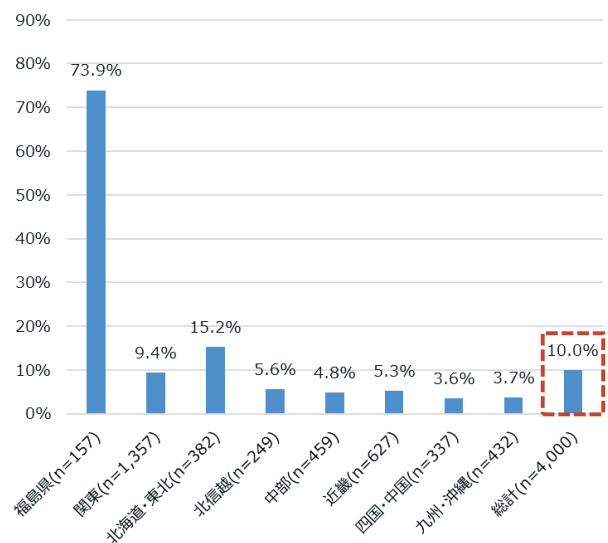
福島県産梨を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産梨を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.0%であった。

福島県産梨を店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産梨の購入経験率



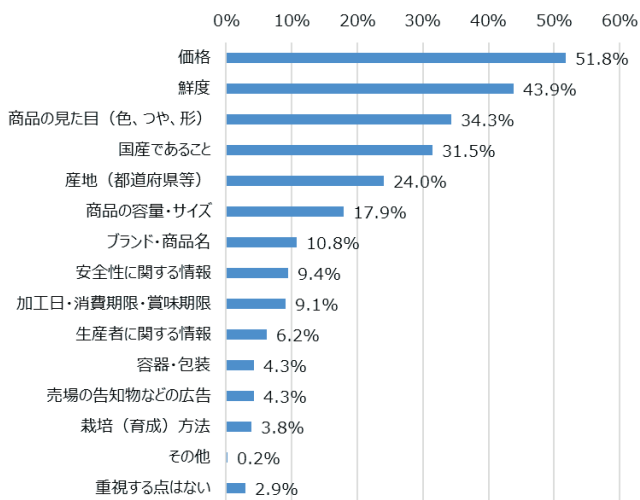
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。

572

梨購入時の重視点と福島県産梨の購入者の評価（消費者アンケート）

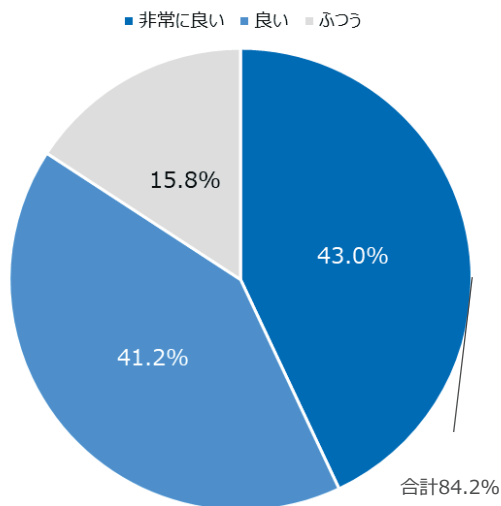
福島県産に限らず梨購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産梨の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が84.2%であった。

梨購入時の重視点（n=2,463、複数回答）



※梨購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上梨を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産梨の購入者の評価（n=398）

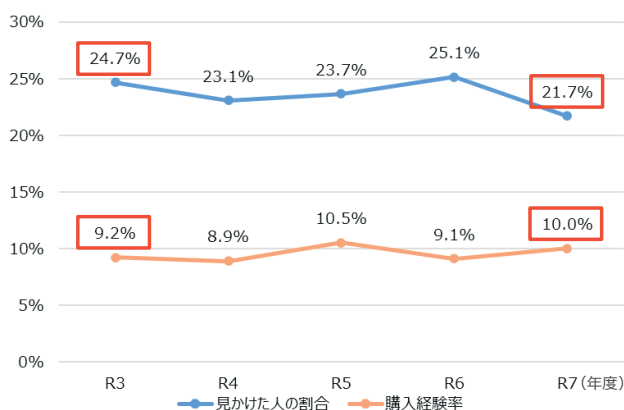


※福島県産梨を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※「悪い」「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

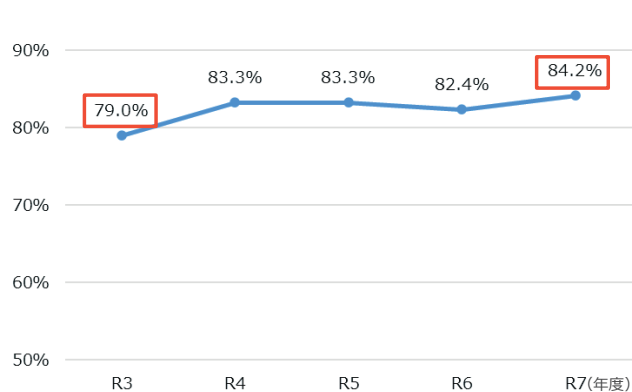
福島県産梨を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産梨を店頭で見かけた人の割合は3.0%下降、購入経験率は0.8%上昇した。福島県産梨の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は5.2%上昇した。

福島県産梨を見かけた人の割合、購入経験率



福島県産梨を高く評価している人の割合



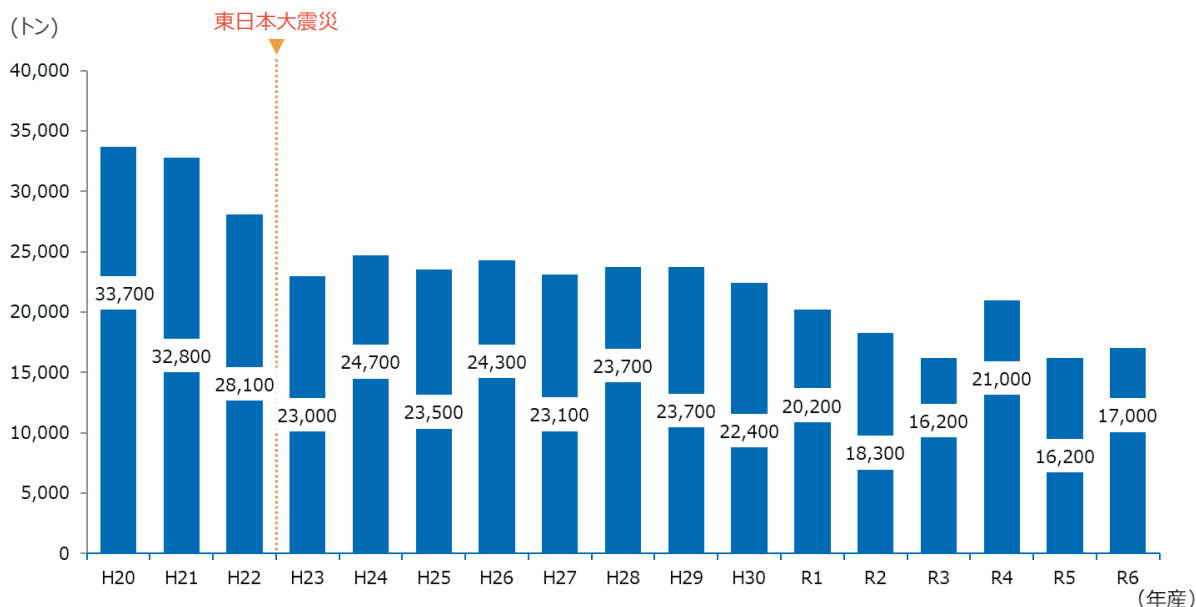
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産梨を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,711、R4:3,569、R5:2,840、R6:2,587、R7:2,868。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産梨を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:1,008、R4:491、R5:418、R6:364、R7:398。

福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後に減少し、その後は概ね横ばいで推移していたが、平成30年産以降は減少傾向で令和3年産は凍霜害の影響もあり、特に少ない出荷量となった。令和4年産は一時的に回復したが、令和5年産以降は令和3年産と同程度で推移している。

福島県産りんごの出荷量の推移



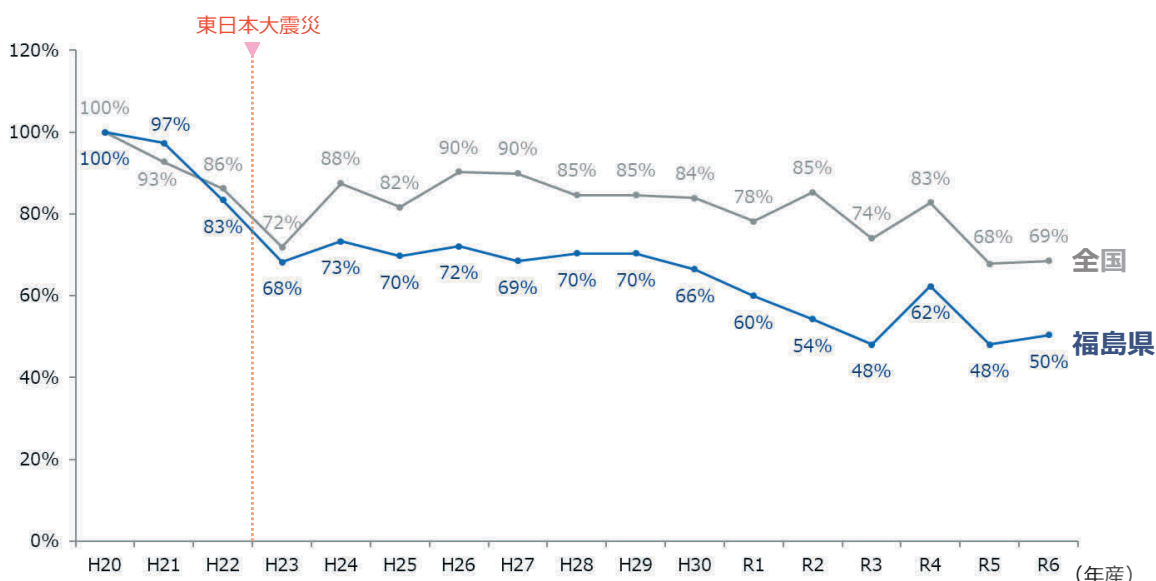
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

575

全国・福島県産りんごの出荷量の推移

福島県産りんごの出荷量は、震災直後の平成23年産まで、全国のりんごと同様に減少していた。全国の出荷量が平成26年産以降横ばいもしくは微減で推移する一方で、福島県産は平成30年産以降、令和4年産・令和6年産を除いて減少傾向にある。

全国・福島県産りんごの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)



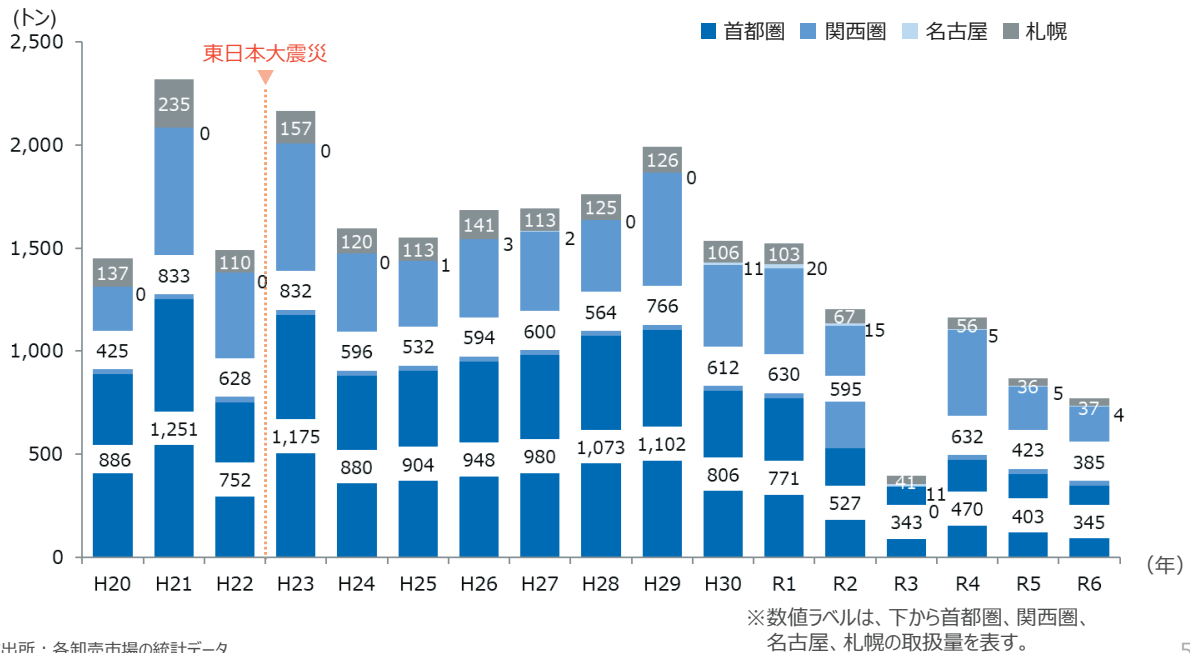
データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

576

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産りんごは、主に首都圏、関西圏で取り扱われている。市場問わず、取扱量は、平成30年以降概ね減少傾向にある。

各市場における福島県産りんごの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

各市場におけるりんごの産地リレー(令和6年産・首都圏)

東京都中央卸売市場では、福島県産りんごは、青森県産のシェアがやや落ちる10月～12月に全体の1%～2%程度のシェアを占めていた。横浜市中心卸売市場では、9月・12月に1%のシェアを占めるものの、福島県産りんごの取扱いは僅かだった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	2%	331
青森	89%	96%	98%	99%	97%	98%	96%	51%	70%	59%	49%	58%	37,751
長野	2%	2%	1%	0%	0%	0%	1%	36%	14%	22%	19%	12%	4,603
山形	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	8%	7%	11%	20%	13%	3,179
岩手	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	7%	6%	8%	13%	2,037
秋田	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	460
総量	4,554	5,153	4,941	3,880	2,851	2,213	1,766	2,248	4,408	5,919	5,767	4,854	
横浜市中心卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	1%	14
青森	52%	90%	98%	100%	98%	94%	95%	72%	63%	55%	45%	42%	4,097
秋田	34%	6%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	19%	18%	25%	712
岩手	12%	4%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	14%	7%	15%	17%	447
山形	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	14%	13%	12%	17%	12%	401
長野	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	2%	7%	5%	3%	148
総量	551	515	497	471	367	306	238	222	479	786	790	640	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるりんごの産地リレー(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、11月・12月に福島県産りんごのシェアが全体の5%程度を占めていた。京都市中央卸売市場では、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に													
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	5%	6%	385		
青森	93%	100%	100%	100%	98%	98%	97%	54%	74%	61%	53%	56%	24,785		
長野	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	40%	16%	28%	27%	20%	3,700		
岩手	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	8%	7%	8%	11%	1,165		
秋田	4%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	3%	3%	6%	499		
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	4%	1%	222		
総量	2,398	2,920	3,258	2,605	2,136	1,782	1,419	1,582	2,681	3,581	3,263	3,302			

京都市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に													
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0		
青森	75%	93%	99%	100%	97%	97%	97%	31%	68%	50%	51%	59%	4,048		
長野	6%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	67%	25%	41%	36%	25%	868		
岩手	13%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	6%	7%	9%	15%	315		
秋田	5%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	3%	2%	2%	69		
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	3%	2%	2%	1%	0%	0%	0%	0%	16		
総量	499	588	637	560	266	235	149	203	516	493	624	551			

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 579

各市場におけるりんごの産地リレー(令和6年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、年間を通して福島県産りんごの取扱いがほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では、7月に福島県産りんごがシェア2位、12月にシェア3位であったが、取扱い量は僅かである。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に													
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4		
青森	91%	99%	100%	100%	95%	94%	92%	16%	53%	45%	35%	44%	7,620		
長野	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	81%	45%	51%	58%	41%	3,089		
岩手	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	2%	3%	6%	10%	277		
ニュージーランド	0%	0%	0%	0%	5%	6%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	83		
秋田	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	1%	52		
総量	886	1,238	1,087	1,020	606	373	219	591	1,189	1,557	1,326	1,083			

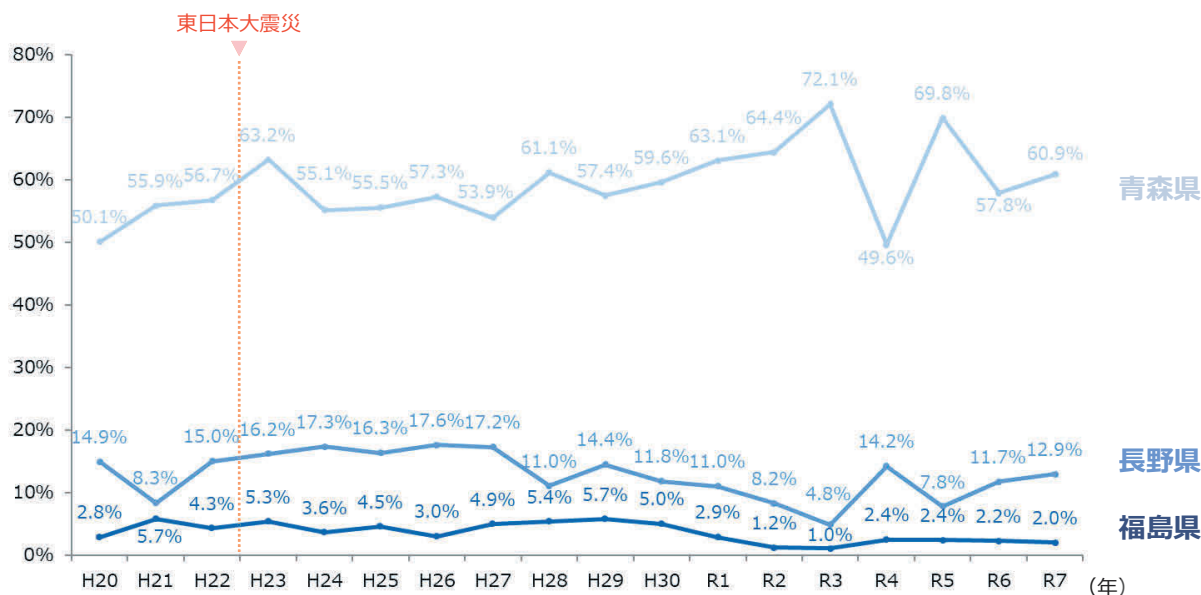
札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位~3位の順に													
		■ ■ ■ で色付け													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	2%	10%	37		
青森	71%	81%	93%	100%	100%	100%	98%	86%	55%	21%	40%	60%	2,576		
北海道	27%	18%	7%	0%	0%	0%	0%	12%	43%	77%	53%	20%	1,012		
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	0%	3%	2%	26		
岩手	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	3%	25		
秋田	2%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	16		
総量	300	332	359	324	294	209	136	173	427	532	336	280			

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 580

東京都中央卸売市場における12月の福島県産りんごのシェアは、平成21年～平成30年まで5%程度を維持していたが、近年は縮小傾向にある。

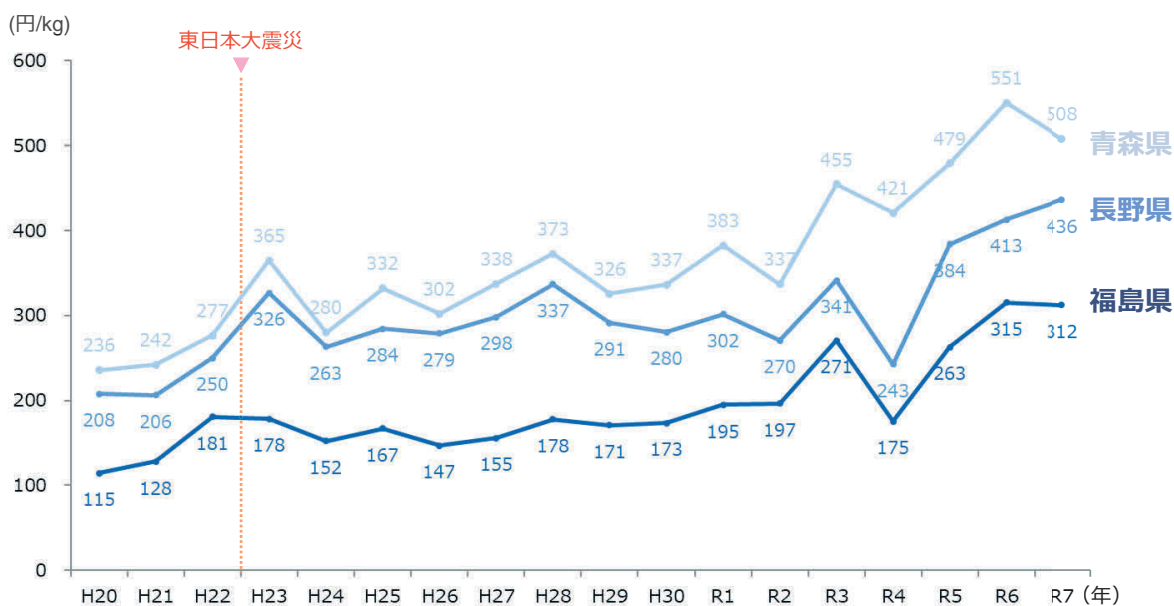
東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(12月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における12月の福島県産りんごの平均単価は、平成28年から上昇傾向にあったが、令和7年は令和6年よりやや下がった。青森県産や長野県産との価格差は震災前より拡大している。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(12月)

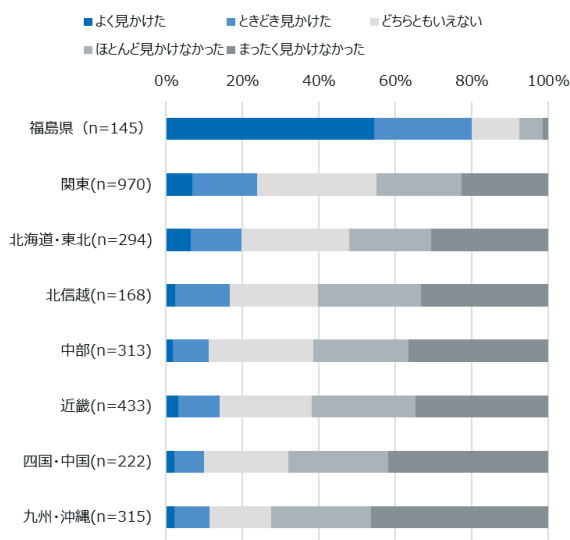


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

福島県産りんごを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

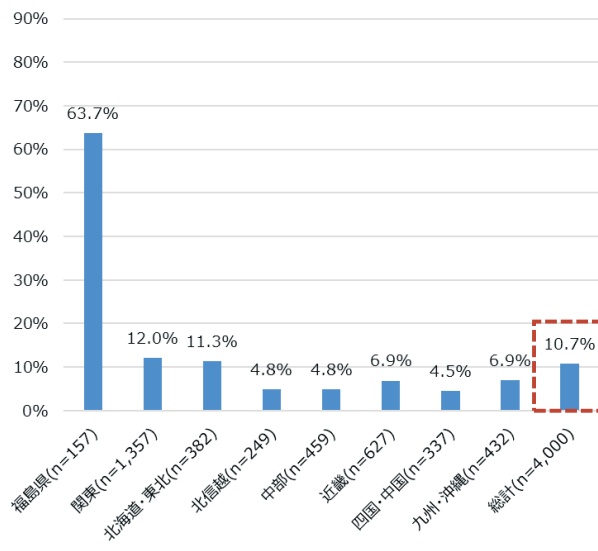
福島県産りんごを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産りんごを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では10.7%であった。

福島県産りんごを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産りんごの購入経験率



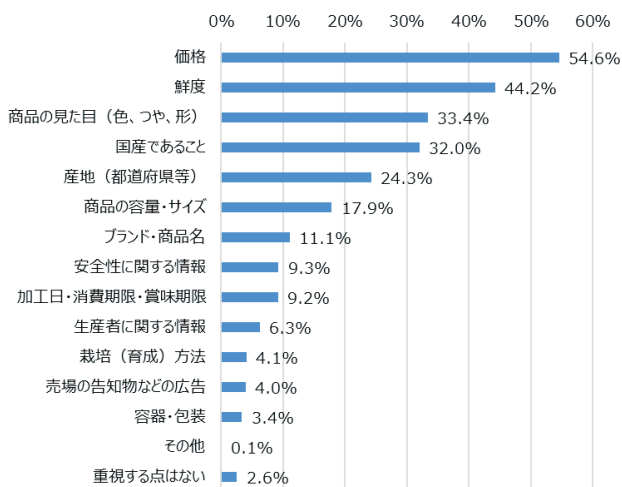
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

583

りんご購入時の重視点と福島県産りんごの購入者の評価（消費者アンケート）

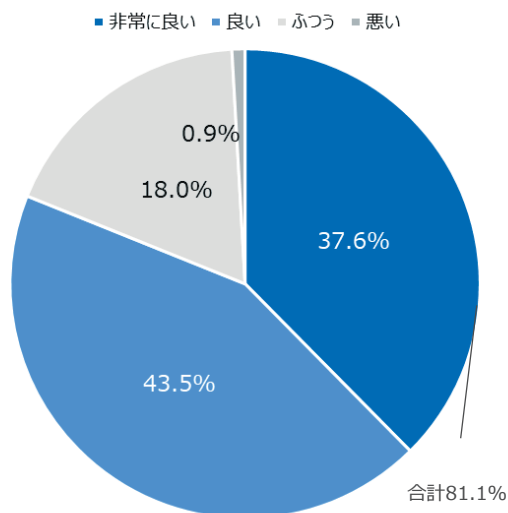
福島県産に限らずりんご購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産りんごの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.1%であった。

りんご購入時の重視点 (n=3,017、複数回答)



※りんご購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上りんごを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産りんごの購入者の評価 (n=428)



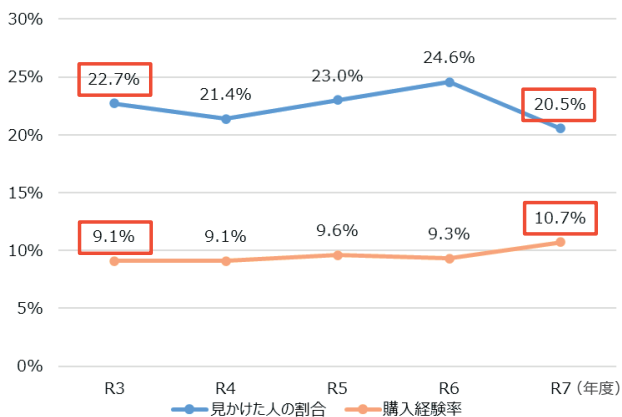
※福島県産りんごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

584

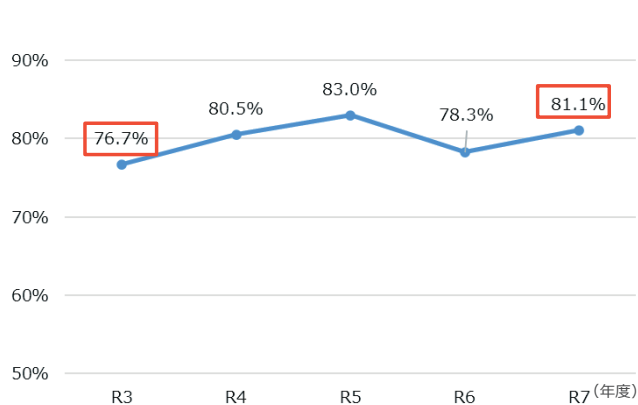
福島県産りんごを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産りんごを店頭で見かけた人の割合は2.2%下降、購入経験率は1.6%上昇した。福島県産りんごの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.4%上昇した。

福島県産りんごを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産りんごを高く評価している人の割合



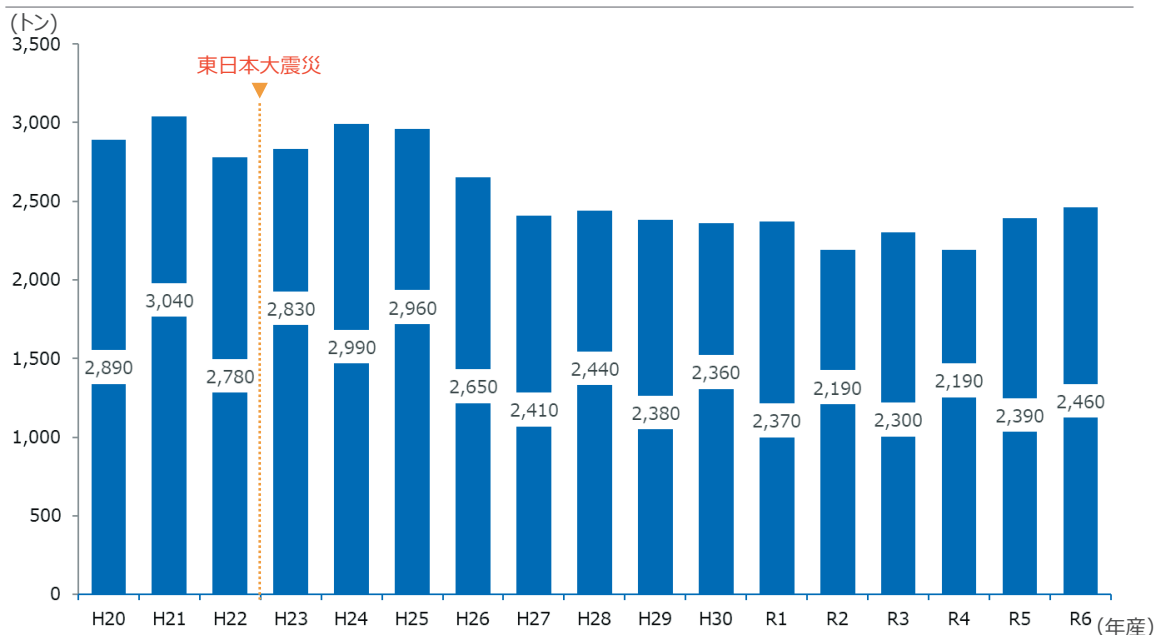
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産りんごを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,774、R4:3,579、R5:2,877、R6:2,601、R7:2,860。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っただけは購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産りんごを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:1,005、R4:498、R5:383、R6:373、R7:428。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産から減少した後、近年は概ね横ばいで推移している。令和6年産の出荷量は約2,460トンとやや増加した。

福島県産ぶどうの出荷量の推移

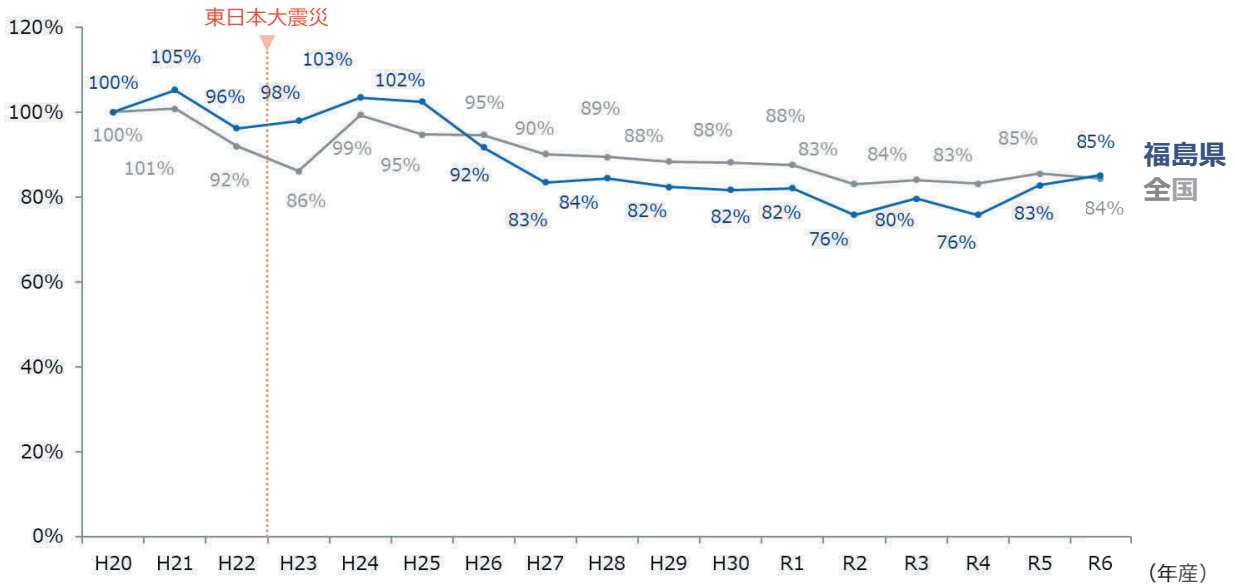


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移

全国のぶどうの出荷量は、平成24年産に増加して以降は減少傾向にある。福島県産ぶどうの出荷量は、平成26年産・平成27年産で大幅に減少した後、横ばいで推移していたが、令和5年産から回復傾向にあり、令和6年産は全国の水準を僅かに上回った。

全国・福島県産ぶどうの出荷量の推移(平成20年産を100%とした値)

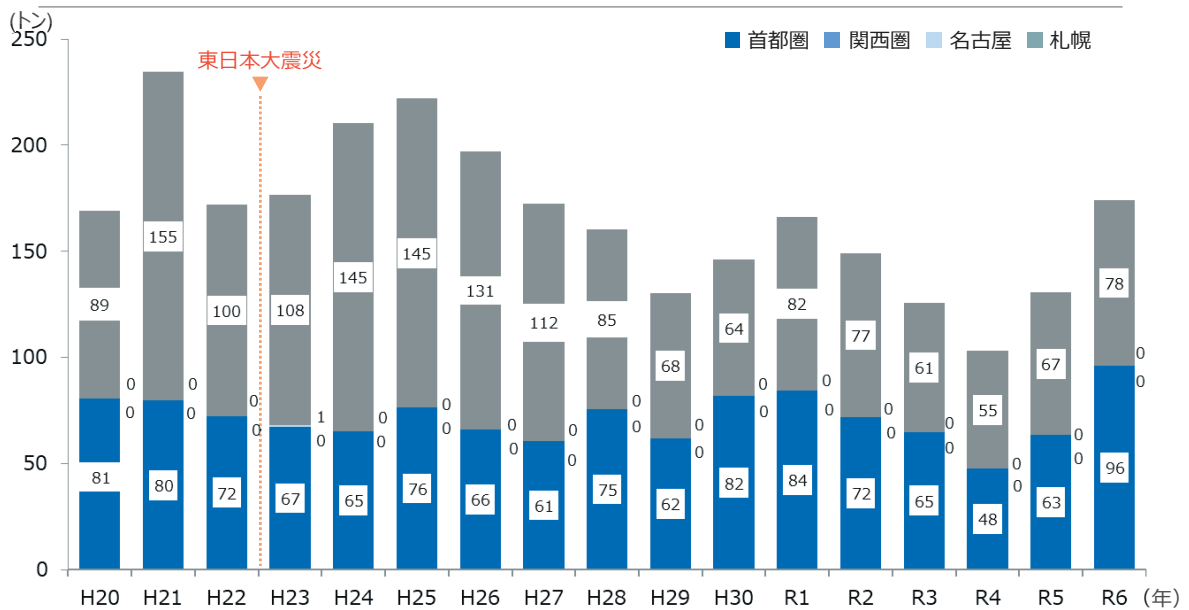


データ出所：農林水産省「果樹生産出荷統計」

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産ぶどうは、首都圏や札幌に多く出荷されている。取扱量は増減を繰り返しているが、令和4年から令和6年にかけては、首都圏・札幌における取扱量が増加している。

各市場における福島県産ぶどうの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるぶどうの産地別（令和6年産・首都圏）

福島県産ぶどうの取扱いは、東京都中央卸売市場、横浜市中央卸売市場ともに年間を通して僅かであった。

各市場における産地別（令和6年産）

東京都中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	2%	83
山梨	2%	0%	0%	2%	23%	18%	31%	67%	62%	30%	6%	2%	6,857
長野	47%	3%	0%	1%	7%	3%	6%	10%	24%	50%	75%	72%	4,343
山形	2%	0%	0%	0%	0%	7%	42%	15%	4%	5%	6%	5%	1,561
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	5%	7%	5%	8%	12%	3%	1%	1,101
チリ	3%	39%	94%	80%	32%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	335
総量	137	79	177	84	132	484	1,288	3,393	4,950	3,155	936	506	

横浜市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	2%	13
山梨	0%	0%	0%	0%	4%	13%	28%	74%	71%	38%	3%	0%	697
長野	28%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	5%	19%	48%	76%	61%	353
山形	0%	0%	0%	0%	0%	2%	45%	14%	1%	0%	0%	0%	111
他外国	33%	66%	65%	70%	81%	20%	1%	0%	0%	0%	0%	5%	89
岡山	0%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	5%	8%	10%	2%	1%	88
総量	14	20	25	24	25	62	135	327	423	284	107	54	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 589

各市場におけるぶどうの産地別（令和6年産・関西圏）

福島県産ぶどうの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても見られなかった。

各市場における産地別（令和6年産）

大阪市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
チリ	15%	52%	92%	98%	88%	81%	56%	19%	0%	0%	0%	2%	853
アメリカ	24%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	15%	89%	89%	88%	58%	454
ペルー	61%	48%	8%	1%	0%	0%	0%	2%	1%	1%	10%	40%	176
メキシコ	0%	0%	0%	0%	0%	11%	33%	28%	1%	0%	0%	0%	73
山梨	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3%	24%	3%	2%	0%	0%	26
総量	59	93	259	207	199	121	119	68	112	132	152	132	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	2%	20%	49%	26%	15%	1%	0%	97
岡山	0%	0%	6%	0%	0%	1%	6%	5%	58%	52%	10%	0%	95
チリ	21%	95%	92%	67%	77%	25%	7%	0%	0%	0%	0%	0%	91
福岡	0%	0%	0%	0%	6%	33%	28%	23%	4%	0%	0%	0%	66
米国	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	9%	15%	73%	55%	36
総量	4	9	24	27	29	54	71	100	93	56	13	9	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。 590

各市場におけるぶどうの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産ぶどうの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。札幌市中央卸売市場では、12月の福島県産ぶどうのシェアは3位であった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
長野	42%	3%	0%	0%	4%	2%	5%	10%	45%	76%	80%	74%	1,094	
山梨	0%	0%	0%	0%	3%	9%	29%	59%	50%	21%	2%	0%	991	
山形	0%	0%	0%	0%	0%	0%	38%	22%	2%	0%	0%	0%	249	
チリ	16%	67%	90%	73%	52%	15%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	150	
島根	0%	0%	0%	1%	29%	51%	10%	0%	0%	0%	0%	0%	124	
総量	30	21	41	49	55	158	232	655	808	549	162	113		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	12%	1%	0%	0%	0%	0%	7%	3%	9%	12%	13%	20%	78	
北海道	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	32%	38%	34%	22%	5%	224	
山梨	0%	0%	0%	0%	1%	10%	23%	32%	39%	28%	0%	0%	212	
チリ	15%	27%	88%	98%	93%	34%	15%	1%	0%	0%	0%	0%	162	
長野	16%	10%	3%	0%	1%	1%	3%	9%	10%	15%	31%	25%	112	
青森	36%	40%	8%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	19%	28%	62	
総量	18	15	45	51	48	34	50	145	255	175	80	63		

データ出所：各卸売市場の統計データ

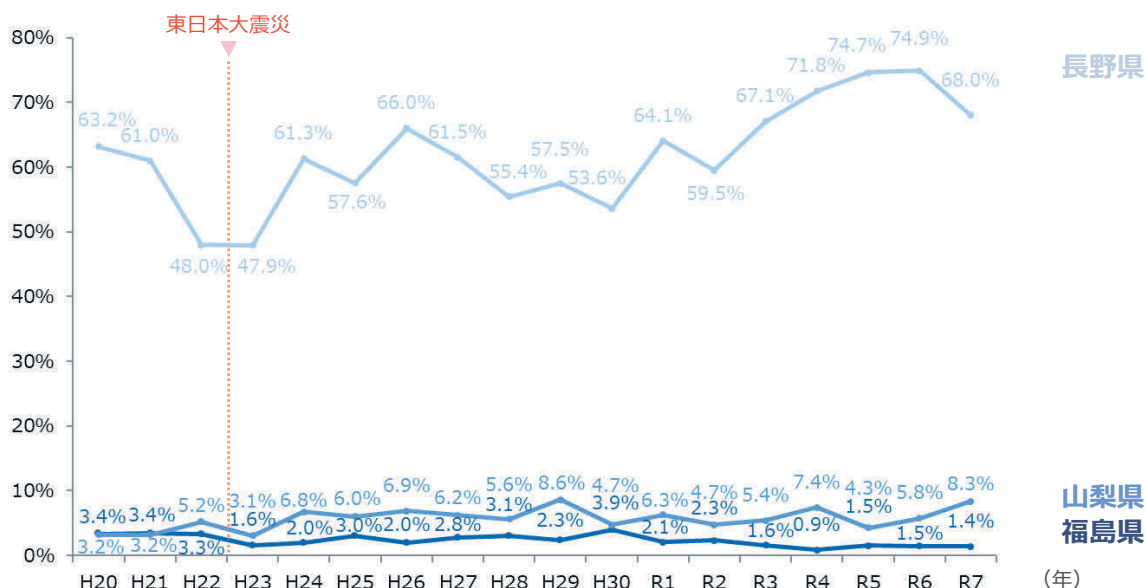
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

591

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうのシェアの推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ぶどうのシェアは、震災前は3%程度で推移していたが、震災後に減少し、以降は横ばいで推移している。震災以前から長野県が大きなシェアを占めており、令和7年は68%となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(11月)



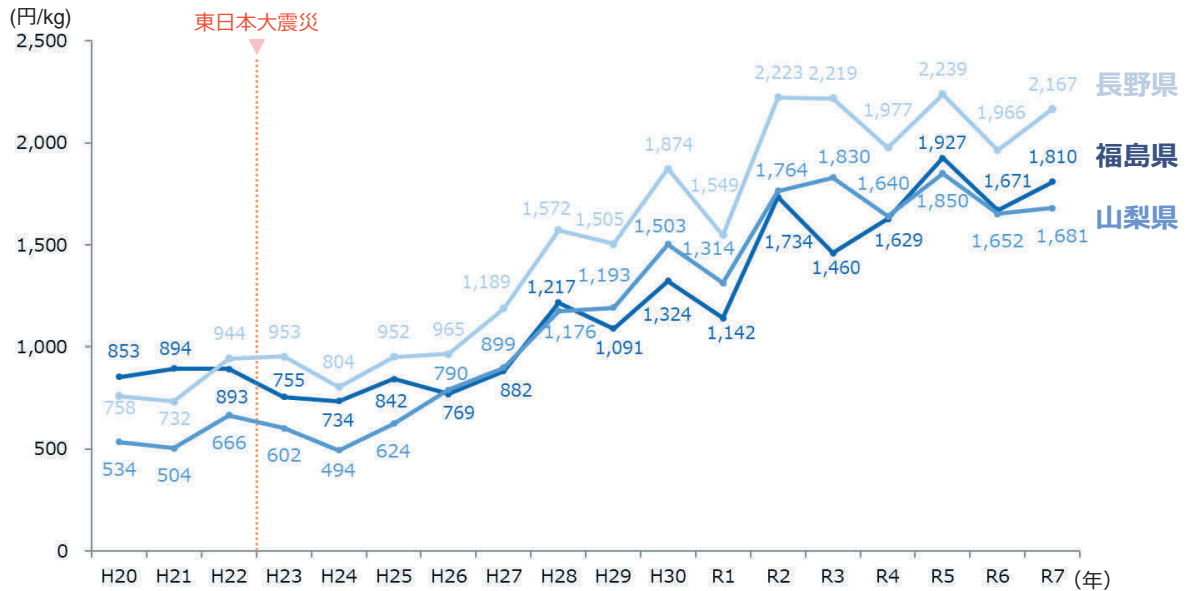
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

592

東京都中央卸売市場における福島県産ぶどうの単価の推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産ぶどうの平均単価は、震災直後に微減したが、平成25年から増減を繰り返しつつ上昇し、平成28年以降は震災前の水準を超えている。近年は山梨県産と同程度の水準で推移し、長野県産の水準は下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(11月)



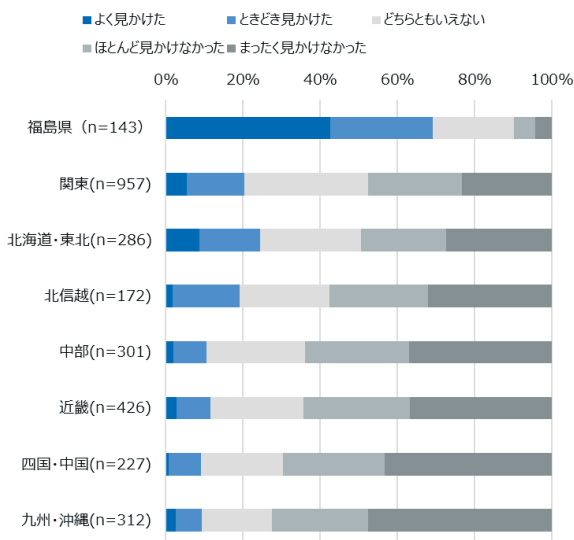
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

593

福島県産ぶどうを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

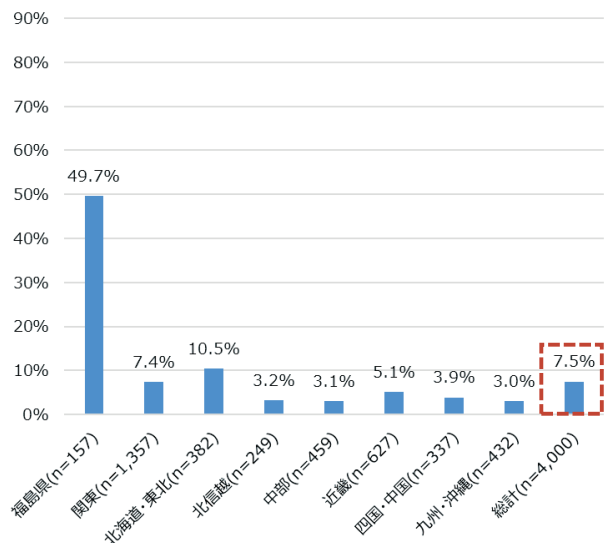
福島県産ぶどうを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産ぶどうを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では7.5%であった。

福島県産ぶどうを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産ぶどうの購入経験率



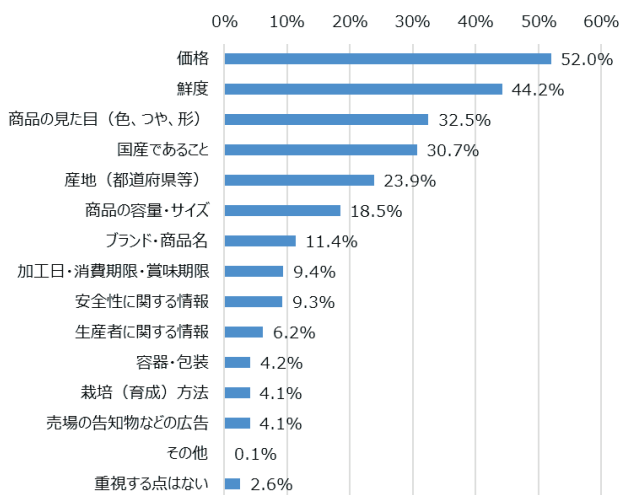
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

594

ぶどう購入時の重視点と福島県産ぶどうの購入者の評価（消費者アンケート）

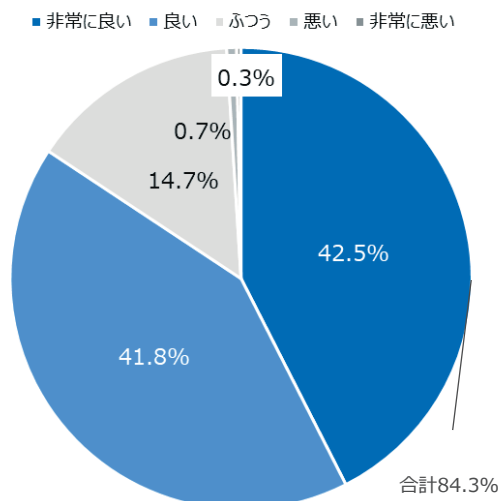
福島県産に限らずぶどう購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産ぶどうの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が84.3%であった。

ぶどう購入時の重視点（n=2,394、複数回答）



※ぶどう購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上ぶどうを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうの購入者の評価（n=299）

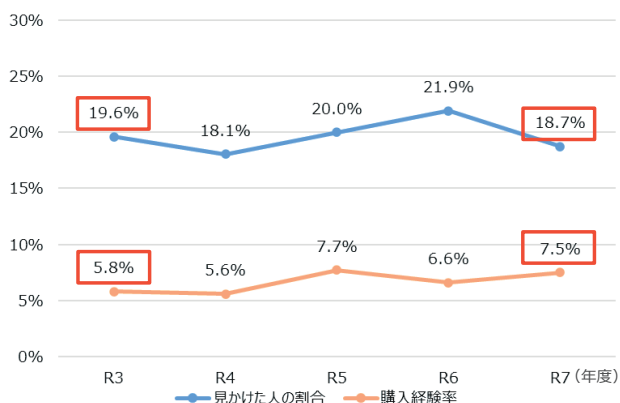


※福島県産ぶどうを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産ぶどうを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

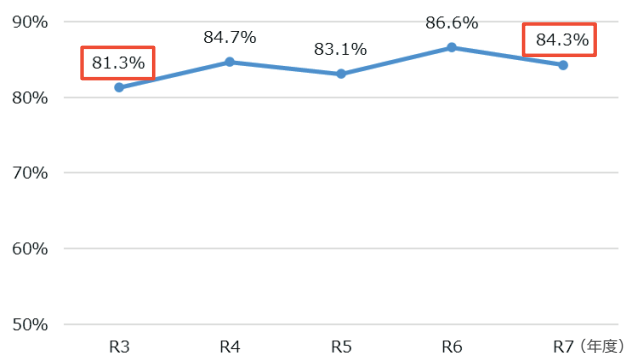
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産ぶどうを店頭で見かけた人の割合は0.9%下降、購入経験率は1.7%上昇した。福島県産ぶどうの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は3.0%上昇した。

福島県産ぶどうを見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産ぶどうを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
※見かけた人の割合のnはR3:7,551、R4:3,465、R5:2,809、R6:2,542、R7:2,824。
nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産ぶどうを高く評価している人の割合

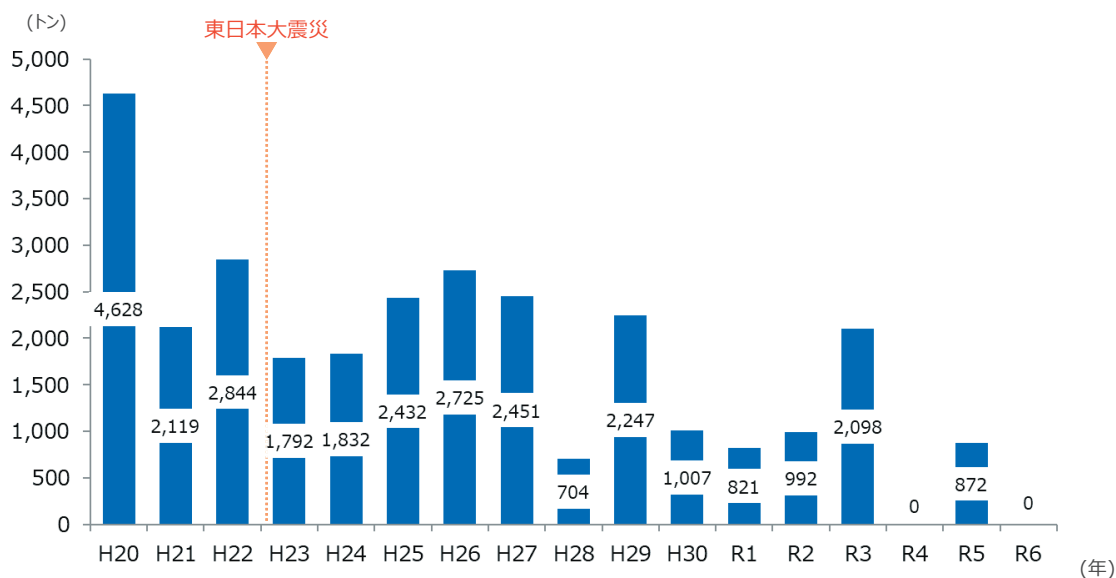


※福島県産ぶどうを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
※nはR3:633、R4:307、R5:308、R6:262、R7:299。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移

福島県内の漁協に所属する船によるカツオの漁獲量は、平成28年に大きく減少した後、平成29年・令和3年に再び2,000トン以上と一時的に回復したが、他の年においては、概ね1,000トン前後を推移している。

福島県におけるカツオ漁獲量の推移



※ 数値は属人(福島県内の漁協に所属する船による)の漁獲量
 ※ H23は震災前の漁獲を含む

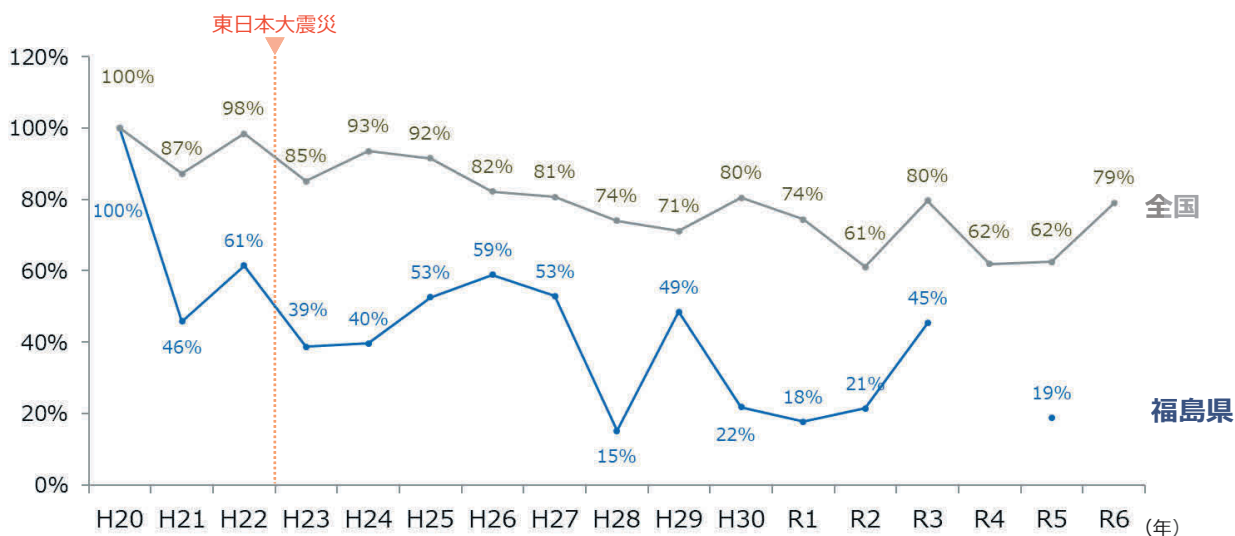
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ R4・R6は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移

全国のカツオの漁獲量は、大きく増加する年もあるものの概ね減少傾向にある。福島県内の漁協に所属する船による漁獲量は、毎年大きく変動し、令和3年は平成21年と同程度となったが、令和5年は平成20年の19%であった。

全国・福島県におけるカツオ漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



※ H23は震災前の漁獲を含む

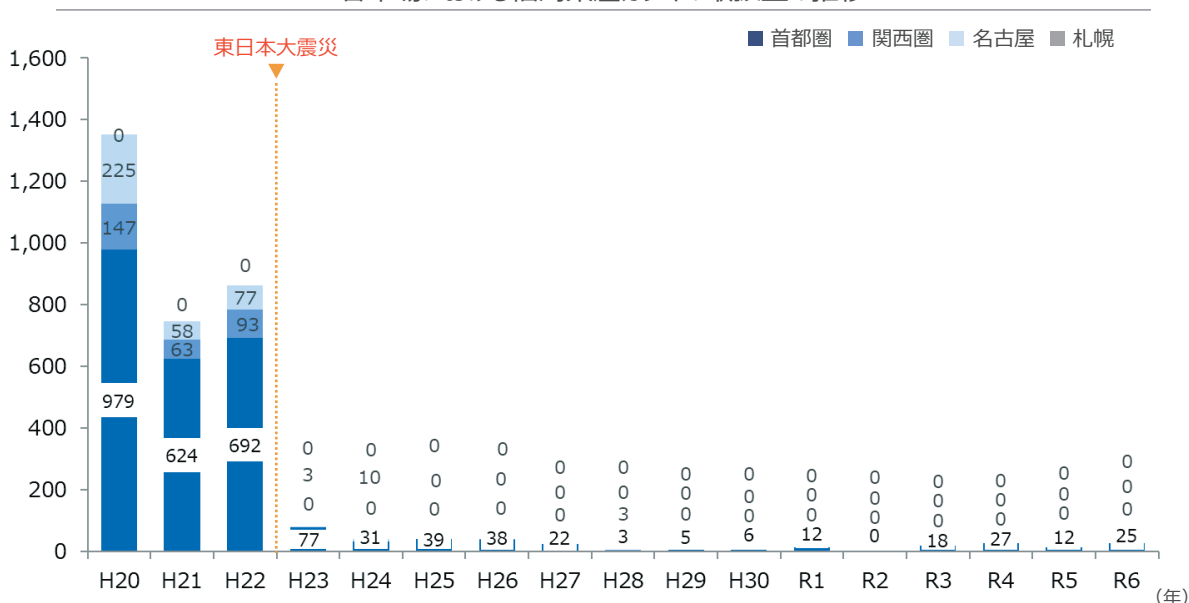
※ 福島県のR4・R6は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カツオは、震災前には札幌以外の首都圏、関西圏、名古屋で取り扱われていたが、震災後は出荷が大きく減少し、近年では取扱いがほとんどない。

各市場における福島県産カツオの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるカツオの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産カツオの取扱いは、東京都中央卸売市場において年間を通して僅かであった。横浜市中央卸売市場では、年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	25
宮城	1%	0%	0%	0%	7%	47%	85%	89%	82%	74%	74%	4%	4,132
千葉	0%	2%	1%	10%	34%	28%	3%	1%	0%	0%	2%	8%	731
宮崎	2%	37%	25%	23%	12%	1%	0%	0%	0%	0%	2%	6%	491
鹿児島	16%	26%	25%	25%	8%	0%	0%	0%	0%	0%	7%	14%	465
東京	7%	19%	14%	14%	6%	4%	4%	3%	3%	3%	4%	6%	453
総量	57	272	432	647	884	1,041	1,078	1,122	993	781	352	137	
横浜市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	14%	33%	72%	82%	88%	89%	79%	0%	315
千葉	0%	8%	0%	19%	39%	45%	22%	14%	6%	2%	4%	29%	108
三重	13%	20%	12%	33%	28%	7%	1%	0%	0%	2%	0%	9%	44
鹿児島	43%	49%	63%	25%	5%	0%	1%	0%	1%	1%	6%	46%	38
和歌山	15%	12%	9%	15%	8%	7%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	22
総量	3	12	19	40	64	80	83	84	76	60	37	5	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるカツオの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産カツオの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
高知	53%	22%	50%	37%	48%	58%	51%	19%	3%	17%	7%	21%	639
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	7%	34%	60%	73%	63%	71%	0%	603
和歌山	9%	11%	10%	26%	40%	28%	3%	1%	1%	5%	3%	4%	254
鹿児島	13%	33%	19%	19%	2%	0%	1%	2%	3%	7%	13%	31%	134
宮崎	7%	29%	21%	15%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	6%	82
総量	19	60	124	172	234	246	263	244	215	194	102	38	

京都市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
三重	0%	0%	0%	37%	52%	51%	21%	1%	3%	12%	3%	0%	111
高知	19%	23%	70%	32%	28%	27%	23%	13%	3%	15%	4%	5%	100
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	5%	31%	50%	41%	36%	26%	0%	91
静岡	37%	30%	9%	6%	4%	8%	19%	25%	21%	13%	21%	26%	65
和歌山	3%	12%	14%	13%	10%	5%	0%	0%	1%	8%	1%	0%	25
総量	5	6	20	41	69	76	67	52	51	43	18	8	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

601

各市場におけるカツオの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産カツオの取扱いは、名古屋市中央卸売市場、札幌市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場

各月で市場シェア1位～3位の順に

■ ■ ■ で色付け

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	13%	55%	75%	66%	52%	50%	0%	677
高知	25%	10%	39%	20%	27%	31%	27%	9%	4%	21%	19%	54%	438
和歌山	32%	15%	12%	30%	36%	31%	1%	1%	1%	8%	6%	9%	295
宮崎	11%	42%	34%	21%	7%	7%	6%	4%	1%	7%	3%	10%	192
三重	11%	2%	1%	20%	22%	15%	4%	1%	1%	5%	1%	3%	168
総量	13	62	124	167	238	321	282	240	221	207	85	25	

札幌市中央卸売市場

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
宮城	0%	0%	0%	0%	11%	32%	29%	44%	54%	53%	54%	0%	33
東京	57%	59%	75%	73%	60%	25%	25%	9%	6%	13%	16%	52%	23
青森	0%	0%	0%	0%	10%	32%	35%	36%	23%	22%	17%	0%	21
北海道	0%	0%	3%	0%	1%	5%	5%	6%	13%	7%	4%	0%	6
福岡	30%	12%	4%	1%	4%	3%	4%	3%	2%	2%	6%	34%	4
総量	1	2	3	3	9	11	12	14	16	14	6	1	

データ出所：各卸売市場の統計データ

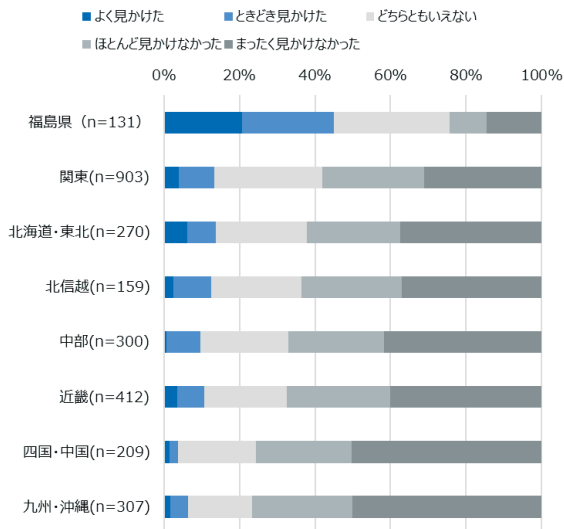
※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

602

福島県産カツオを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

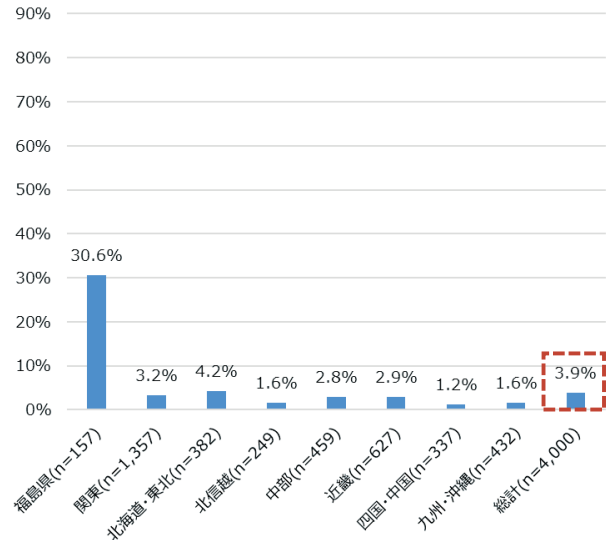
福島県産カツオを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カツオを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.9%であった。

福島県産カツオを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カツオの購入経験率

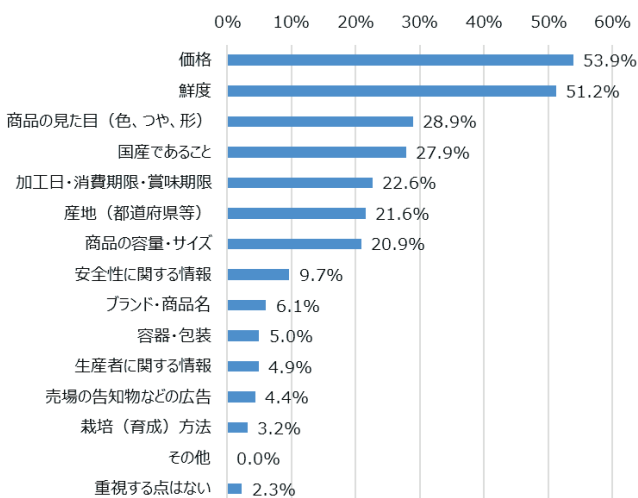


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていない購入経験なしとなる。

カツオ購入時の重視点と福島県産カツオの購入者の評価（消費者アンケート）

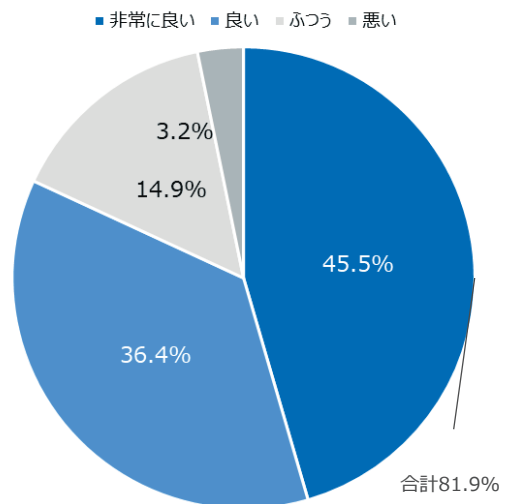
福島県産に限らずカツオ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産カツオの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.9%であった。

カツオ購入時の重視点 (n=2,134、複数回答)



※カツオ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上カツオを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カツオの購入者の評価 (n=154)

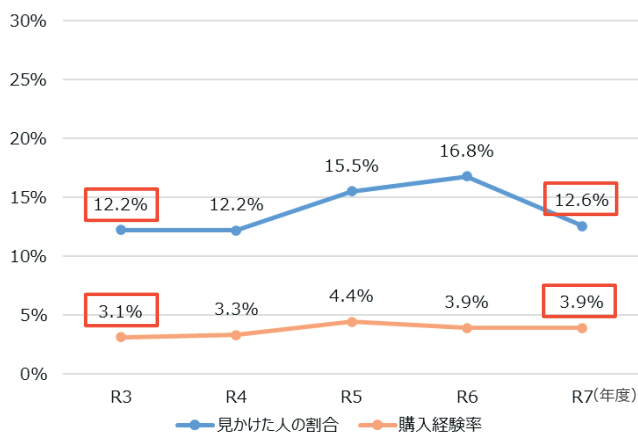


※福島県産カツオを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

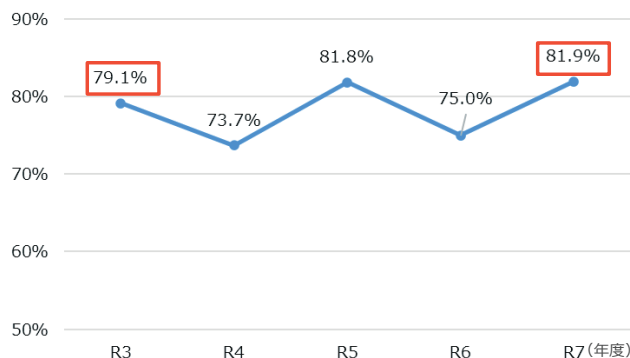
福島県産カツオを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産カツオを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ0.4%、0.8%上昇し、福島県産カツオの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.8%上昇した。

福島県産カツオを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産カツオを高く評価している人の割合



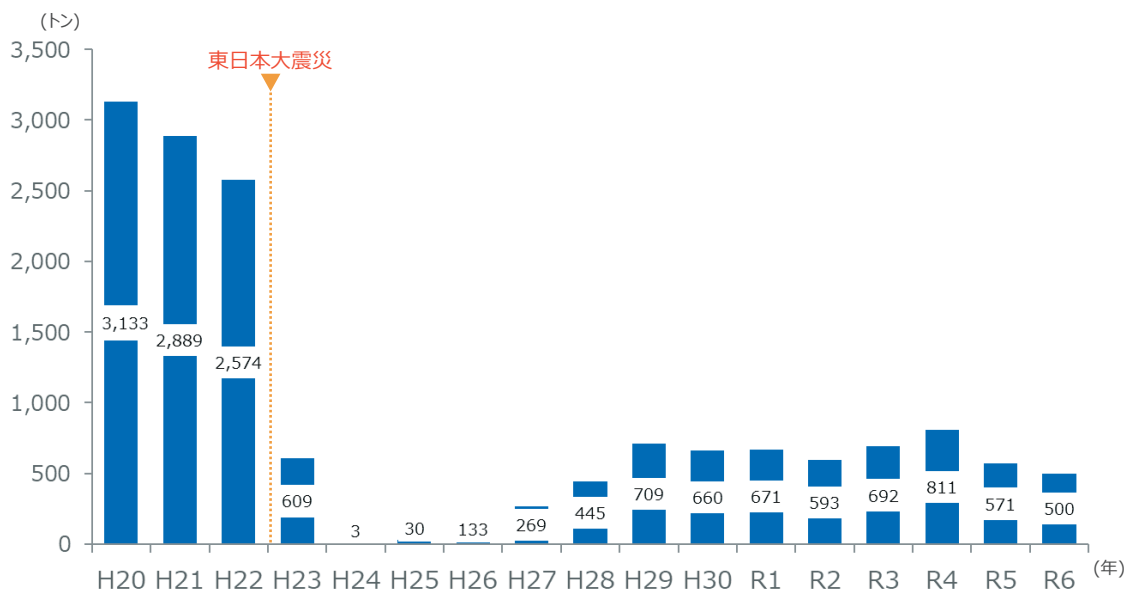
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産カツオを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,095、R4:3,261、R5:2,679、R6:2,439、R7:2,691。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産カツオを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:345、R4:182、R5:175、R6:156、R7:154。

福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

福島県におけるカレイ類の漁獲量は、震災後の平成23年・平成24年に出荷制限等により大幅に減少した。平成25年以降は回復傾向にあり、令和4年には約800トンにまで増加したものの、令和6年は約500トンとなった。

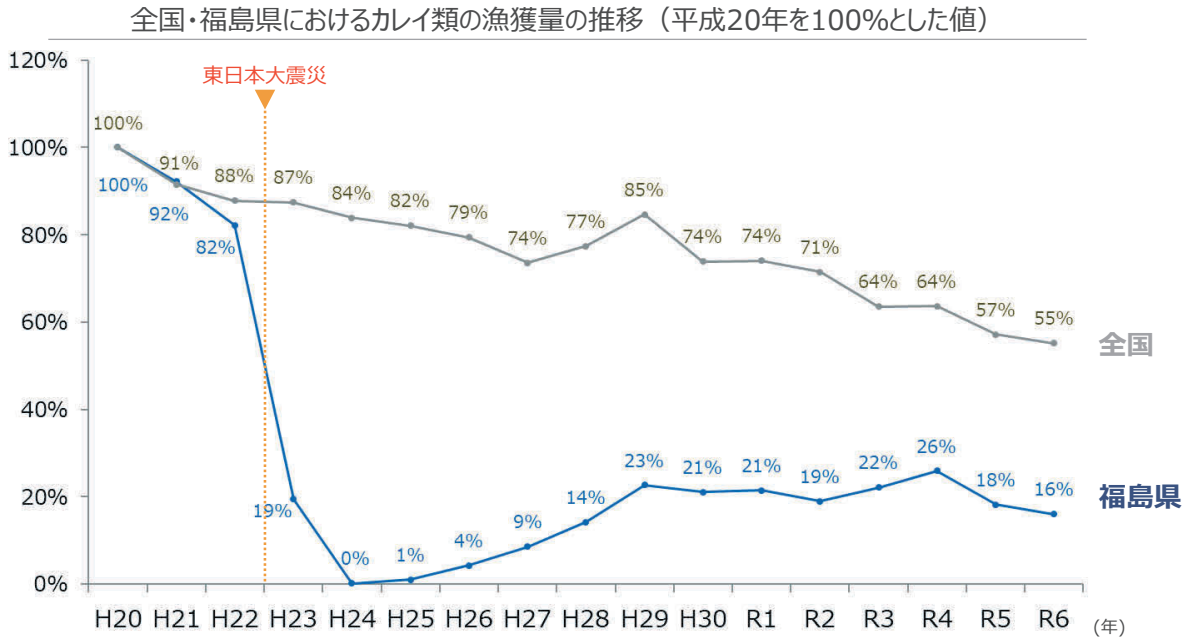
福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」 ※ H23は震災前の漁獲を含む

全国・福島県におけるカレイ類の漁獲量の推移

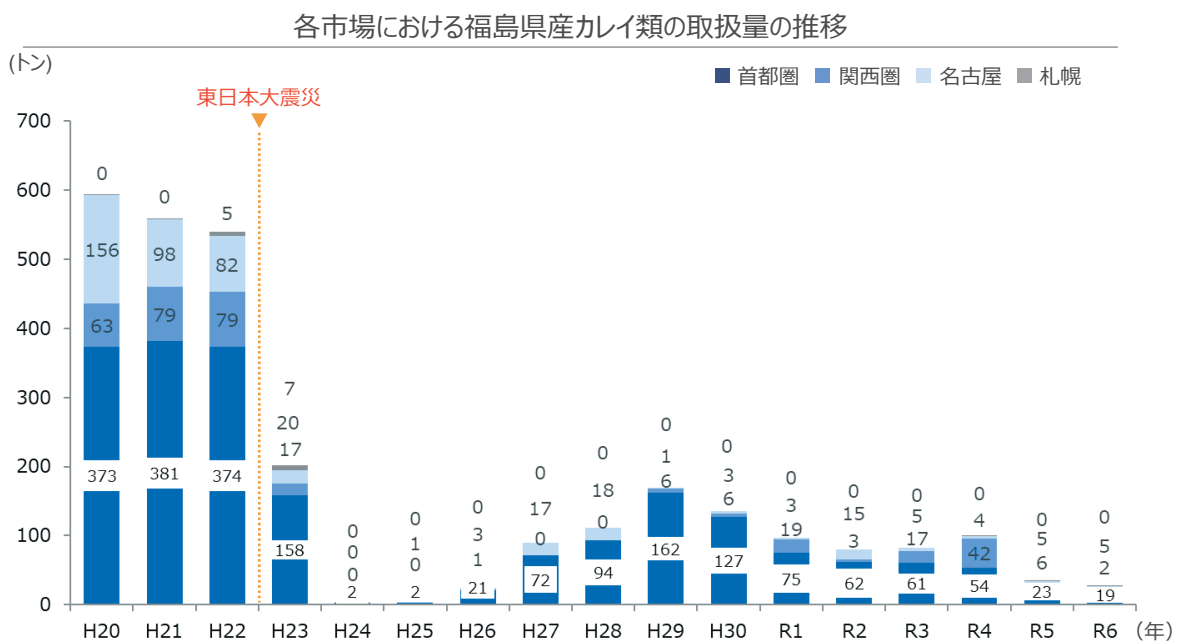
カレイ類の漁獲量は、全国的には平成28年と平成29年を除き減少傾向にある。福島県産カレイ類は、平成25年以降は緩やかな回復傾向で推移し、平成30年以降はほぼ横ばいで推移、令和5年以降はやや減少傾向にある。



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」 ※ H23は震災前の漁獲を含む

各市場における福島県産カレイ類の取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産カレイ類は、震災前は首都圏、関西圏及び名古屋を中心に取引されていたが、震災後は首都圏での取扱いが中心となっている。令和5年以降の取扱量は僅かとなっている。



データ出所：各卸売市場の統計データ

※ H23は震災前の出荷を含む

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるカレイ類の産地別（令和6年産・首都圏）

福島県産カレイ類の取扱いは、東京都中央卸売市場・横浜市中心卸売市場のいずれにおいても年間を通して僅かであった。

各市場における産地別（令和6年産）

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

東京都中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	15
北海道		73%	65%	72%	78%	73%	74%	61%	63%	76%	81%	83%	83%	2,586
千葉		4%	4%	3%	5%	7%	7%	14%	10%	2%	2%	3%	5%	173
宮城		3%	4%	10%	5%	5%	5%	4%	7%	4%	3%	2%	1%	161
東京		6%	4%	3%	3%	7%	4%	3%	5%	5%	7%	4%	4%	159
青森		2%	5%	6%	4%	5%	5%	13%	10%	4%	2%	1%	1%	156
総量		257	339	503	386	333	299	192	132	194	200	323	336	

横浜市中心卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		2%	2%	2%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	4
北海道		72%	62%	61%	70%	59%	58%	52%	48%	47%	67%	81%	79%	205
宮城		11%	12%	18%	13%	10%	10%	14%	26%	30%	22%	10%	10%	45
青森		3%	8%	11%	7%	21%	15%	11%	9%	6%	1%	2%	1%	26
岩手		5%	7%	1%	3%	2%	4%	4%	1%	1%	0%	1%	3%	9
神奈川		2%	1%	1%	1%	1%	2%	3%	3%	4%	3%	1%	1%	5
総量		22	35	39	51	31	27	14	11	15	18	27	26	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

609

各市場におけるカレイ類の産地別（令和6年産・関西圏）

福島県産カレイ類の取扱いは、大阪市中央卸売市場では年間を通して僅かだが、6月はシェア3位となった。京都市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地別（令和6年産）

各月で市場シェア1位～3位の順に
■ ■ ■ で色付け

大阪市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2
兵庫		26%	23%	35%	24%	15%	1%	0%	0%	75%	55%	51%	47%	177
鳥取		50%	46%	36%	36%	42%	1%	0%	0%	5%	9%	4%	11%	176
北海道		5%	7%	3%	1%	10%	95%	99%	98%	5%	18%	15%	27%	150
福井		15%	16%	18%	31%	21%	0%	0%	0%	14%	14%	19%	12%	104
宮城		1%	1%	2%	3%	7%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	11
総量		51	94	88	101	74	48	39	30	45	26	30	24	

京都市中央卸売市場		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
福井		9%	21%	21%	28%	18%	1%	0%	0%	17%	6%	1%	1%	48
鳥取		22%	13%	17%	10%	21%	0%	0%	0%	17%	31%	15%	17%	46
宮城		8%	9%	6%	8%	13%	27%	17%	19%	14%	12%	30%	40%	44
石川		14%	12%	14%	18%	9%	15%	2%	3%	4%	5%	9%	4%	36
青森		9%	10%	11%	10%	14%	20%	15%	22%	1%	1%	8%	7%	34
総量		22	43	55	52	37	20	13	10	18	16	19	16	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

610

各市場におけるカレイ類の産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産カレイ類の取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通して僅かであった。札幌市中央卸売市場では、年間を通してほとんど見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	1%	0%	1%	5	
北海道	39%	41%	47%	50%	64%	66%	54%	56%	54%	86%	90%	86%	851	
東京	11%	10%	11%	13%	18%	22%	26%	33%	8%	5%	1%	1%	175	
福井	5%	18%	20%	13%	5%	0%	0%	0%	3%	0%	0%	0%	109	
石川	9%	9%	10%	14%	4%	0%	0%	0%	3%	1%	1%	1%	79	
愛知	8%	3%	2%	2%	3%	4%	4%	2%	1%	2%	4%	3%	45	
総量	98	164	196	180	155	103	83	58	73	84	156	81		

札幌市中央卸売市場		各月で市場シェア1位～3位の順に ■ ■ ■ で色付け												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
北海道	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	3,120	
東京	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	3	
青森	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1	
宮城	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0	
総量	151	201	474	415	257	254	258	155	149	177	311	321		

データ出所：各卸売市場の統計データ

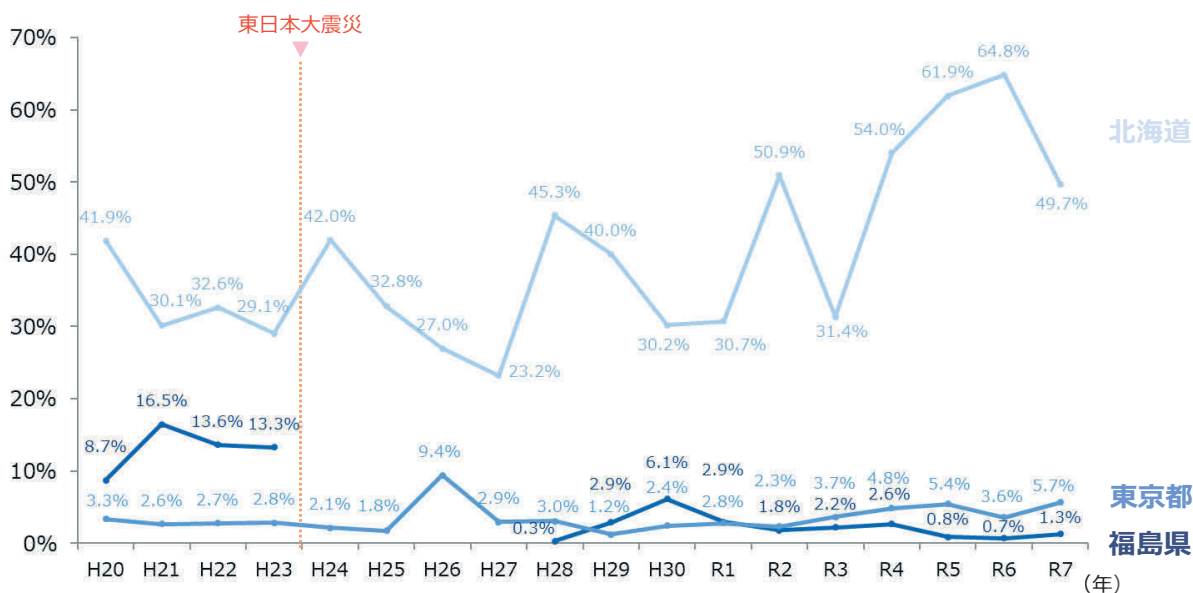
※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

611

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類のシェアの推移

東京都中央卸売市場における2月の福島県産カレイ類のシェアは、震災前は13%程度を占めていたが、震災以降、10%未満を推移している。平成29年から令和元年にかけては東京都産を上回っていたが、令和2年以降は東京都産を下回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産のシェア(2月)



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

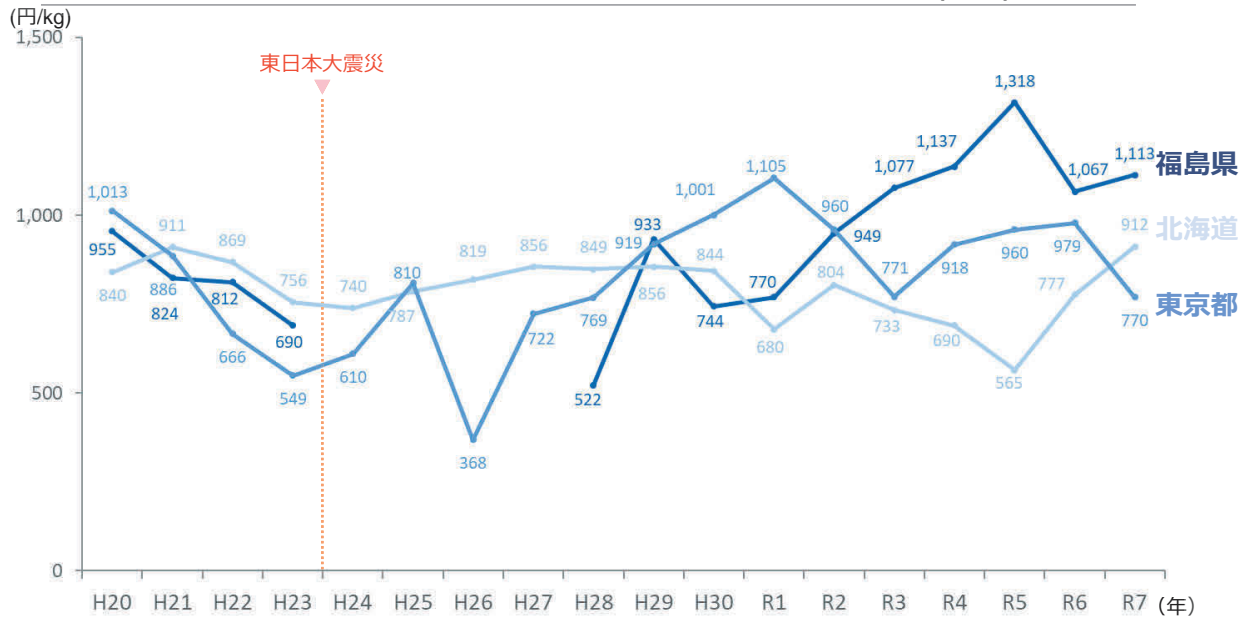
※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし
※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、H27年以前は2月の市場での取扱いはなかった。

612

東京都中央卸売市場における福島県産カレイ類の単価の推移

東京都中央卸売市場における2月の福島県産カレイ類の平均単価は、平成28年の取扱い再開時点では、北海道産・東京都産を下回っていた。徐々に平均単価が上昇し、令和3年以降は東京都産・北海道産の平均単価を上回っている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合道県産の平均単価(2月)



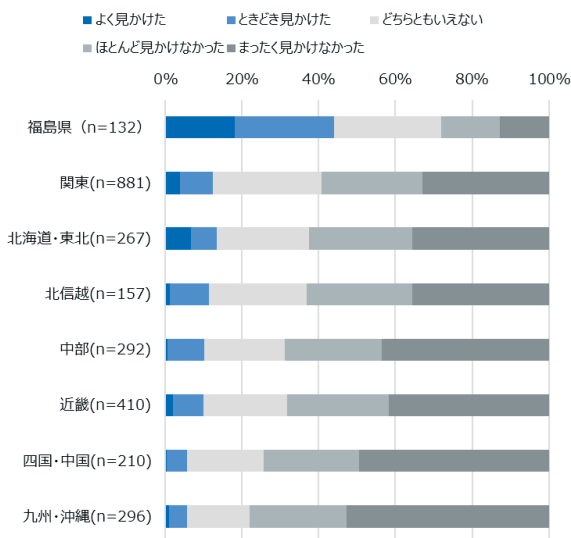
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし
 ※カレイ類は、平成24年以降魚種ごとに順次試験操業の対象魚種となり出荷が再開されたが、H27年以前は2月の市場での取扱いがなかった。

福島県産カレイ類を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

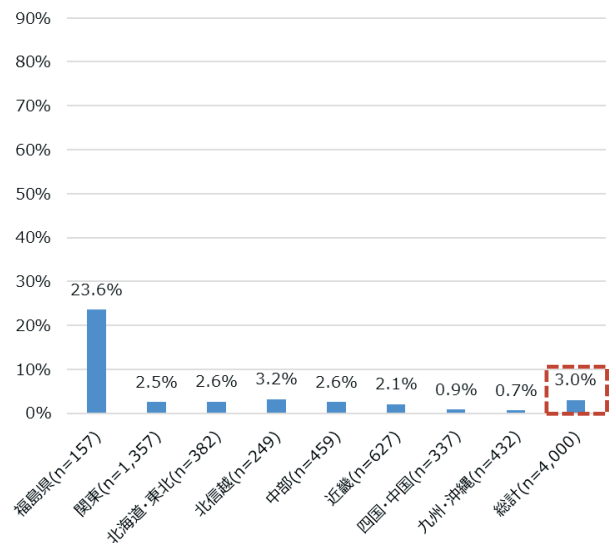
福島県産カレイ類を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産カレイ類を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.0%であった。

福島県産カレイ類を店頭で見かけたか



※過去1〜2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねた。
 ※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産カレイ類の購入経験率

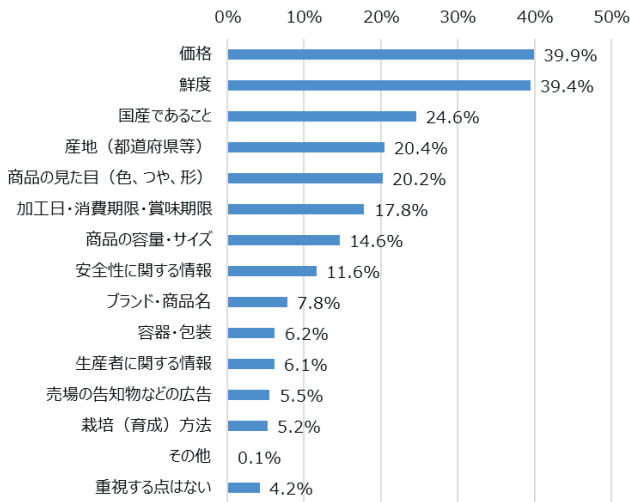


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

カレイ類購入時の重視点と福島県産カレイ類の購入者の評価（消費者アンケート）

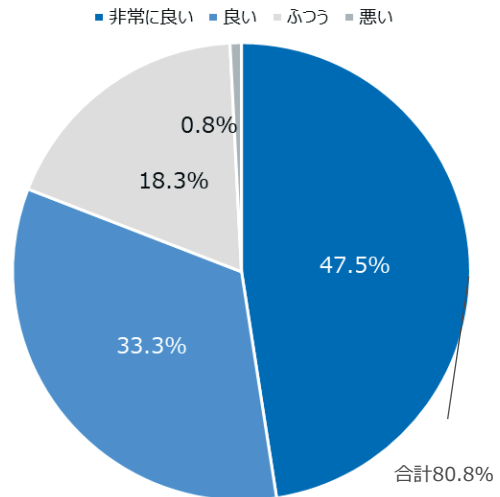
福島県産に限らずカレイ類購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産カレイ類の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が80.8%であった。

カレイ類購入時の重視点（n=1,084、複数回答）



※カレイ類購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上カレイ類を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産カレイ類の購入者の評価（n=120）

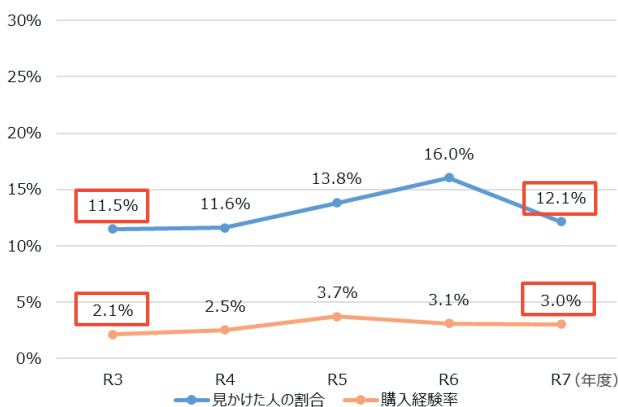


※福島県産カレイ類を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

福島県産カレイ類を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

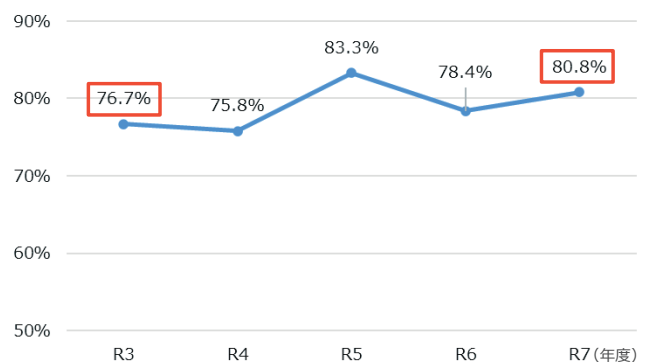
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産カレイ類を店頭で見かけた人の割合、購入経験率は、それぞれ0.6%、0.9%上昇した。福島県産カレイ類の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は4.1%上昇した。

福島県産カレイ類を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産カレイ類を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:6,809、R4:3,105、R5:2,606、R6:2,357、R7:2,645。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産カレイ類を高く評価している人の割合

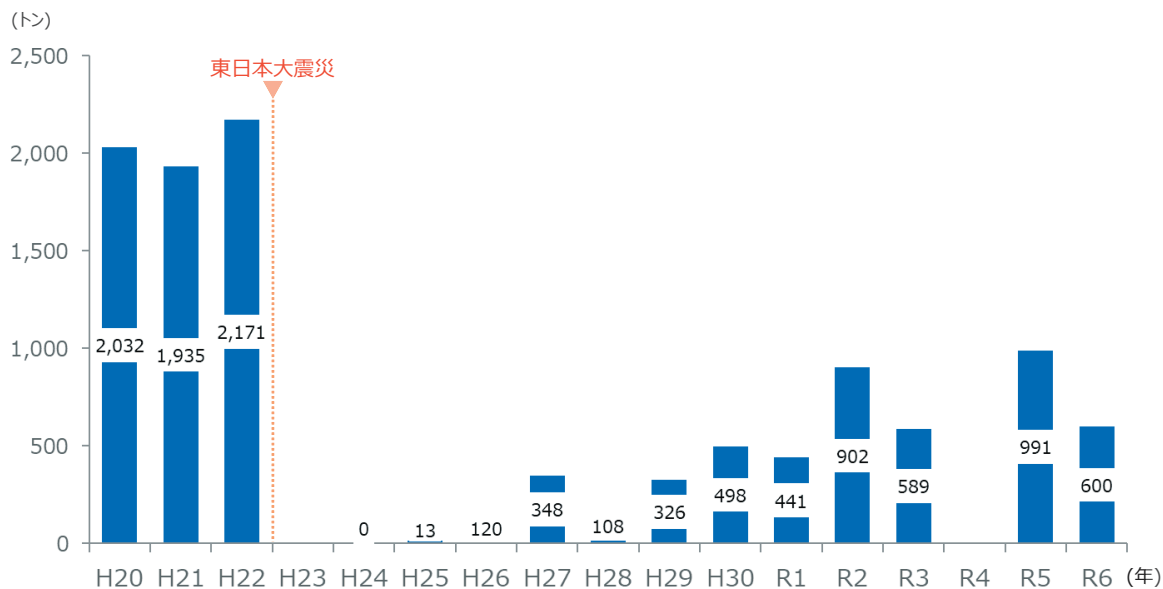


※福島県産カレイ類を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR2:199、R3:236、R4:136、R5:149、R6:125、R7:120。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移

福島県のシラスの漁獲量は、近年徐々に回復している。ただし、震災後で最も水揚量が多かった令和5年でも、震災前の半分以下の水準であり、震災以前の水準を未だ大きく下回っている。

福島県におけるシラスの漁獲量の推移



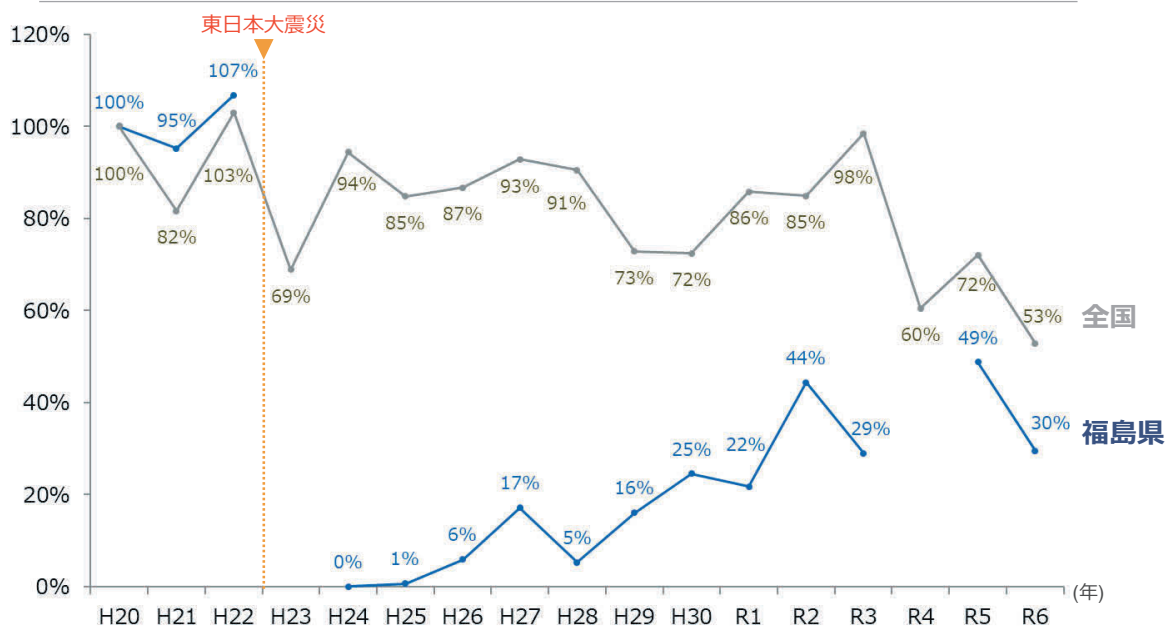
※ H23、R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移

全国のシラスの漁獲量は、年によって変動が大きいですが、令和6年は震災前の平成20年の53%となっている。福島県産シラスの漁獲量は、震災後最も多い令和5年でも平成20年の49%と、震災前の半分以下となっている。

全国・福島県におけるシラスの漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



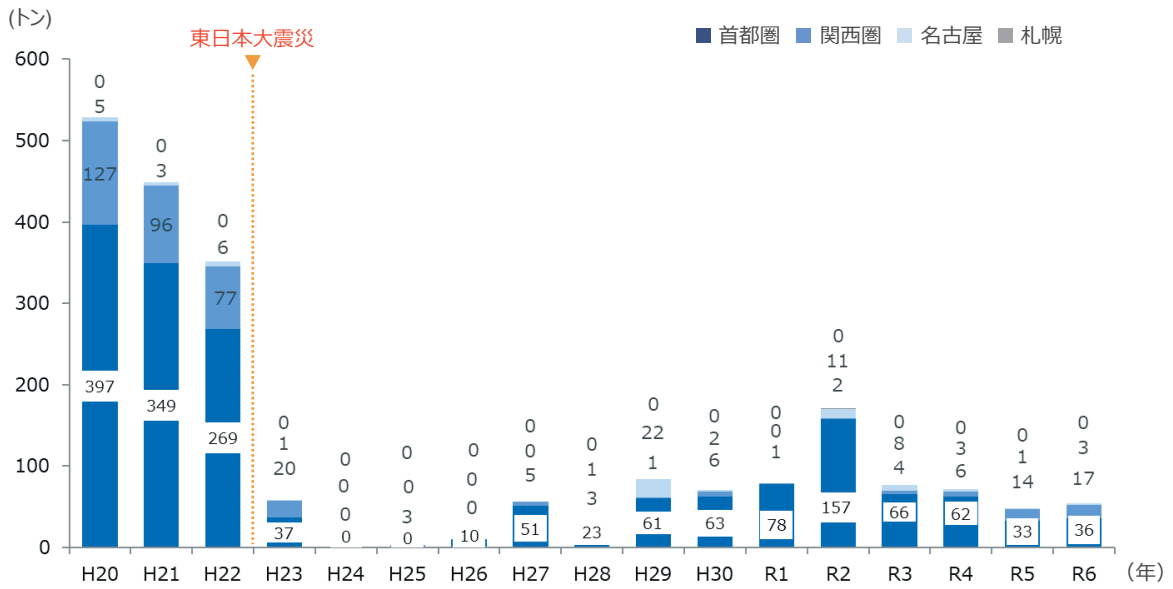
※ 福島県のH23、R4は個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していない。

データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移

主要4地域の市場における福島県産シラスは、震災前後を通じて、首都圏を中心に取引されている。震災後、関西圏での取扱いが大幅に減り、ほぼ見られなくなったが、令和5年以降取扱いがやや増えている。

各市場における福島県産シラスの取扱量の推移



データ出所：各卸売市場の統計データ

※ H23は震災前の出荷を含む

※シラスは、平成25年に試験操業の対象魚種となり出荷が再開された。

※数値ラベルは、下から首都圏、関西圏、名古屋、札幌の取扱量を表す。

各市場におけるシラスの産地リレー(令和6年産・首都圏)

福島県産シラスの取扱いは、東京都中央卸売市場では年間を通じて僅かであった。横浜市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
東京都中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	1%	0%	2%	2%	0%	0%	0%	0%	1%	36
兵庫	18%	17%	12%	10%	20%	45%	41%	42%	37%	26%	20%	15%	1,737
和歌山	14%	20%	16%	17%	16%	7%	7%	7%	9%	12%	8%	8%	679
徳島	11%	7%	5%	4%	12%	8%	10%	20%	19%	13%	5%	5%	630
愛媛	4%	3%	7%	8%	10%	3%	1%	4%	7%	19%	30%	14%	555
愛知	8%	7%	7%	11%	10%	4%	4%	6%	3%	3%	2%	7%	351
総量	396	341	464	449	470	827	652	742	461	429	539	454	
横浜市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
茨城	0%	0%	0%	22%	34%	27%	36%	41%	27%	32%	20%	31%	51
東京	24%	16%	5%	4%	3%	11%	6%	22%	12%	30%	30%	23%	32
静岡	20%	8%	30%	26%	28%	6%	5%	7%	21%	6%	6%	6%	29
大阪	15%	33%	34%	22%	10%	8%	18%	3%	18%	3%	6%	4%	29
和歌山	4%	7%	7%	6%	7%	5%	5%	6%	5%	6%	9%	13%	13
総量	13	12	15	19	19	21	21	19	20	17	19	16	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。

各市場におけるシラスの産地リレー(令和6年産・関西圏)

福島県産シラスの取扱いは、大阪市中央卸売市場、京都市中央卸売市場のいずれにおいても年間を通して僅かであった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
大阪市中央卸売市場													
福島	0%	0%	1%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	1%	1%	0%	9
兵庫	35%	38%	23%	20%	36%	81%	71%	62%	64%	58%	54%	36%	771
徳島	4%	9%	5%	2%	17%	5%	7%	17%	17%	14%	12%	9%	135
愛知	2%	5%	15%	20%	15%	1%	0%	2%	1%	2%	1%	7%	70
愛媛	3%	2%	1%	16%	4%	0%	0%	5%	3%	10%	10%	3%	59
宮崎	4%	2%	23%	6%	1%	0%	3%	3%	1%	1%	1%	3%	52
総量	67	68	109	100	89	267	175	166	114	89	90	76	
京都市中央卸売市場													
福島	1%	0%	0%	0%	0%	6%	4%	0%	1%	0%	0%	0%	8
兵庫	3%	3%	9%	11%	21%	44%	26%	24%	19%	14%	11%	7%	102
和歌山	24%	22%	21%	24%	23%	9%	8%	9%	15%	16%	16%	13%	81
徳島	8%	10%	3%	4%	15%	7%	15%	35%	31%	16%	21%	14%	81
大阪	21%	13%	19%	18%	15%	14%	8%	7%	7%	16%	17%	17%	72
愛媛	8%	11%	4%	9%	5%	1%	5%	5%	8%	10%	7%	9%	33
総量	29	37	48	36	37	76	62	66	37	34	34	37	

データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。621

各市場におけるシラスの産地リレー(令和6年産・その他)

福島県産シラスの取扱いは、名古屋市中央卸売市場では年間を通してほとんど見られなかった。札幌市中央卸売市場では年間を通して見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

市場	各月で市場シェア1位～3位の順に												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
名古屋市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	1%	3
愛知	75%	77%	68%	92%	75%	51%	58%	66%	62%	67%	55%	71%	747
兵庫	11%	7%	5%	3%	12%	45%	36%	29%	32%	19%	19%	8%	264
愛媛	0%	0%	3%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	18%	12%	34
和歌山	0%	7%	6%	2%	5%	1%	0%	0%	1%	3%	4%	0%	21
徳島	1%	2%	0%	1%	2%	0%	2%	3%	1%	1%	1%	1%	14
総量	53	46	55	79	104	170	168	126	89	59	91	103	
札幌市中央卸売市場													
福島	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
東京	64%	49%	75%	74%	35%	75%	78%	76%	73%	53%	54%	70%	67
北海道	26%	32%	16%	16%	53%	15%	13%	18%	21%	34%	34%	17%	23
香川	5%	7%	3%	5%	6%	4%	4%	3%	2%	5%	6%	6%	4
福岡	6%	7%	4%	4%	5%	5%	3%	3%	3%	4%	5%	4%	4
兵庫	0%	2%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1
総量	5	5	10	11	7	7	11	13	11	7	7	6	

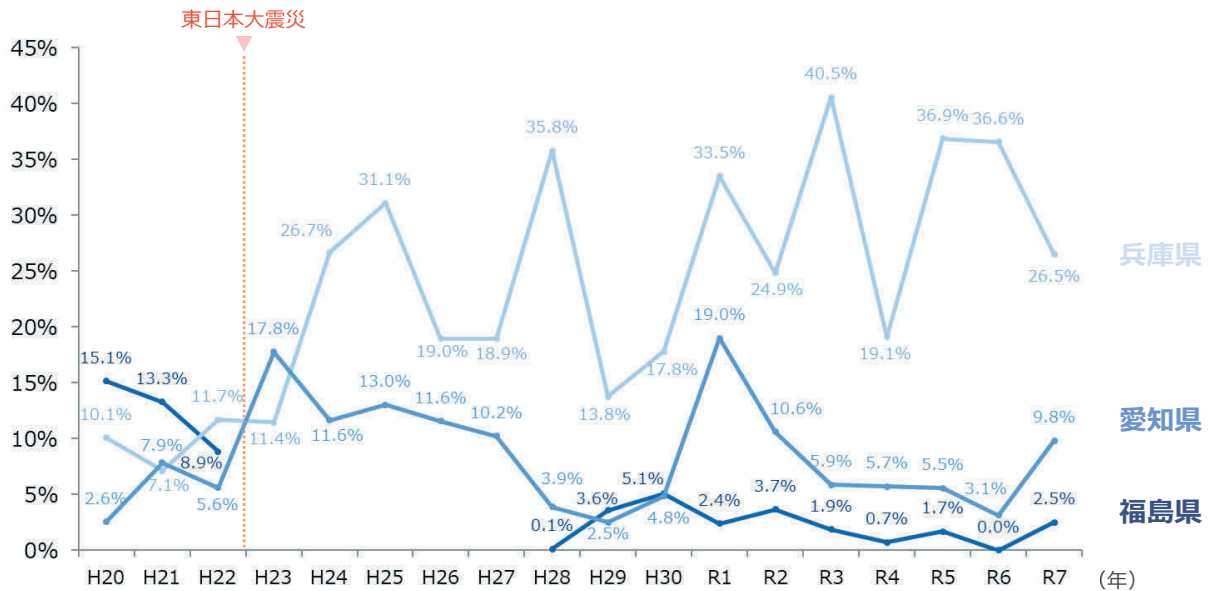
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。622

東京都中央卸売市場における福島県産シラスのシェアの推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産シラスは、震災以前はシェア1位を獲得していたが、震災後に一度取扱いがなくなった。平成28年以降に取扱いが再開されたものの、震災以前の水準には回復しておらず、兵庫県産がシェア1位を占めている。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産のシェア(9月)

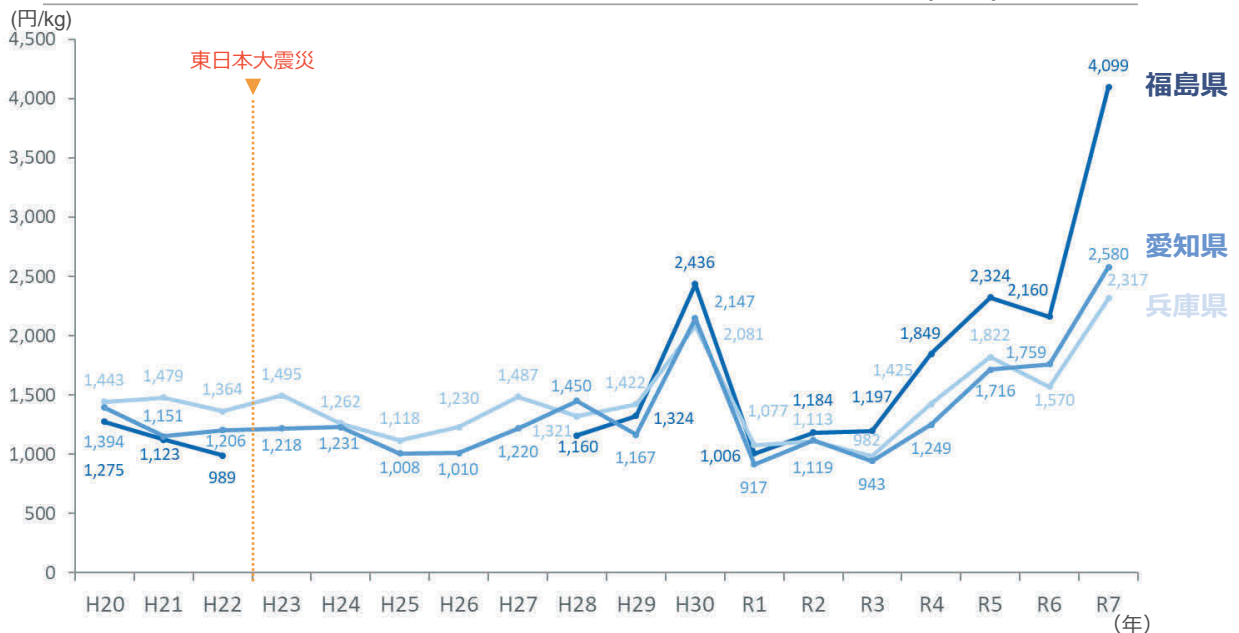


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

東京都中央卸売市場における福島県産シラスの単価の推移

東京都中央卸売市場における9月の福島県産シラスの平均単価は、震災以前、兵庫県産・愛知県産より低い価格で推移していた。平成28年に取扱いが再開され、平成30年以降は両県よりも概ね高い価格で推移し、令和7年は4,099円/kgの高値となった。

東京都中央卸売市場における福島県産及び競合県産の平均単価(9月)

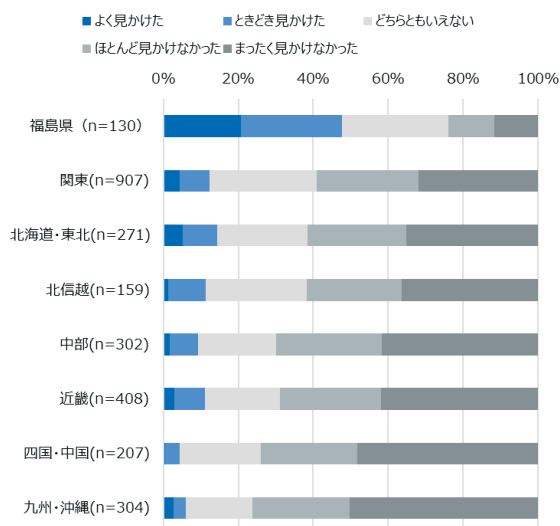


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

福島県産シラスを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

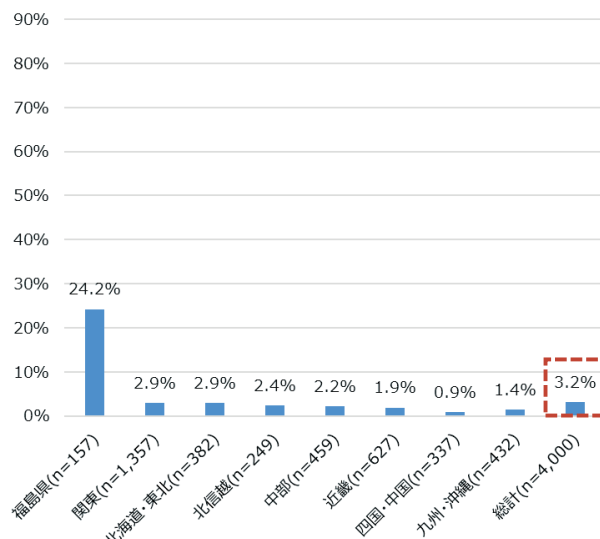
福島県産シラスを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産シラスを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では3.2%であった。

福島県産シラスを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産シラスの購入経験率



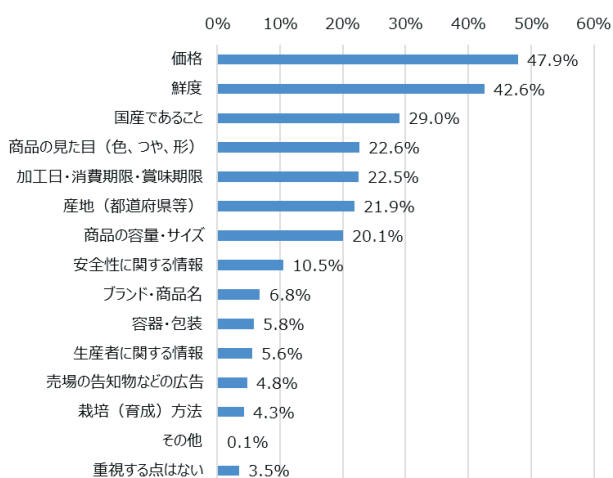
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

625

シラス購入時の重視点と福島県産シラスの購入者の評価（消費者アンケート）

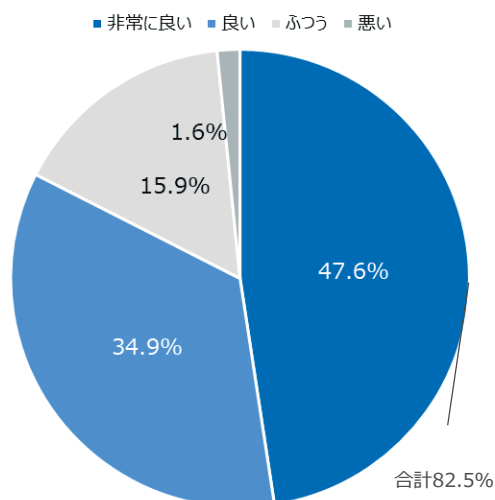
福島県産に限らずシラス購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産シラスの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が82.5%であった。

シラス購入時の重視点 (n=1,919、複数回答)



※シラス購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上シラスを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産シラスの購入者の評価 (n=126)



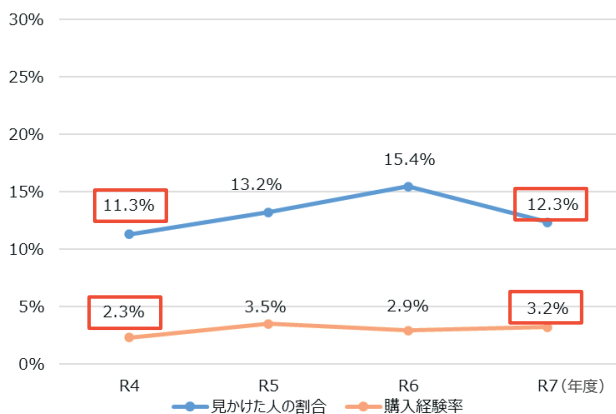
※福島県産シラスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

626

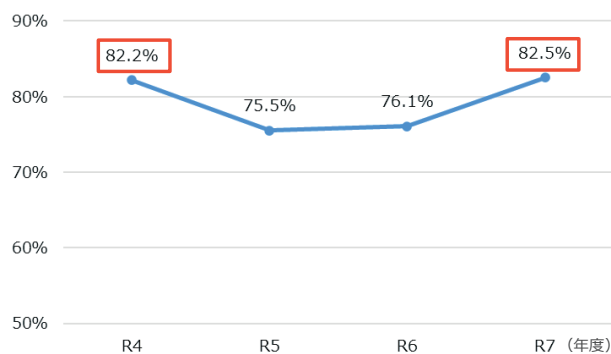
福島県産シラスを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和4年度と令和7年度を比較すると、福島県産シラスを店頭で見かけた人の割合、購入経験率はそれぞれ1.1%、0.9%上昇し、福島県産シラスの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は0.3%上昇した。

福島県産シラスを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産シラスを高く評価している人の割合



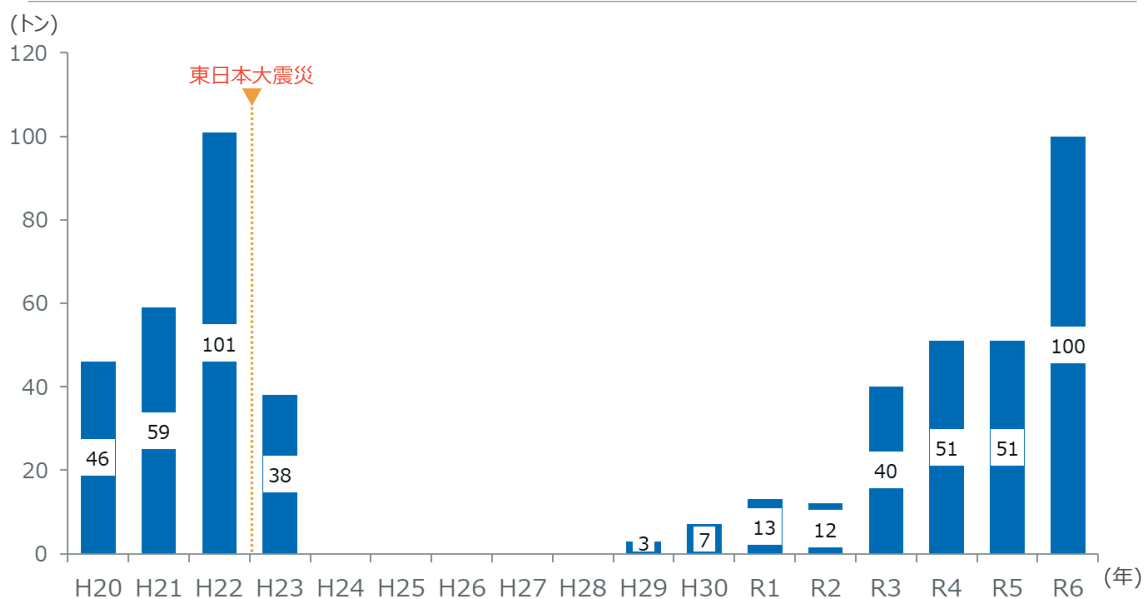
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産シラスを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR4:3,233、R5:2,665、R6:2,429、R7:2,688。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産シラスを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR4:129、R5:139、R6:117、R7:126。

福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

福島県のフグ類の漁獲量は、平成24年～28年はなかったが、平成29年以降段階的に増加し、令和6年には震災前の平成22年と同程度の水準となった。

福島県におけるフグ類の漁獲量の推移



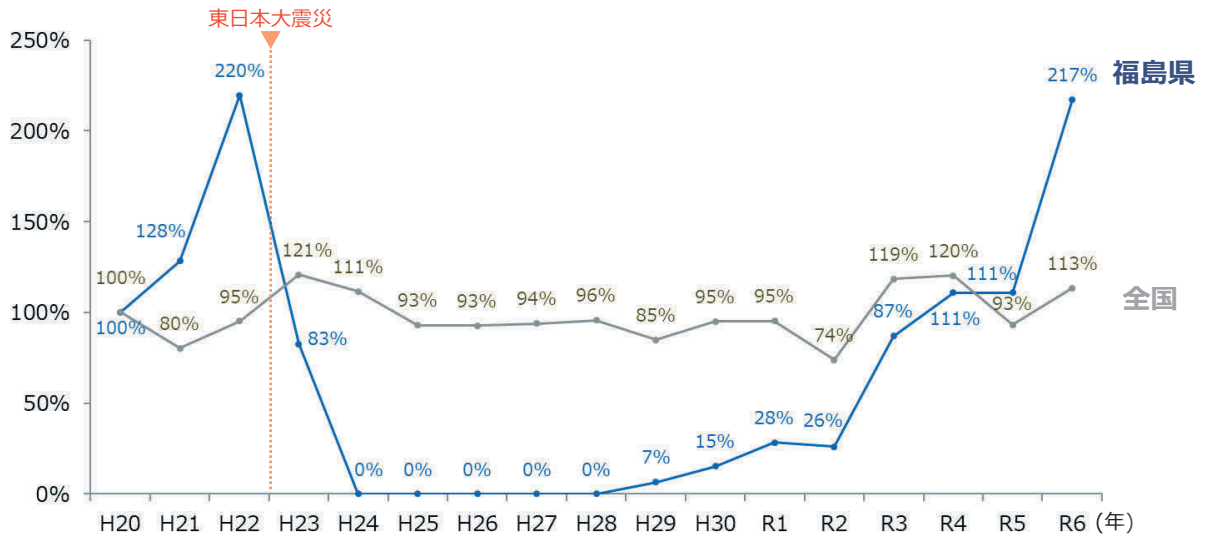
データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ H23は震災前の漁獲を含む
 ※「フグ類」のデータ：トラフグに加え、マフグ、カラス、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サバフグを含む

全国と福島県におけるフグ類の漁獲量の推移

フグ類の漁獲量は、全国では令和3年・令和4年が平成20年の約120%まで増加していたが、令和6年は約113%と減少。福島県においては平成29年から増加傾向にあり、令和6年は震災以前の平成22年と同水準にまで回復している。

全国・福島県におけるフグ類の漁獲量の推移（平成20年を100%とした値）



データ出所：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

※ H23は震災前の漁獲を含む

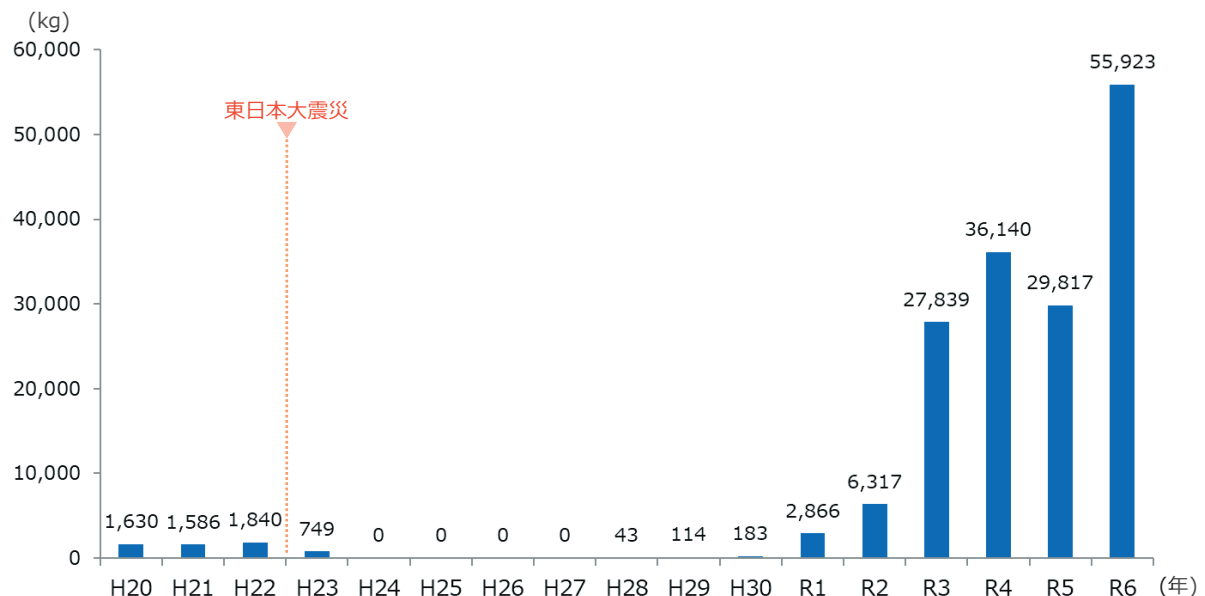
※「フグ類」のデータ：トラフグに加え、マフグ、カラス、ヒガンフグ、ショウサイフグ、サバフグを含む

629

福島県におけるトラフグの漁獲量の推移

福島県のトラフグの漁獲量は、平成24年～27年はなかったが、平成28年以降、海流の変化や水温の上昇の影響も受けつつ段階的に増加し、令和6年は約56トンの漁獲量となった。

福島県におけるトラフグの漁獲量の推移



データ出所：福島県（水産海洋研究センター）のデータを基に作成

※H23は震災前の漁獲を含む

※平成24～26年は、東日本大震災の影響による操業自粛等があり漁獲は皆無

630

各市場におけるフグの産地リレー(令和6年産・関西圏)

大阪市中央卸売市場では、福島県産トラフグが10月・11月にシェア3位となった。京都市中央卸売市場では、年間を通してほとんど取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

大阪市中央卸売市場		トラフグのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	1%	1%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	20%	9%	3%	3
中国		53%	46%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	16%	27%	44%	43%	36
長崎		13%	17%	56%	30%	13%	13%	5%	3%	0%	0%	8%	24%	17
大分		10%	7%	0%	8%	26%	6%	8%	19%	18%	21%	23%	16%	13
山口		4%	6%	6%	14%	10%	29%	23%	26%	11%	7%	6%	4%	6
佐賀		6%	16%	6%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	3%	4
総量		15	10	4	2	2	1	1	1	2	5	10	37	

京都市中央卸売市場		フグのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
香川		39%	38%	37%	13%	1%	0%	0%	0%	21%	31%	39%	44%	44
長崎		26%	22%	22%	2%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	18%	20
熊本		2%	8%	9%	29%	20%	8%	44%	50%	37%	16%	12%	9%	11
山口		6%	12%	15%	25%	18%	10%	40%	34%	20%	13%	6%	6%	11
徳島		6%	0%	1%	7%	3%	0%	0%	0%	2%	7%	6%	8%	6
総量		24	16	9	3	1	3	0	1	1	6	12	40	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。※総量・合計の単位はトン。633

各市場におけるフグの産地リレー(令和6年産・その他)

名古屋市中央卸売市場では、福島県産フグ類の取扱いは1月~3月・9月~12月にかけて見られた(1%に満たない数量の月を含む)。札幌市中央卸売市場では、年間を通して取扱いが見られなかった。

各市場における産地リレー(令和6年産)

名古屋市中央卸売市場		フグ類のデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	8%	1%	1%	1
山口		25%	19%	23%	29%	41%	71%	45%	48%	47%	19%	23%	23%	22
熊本		30%	31%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	10%	15%	26%	17
愛知		10%	11%	13%	7%	14%	17%	28%	24%	24%	25%	23%	13%	13
鳥取		18%	19%	18%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	19%	21%	13
三重		5%	7%	6%	5%	1%	1%	9%	13%	6%	4%	5%	6%	5
総量		12	11	6	2	2	2	1	1	2	8	11	26	

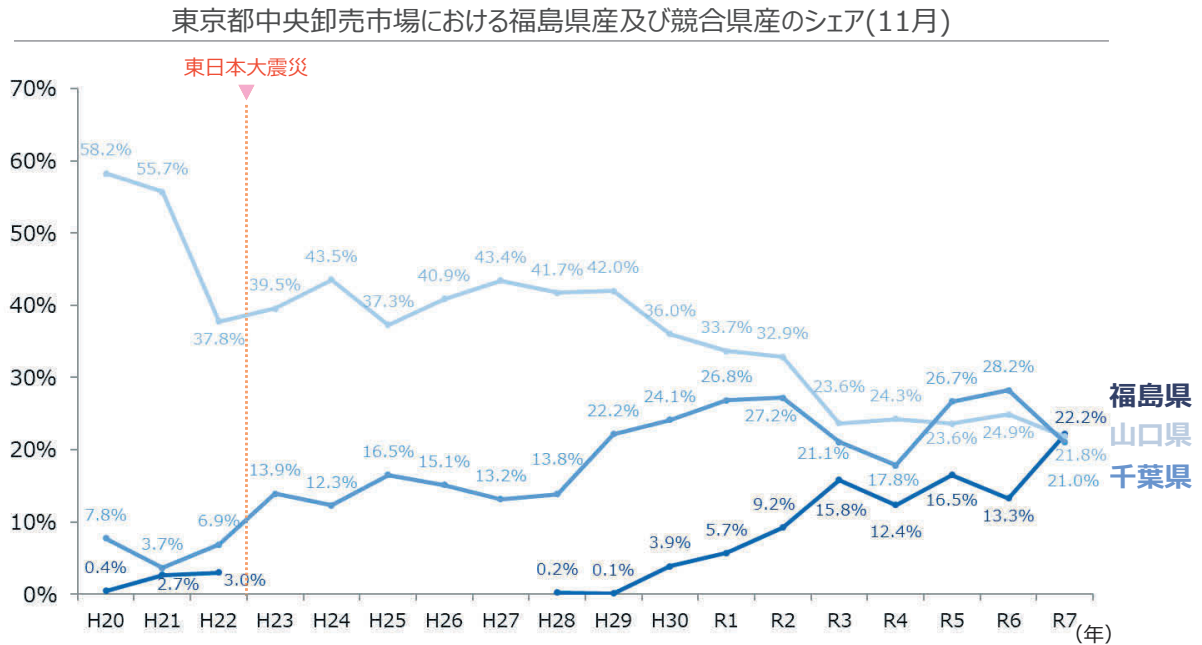
札幌市中央卸売市場		フグのデータ												各月で市場シェア1位~3位の順に
		■ ■ ■ で色付け												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
福島		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
北海道		0%	0%	0%	9%	98%	100%	100%	99%	100%	88%	24%	0%	18
山口		89%	91%	94%	88%	0%	0%	0%	1%	0%	9%	46%	59%	2
東京		0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	4%	25%	35%	1
福岡		10%	9%	6%	3%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	5%	6%	0
秋田		0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0
総量		1	1	0	0	2	9	2	0	5	1	1	1	

※市場によって商品分類が異なるため、留意が必要。
データ出所：各卸売市場の統計データ

※福島県及び年間取扱量上位を表示。
※総量・合計の単位はトン。

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグのシェアの推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産トラフグのシェアは、震災以前は山口県産・千葉県産を下回っていた。平成28年以降、徐々にシェアを回復し、平成30年には震災以前の水準を上回り、令和7年は山口県産・千葉県産を上回る22.2%となった。

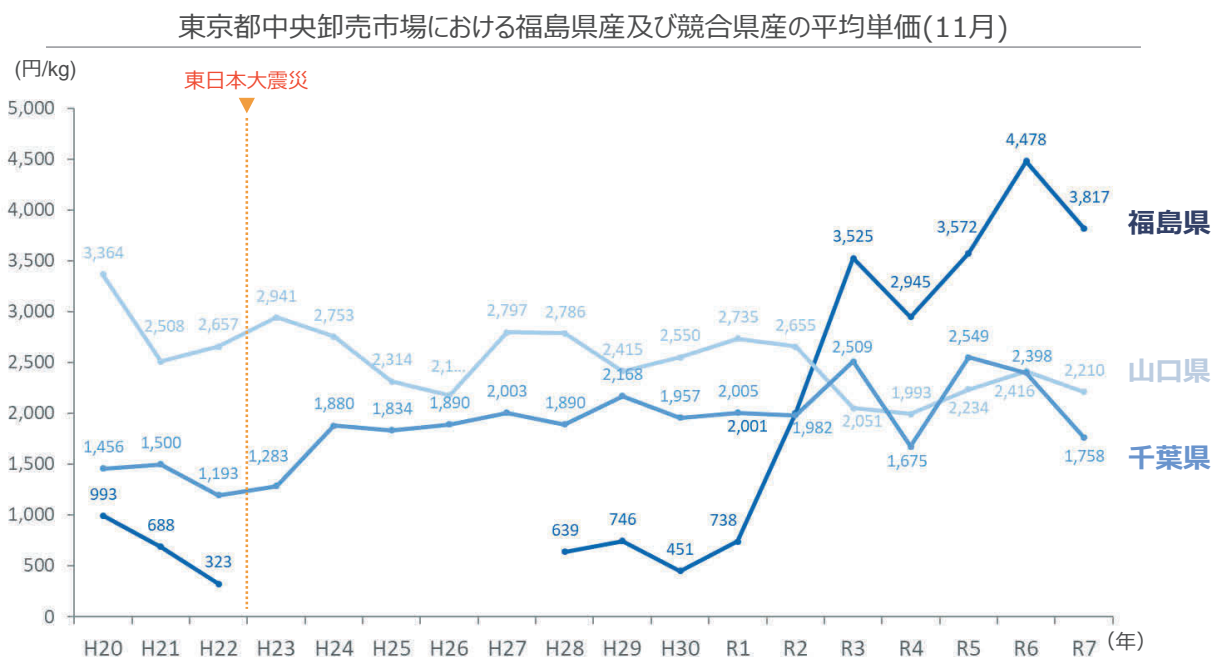


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

635

東京都中央卸売市場における福島県産トラフグの単価の推移

東京都中央卸売市場における11月の福島県産トラフグの平均単価は、震災前は山口県産・千葉県産を下回っていた。平成28年以降、平均単価は上昇傾向にあり、特に令和2年以降の伸びが大きく、近年は山口県産・千葉県産を上回る価格で推移している。



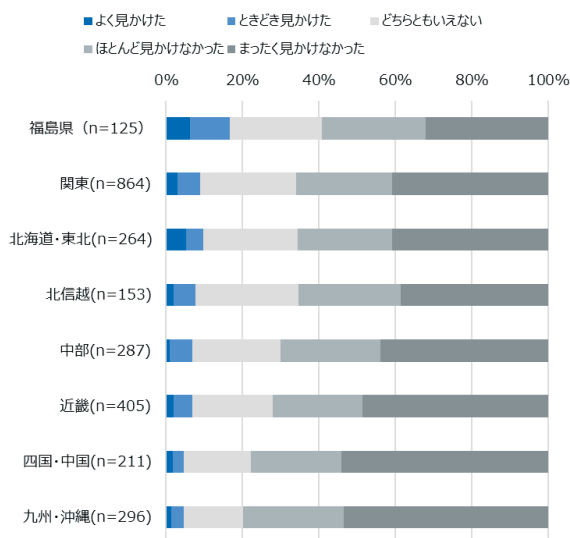
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」 ※東京都中央卸売市場への出荷がなかった年はグラフ上の数値なし

636

福島県産トラフグを見た経験と購入経験（消費者アンケート）

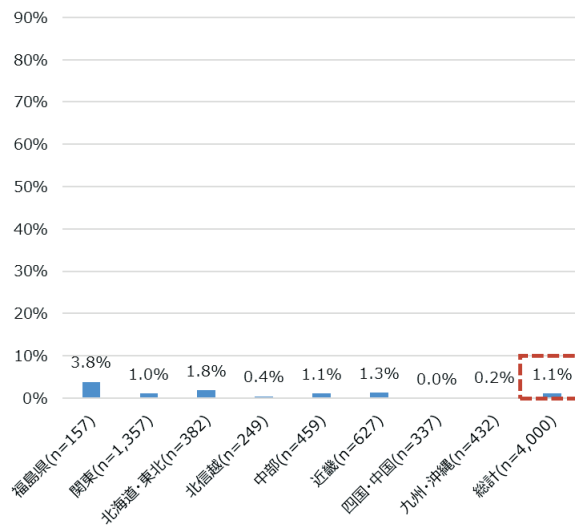
福島県産トラフグを店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高かったが、福島県を含むその他の地域で10%に満たない。福島県産トラフグを購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では1.1%であった。

福島県産トラフグを店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産トラフグの購入経験率



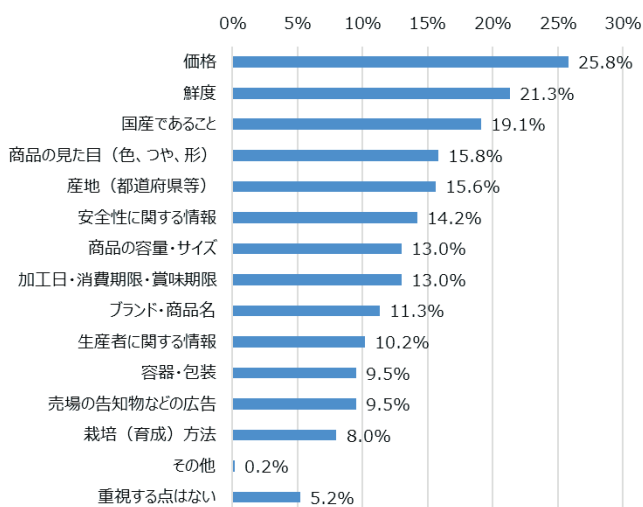
※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

637

トラフグ購入時の重視点と福島県産トラフグの購入者の評価（消費者アンケート）

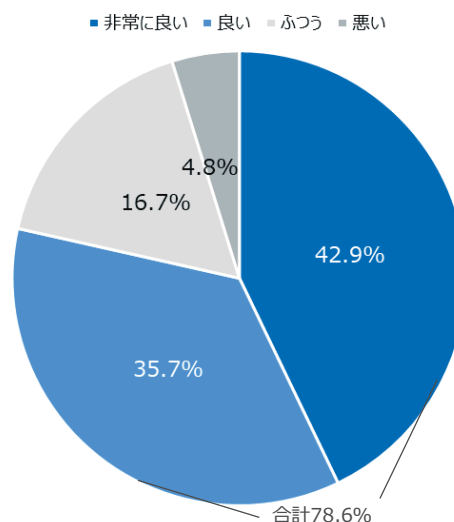
福島県産に限らずトラフグ購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産トラフグの購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が78.6%であった。

トラフグ購入時の重視点 (n=423、複数回答)



※トラフグ購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上トラフグを購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産トラフグの購入者の評価 (n=42)



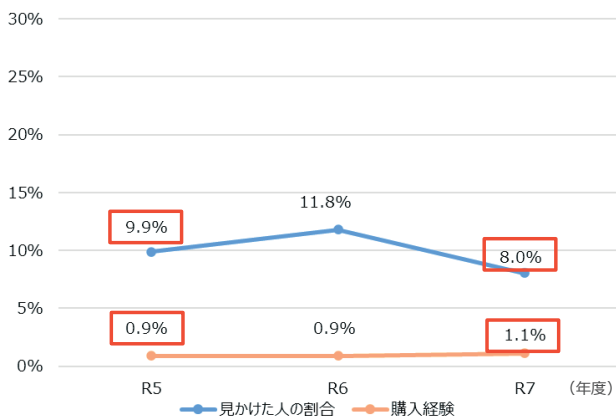
※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

638

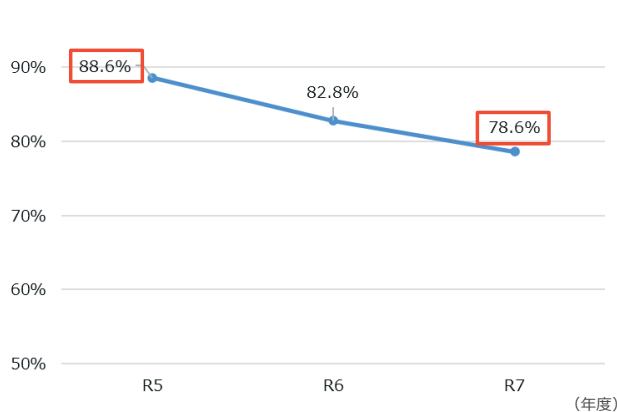
福島県産トラフグを見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和5年度と令和7年度を比較すると、福島県産トラフグを店頭で見かけた人の割合は1.9%下降、購入経験率は0.2%上昇した。福島県産トラフグの評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は10.0%低下した。

福島県産トラフグを見かけた人の割合、購入経験率



福島県産トラフグを高く評価している人の割合



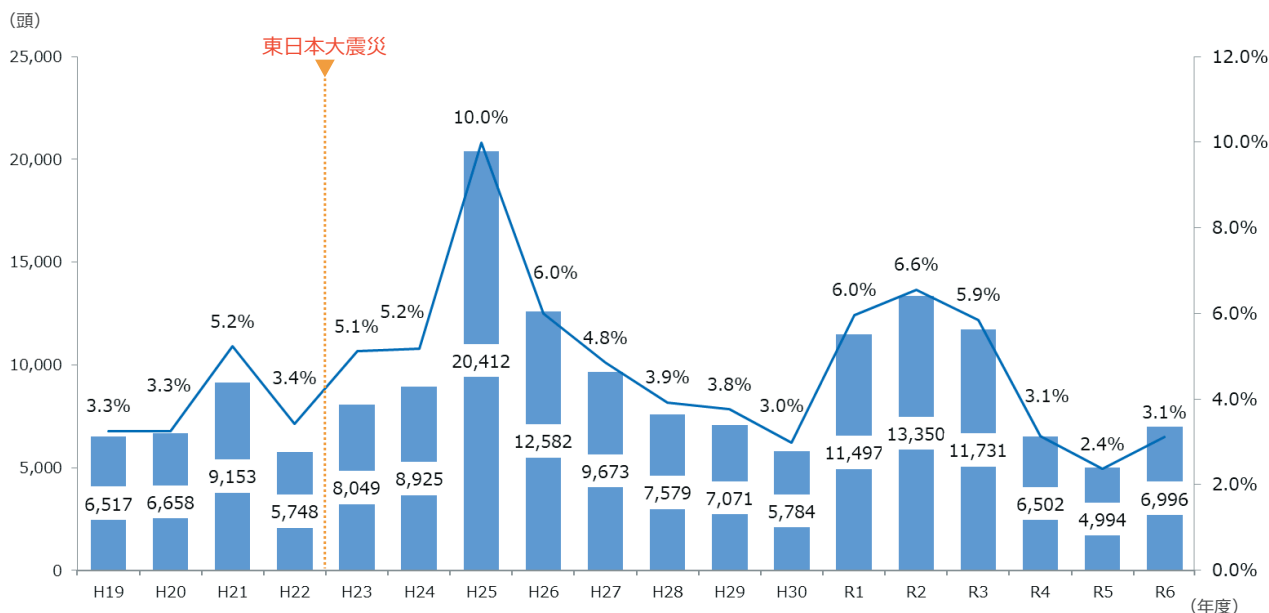
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産トラフグを見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR5:2,539、R6:2,278、R7:2,605。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産トラフグを購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR5:35、R6:35、R7:42。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数とシェアは、震災後増加したものの、平成25年度をピークに縮小傾向にあった。令和元年度以降は一時増加したが、再び縮小し、令和6年度の出荷頭数、シェア共に震災前と同水準となっている。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の出荷頭数・シェア推移

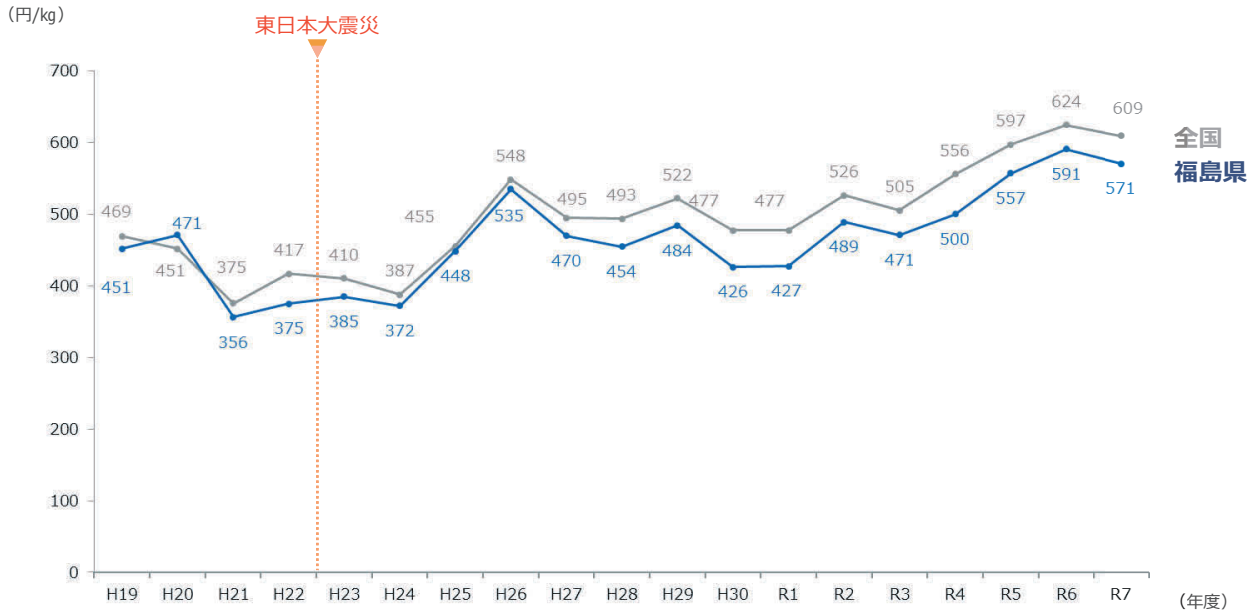


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の単価の推移

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の平均単価は、震災前後に関わらず概ね全国平均をやや下回る。平成24年度から26年度にかけて全国平均に接近したが、平成27年度以降は全国平均より30円～60円/kg程度低い水準で推移している。

東京都中央卸売市場における全国・福島県産豚肉の平均単価の推移



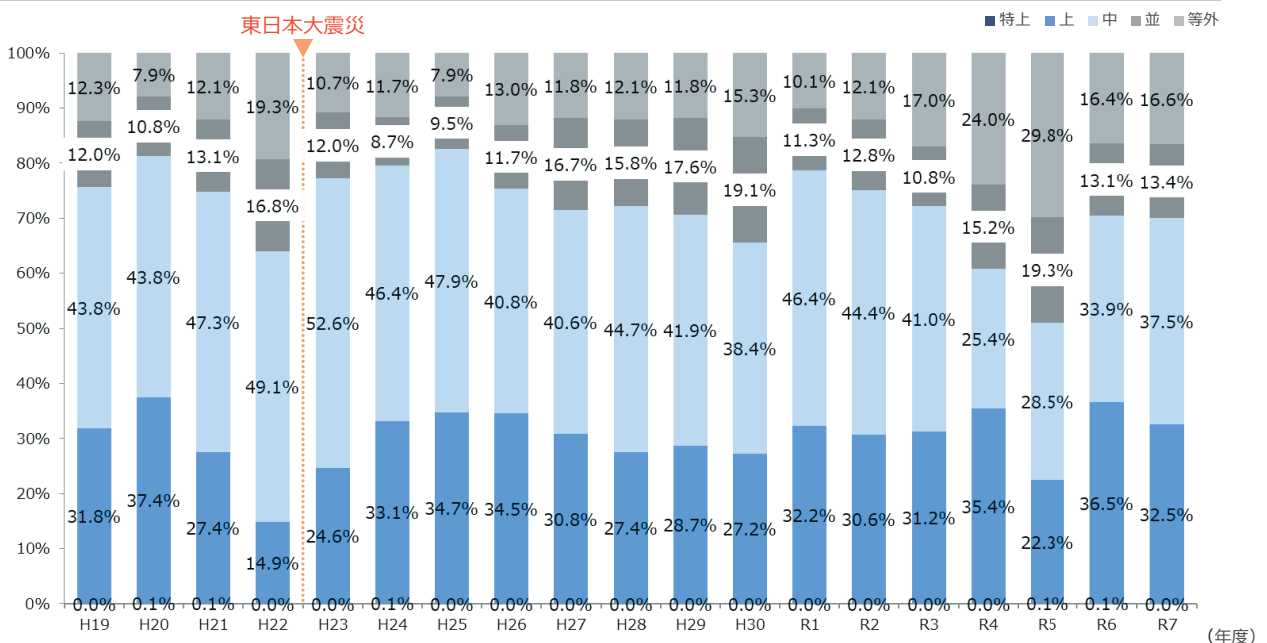
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※それぞれ年度単位の数値であり、令和7年度は令和7年12月までのデータを使用。

東京都中央卸売市場における福島県産豚肉の等級別割合

福島県産豚肉の等級別の割合は、出荷年によってばらつきが大きい。令和5年度は、「上」の割合が減り「中」と「等外」の割合が大きくなったが、令和6年度と令和7年度は再び、「上」と「中」の割合が大きくなり、令和4年度の割合と近い結果となった。

福島県産豚肉の等級別割合推移

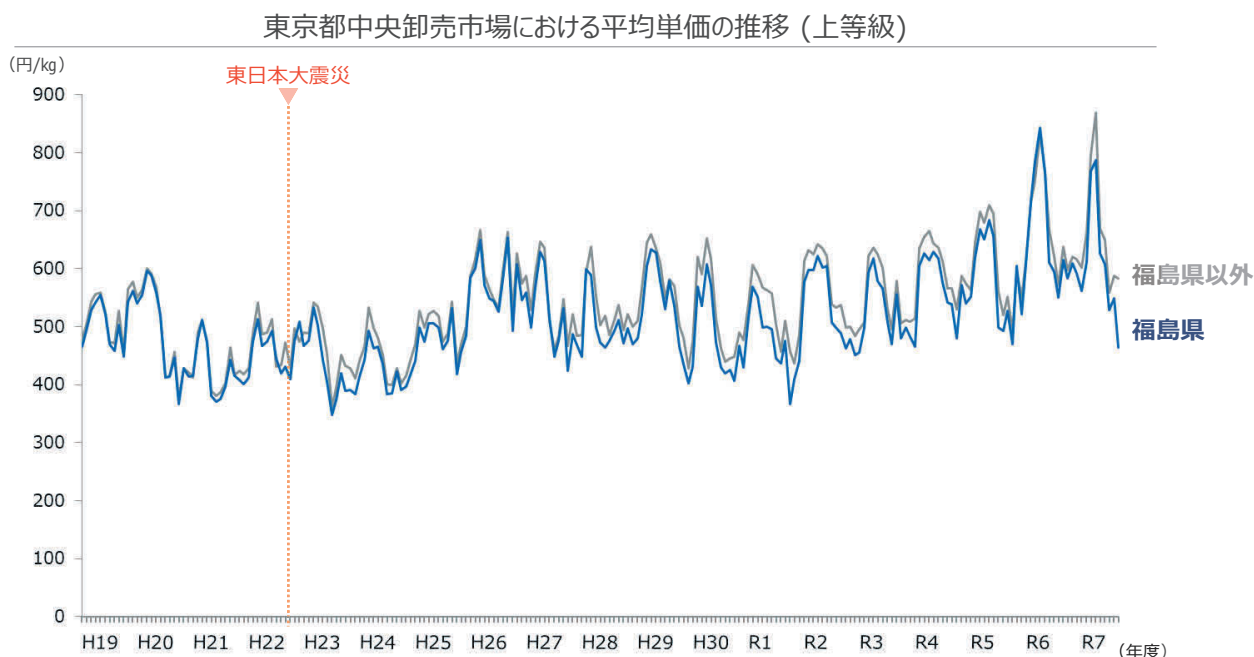


データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※それぞれ年度単位の数値であり、令和7年度は令和7年12月までのデータを使用。

《参考》福島県産豚肉の月別平均単価の推移（東京都中央卸売市場・等級別（上等級））

上等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均単価は、平成28年度から令和5年度にかけては、福島県産以外が福島県産よりも若干高値で推移していた。令和6年度は価格差が縮んだが、令和7年度に再び価格差が拡大した。



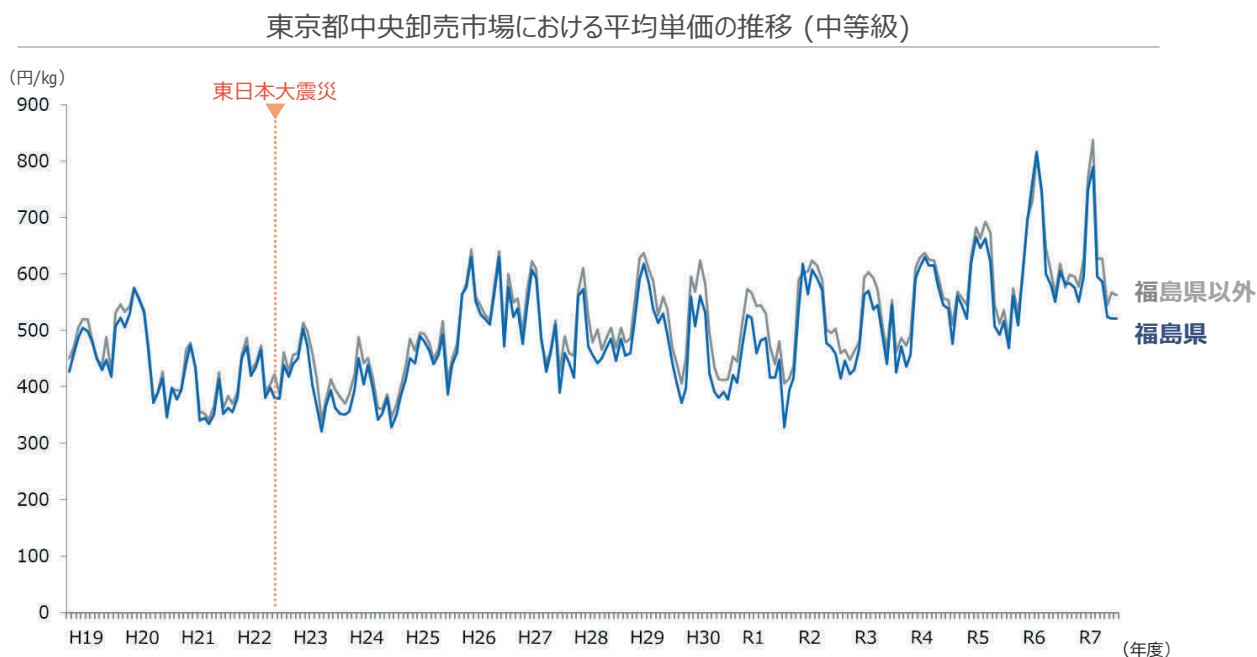
データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

※それぞれ年度単位の数値であり、令和7年度は令和7年12月までのデータを使用。

643

《参考》福島県産豚肉の月別平均単価の推移（東京都中央卸売市場・等級別（中等級））

中等級の福島県産豚肉と福島県産以外の平均単価は、平成28年度から令和5年度にかけては、福島県産以外が福島県産よりも若干高値で推移していた。令和6年度は価格差が縮んだが、令和7年度に再び価格差が拡大した。



データ出所：東京都中央卸売市場「市場統計情報」

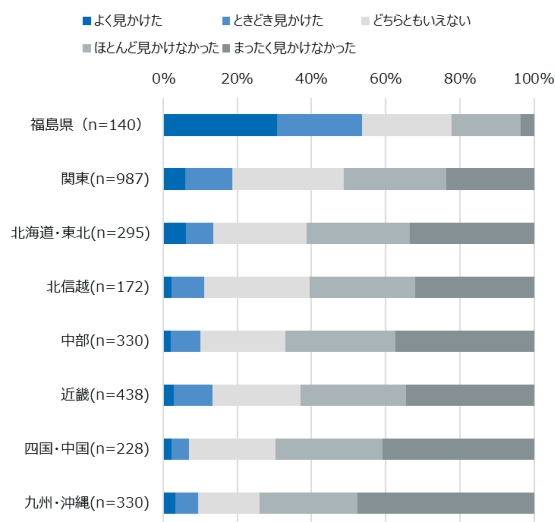
※それぞれ年度単位の数値であり、令和7年度は令和7年12月までのデータを使用。

644

福島県産豚肉を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

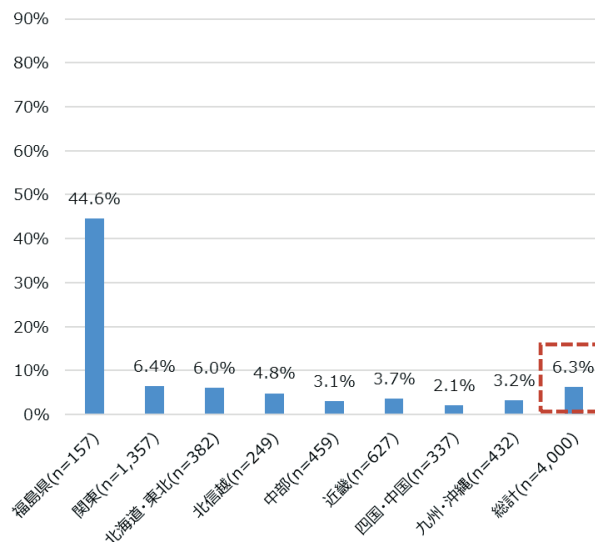
福島県産豚肉を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産豚肉を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では6.3%であった。

福島県産豚肉を店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産豚肉の購入経験率

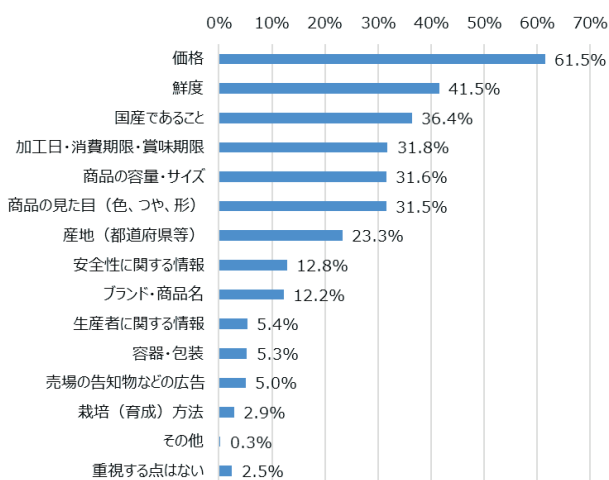


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っただけは購入経験なしとなる。

豚肉購入時の重視点と福島県産豚肉の購入者の評価（消費者アンケート）

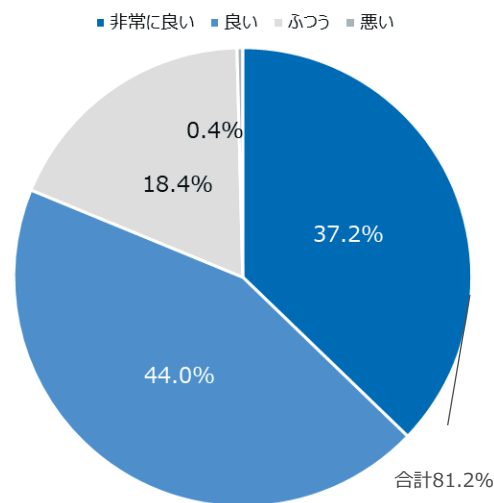
福島県産に限らず豚肉購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産豚肉の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が81.2%であった。

豚肉購入時の重視点 (n=3,776、複数回答)



※豚肉購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上豚肉を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産豚肉の購入者の評価 (n=250)

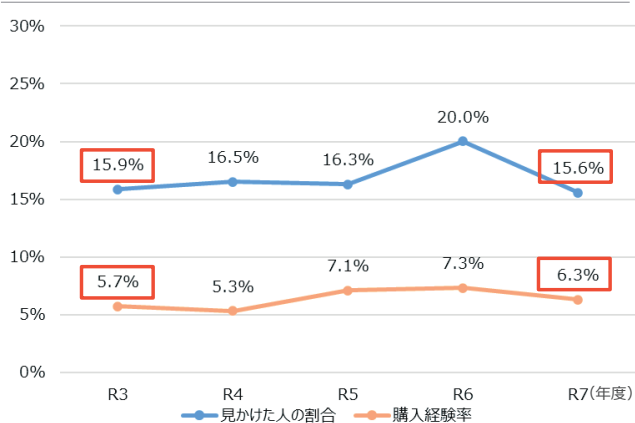


※福島県産豚肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

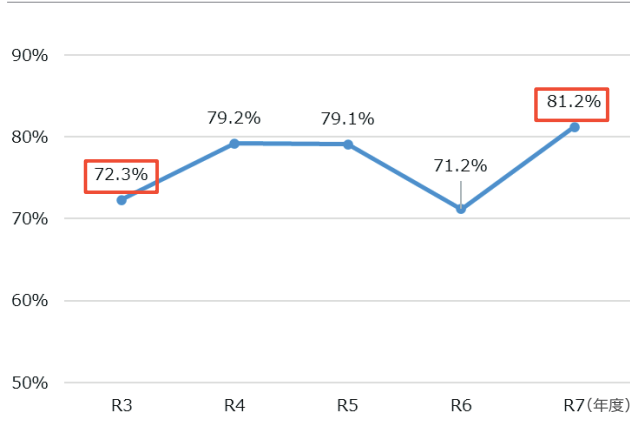
福島県産豚肉を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産豚肉を店頭で見かけた人の割合は0.3%下降、購入経験率は0.6%上昇した。福島県産豚肉の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は8.9%上昇した。

福島県産豚肉を見かけた人の割合、購入経験率



福島県産豚肉を高く評価している人の割合



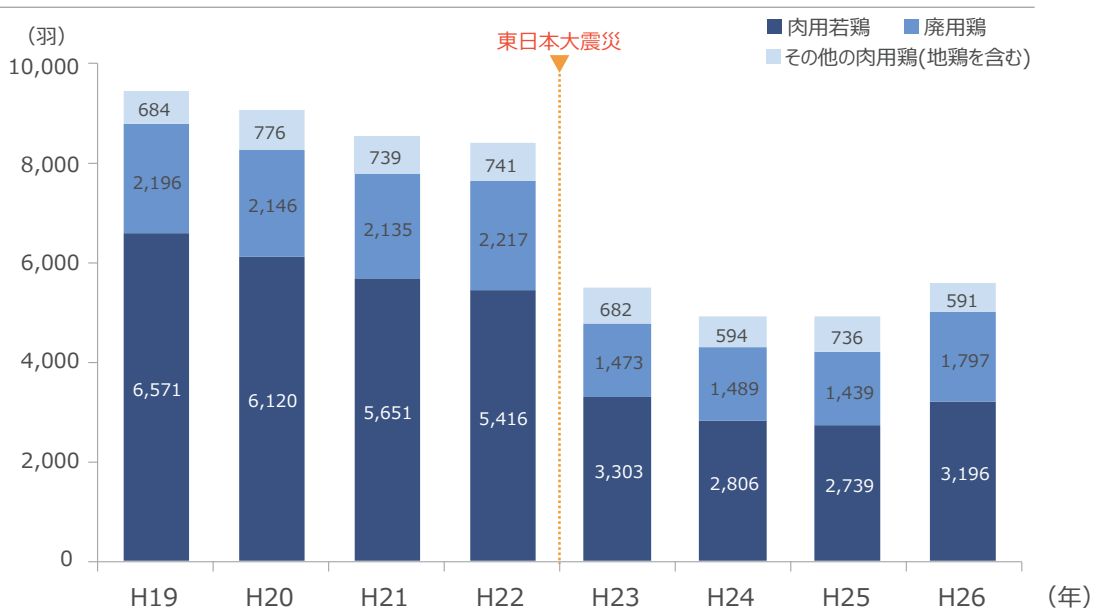
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産豚肉を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,724、R4:3,639、R5:2,874、R6:2,613、R7:2,920。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産豚肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:632、R4:294、R5:282、R6:291、R7:250。

福島県産鶏の出荷羽数の推移

福島県産鶏の出荷羽数は、平成23年以降、肉用若鶏を中心に大幅に減少。ただし、最後に都道府県別統計が公表された平成26年は前年よりやや増加した。

福島県における鶏の出荷羽数

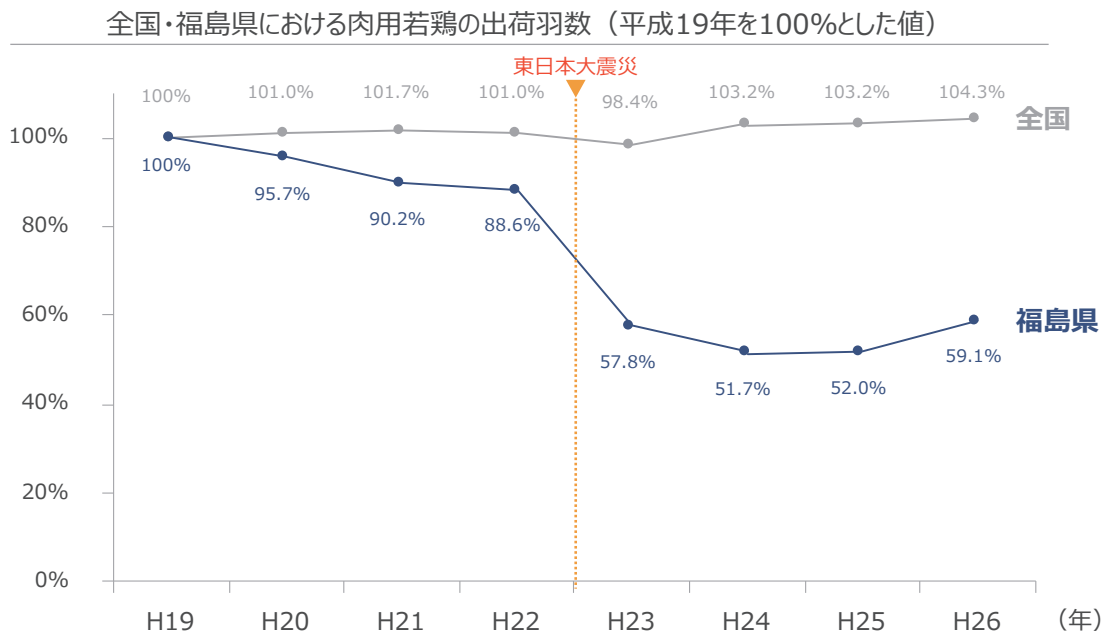


データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」
 ※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

全国・福島県における肉用若鶏の出荷羽数の推移

肉用若鶏の出荷羽数は、全国では微増傾向である一方、福島県の出荷羽数は震災後大幅に減少した後、平成19年比50～60%程度で推移している。



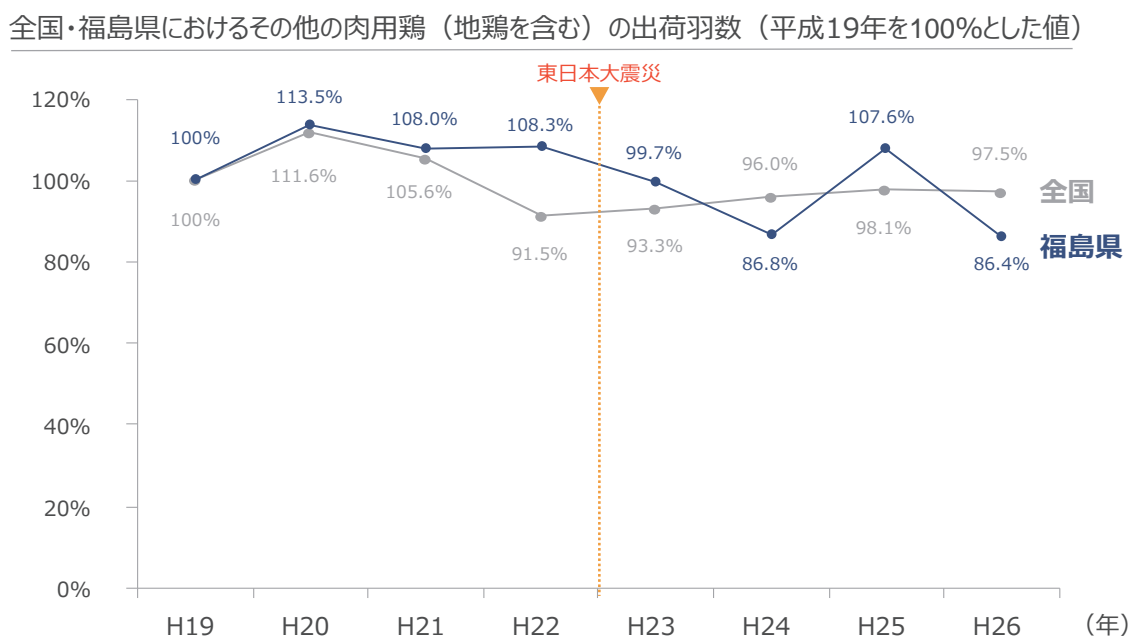
データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」

※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

全国・福島県におけるその他の肉用鶏（地鶏を含む）の出荷羽数の推移

福島県産の地鶏を含むその他の肉用鶏の出荷羽数は、震災後、2年連続で減少した後、平成25年に一時的に回復したものの、平成26年に再び減少している。



データ出所：農林水産省「食鳥流通統計調査」

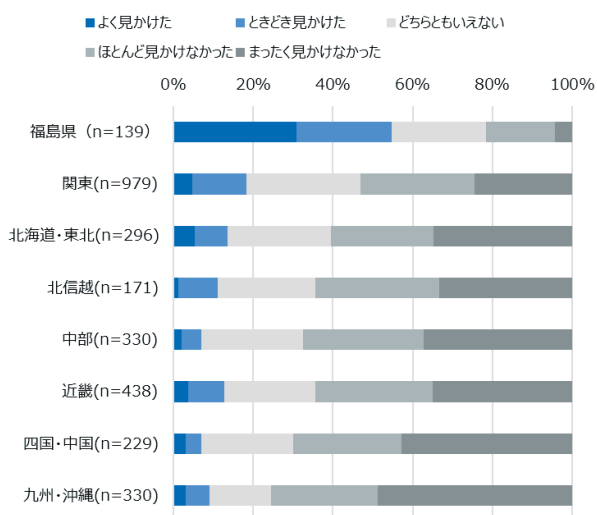
※同調査における都道府県別の出荷羽数が公表されているのは平成26年までのため、平成26年までのグラフとなっている。

※H29年度調査において作成。

福島県産鶏肉を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

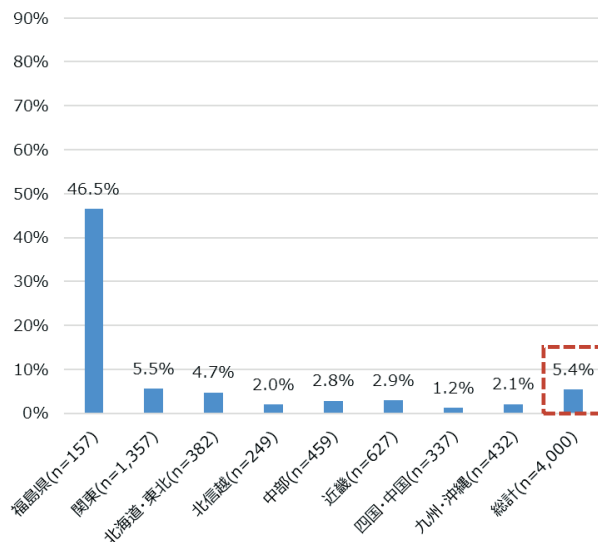
福島県産鶏肉を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産鶏肉を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.4%であった。

福島県産鶏肉を店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねた。
※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産鶏肉の購入経験率

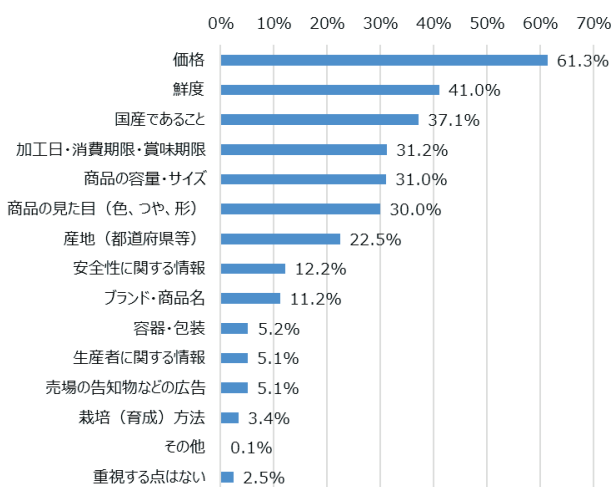


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていない購入経験なしとなる。

鶏肉購入時の重視点と福島県産鶏肉の購入者の評価（消費者アンケート）

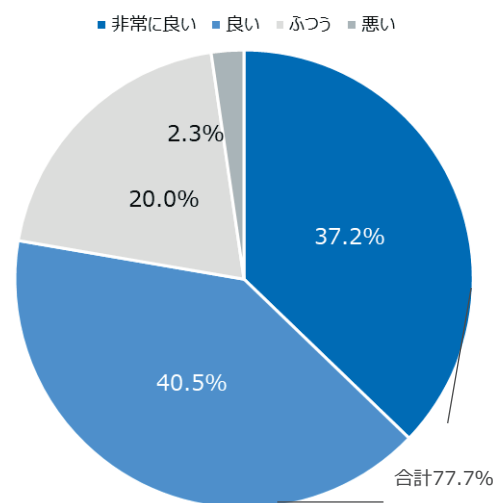
福島県産に限らず鶏肉購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「鮮度」が上位にあがった。福島県産鶏肉の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が77.7%であった。

鶏肉購入時の重視点 (n=3,682、複数回答)



※鶏肉購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
※月に1回以上鶏肉を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産鶏肉の購入者の評価 (n=215)

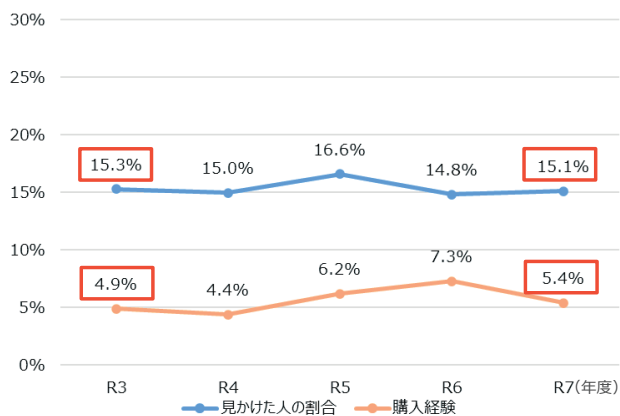


※福島県産鶏肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
※「非常に悪い」という選択肢も設けていたが選択した者はいなかった。

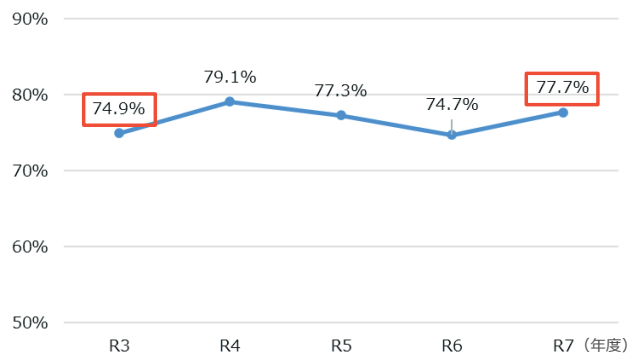
福島県産鶏肉を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産鶏肉を店頭で見かけた人の割合は0.2%下降、購入経験率は0.5%上昇した。福島県産鶏肉の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.8%上昇した。

福島県産鶏肉を見かけた人の割合、購入経験率



福島県産鶏肉を高く評価している人の割合



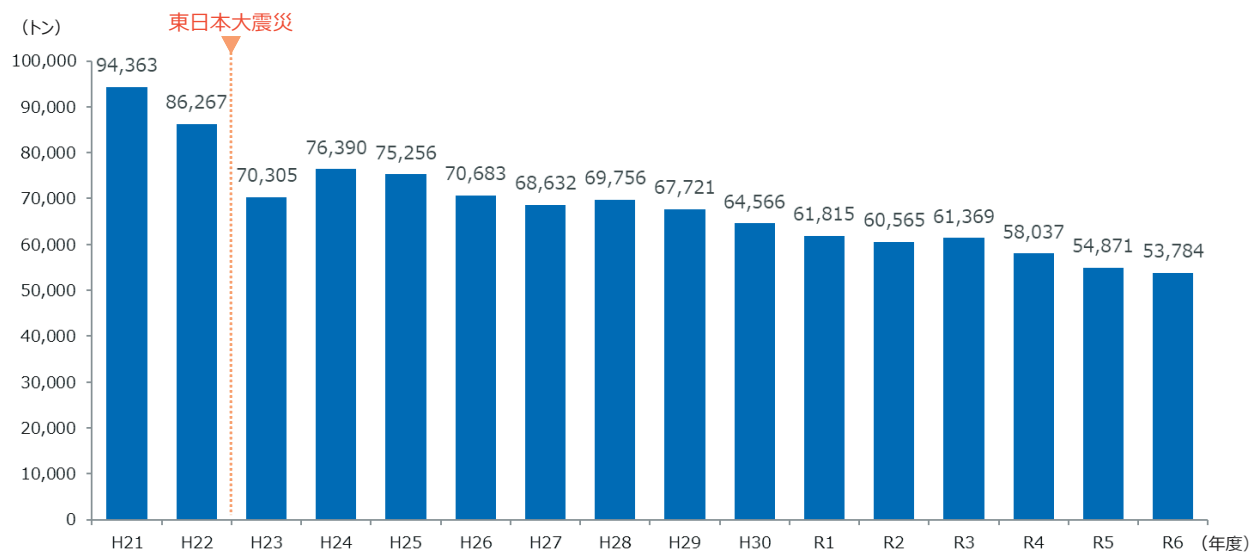
※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産鶏肉を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,698、R4:3,644、R5:2,867、R6:3,484、R7:2,912。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていたら購入経験なしとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

※福島県産鶏肉を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:537、R4:244、R5:247、R6:253、R7:215。

福島県産生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は平成23年度に大きく減少し、平成24年度に回復したものの、平成25年度以降は減少傾向で推移している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳受託販売乳量の推移

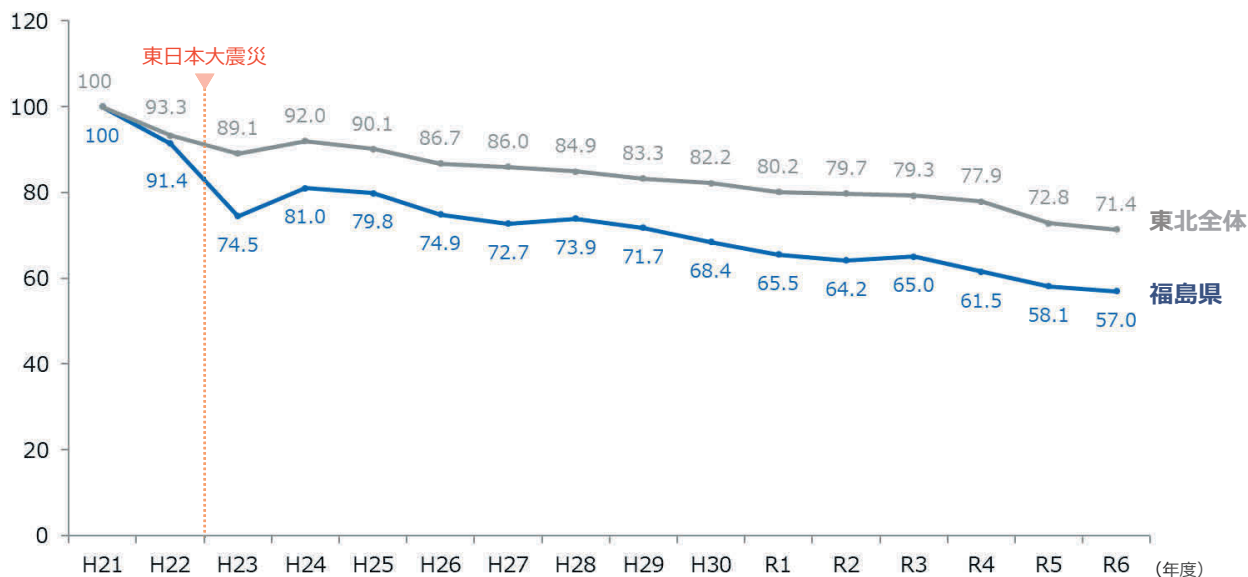


データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

東北全体・福島県での生乳受託販売乳量の推移（指定生乳生産者団体）

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の受託販売乳量は、震災直後、大きく減少し、その後平成24年度にやや回復した。平成24年度以降、東北全体と福島県産ともに、減少傾向で推移している。

東北全体・福島県での指定生乳生産者団体における生乳受託販売乳量の推移
(平成21年度を100とした指数)



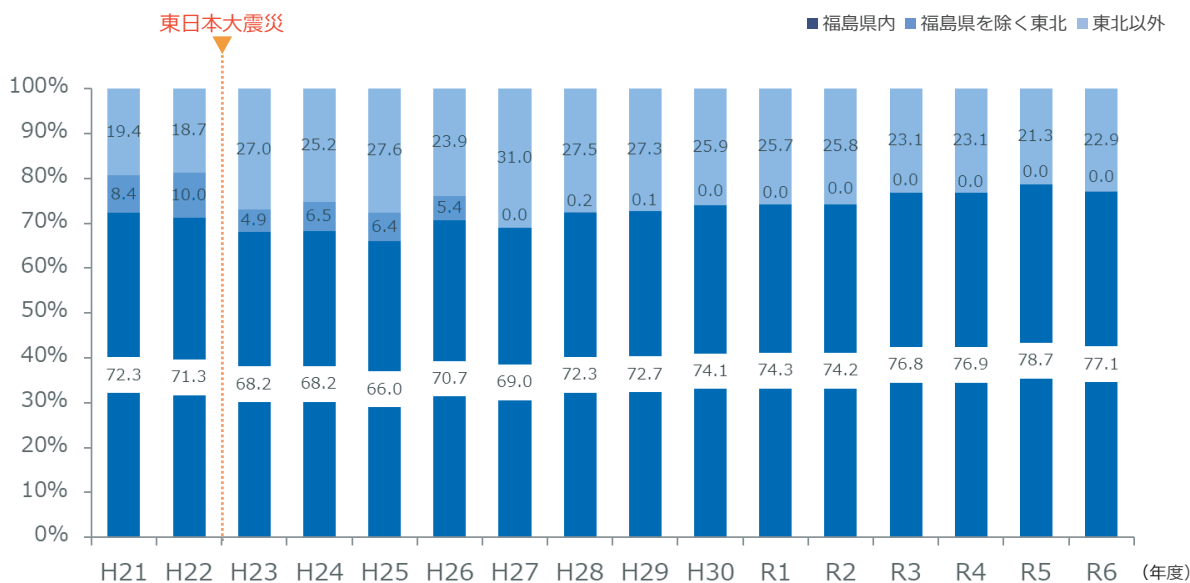
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

655

福島県産生乳の供給先別シェアの推移

指定生乳生産者団体における福島県産生乳の供給先としては、県内向けが中心であり、平成27年度以降は福島県以外の東北地域への供給はほぼない状態が継続している。

指定生乳生産者団体における福島県産生乳供給先別シェアの推移



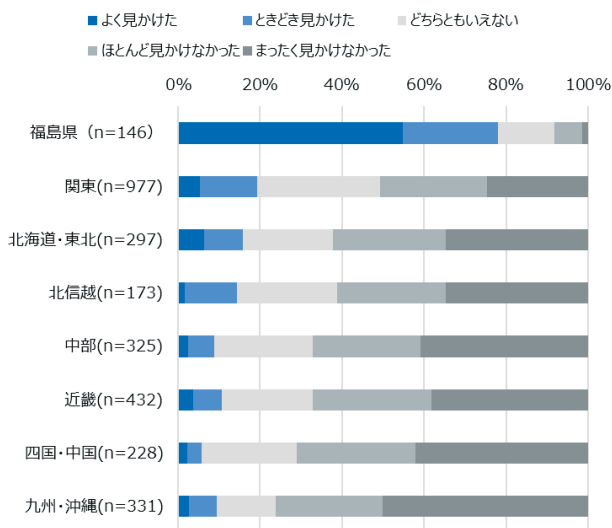
データ出所：指定生乳生産者団体からの提供データ

656

福島県産牛乳を見た経験と購入経験（消費者アンケート）

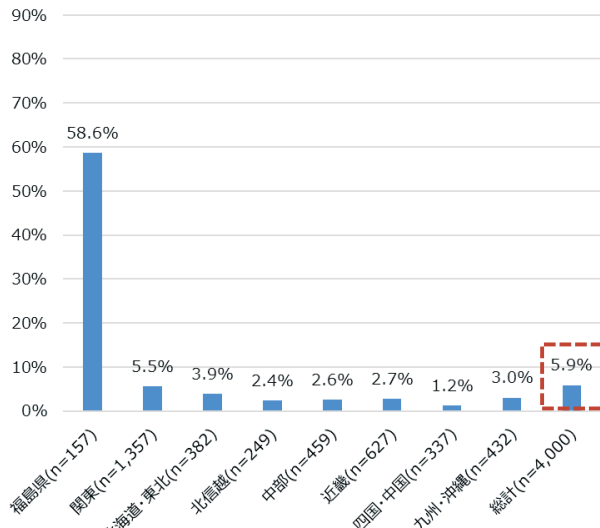
福島県産牛乳を店頭でよく見かけた人の割合は、福島県が最も高く、他の地域では10%に満たない。福島県産牛乳を購入したことがあると認識している人の割合も福島県が最も高く、全国では5.9%であった。

福島県産牛乳を店頭で見かけたか



※過去1～2年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねた。
 ※nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。

福島県産牛乳の購入経験率

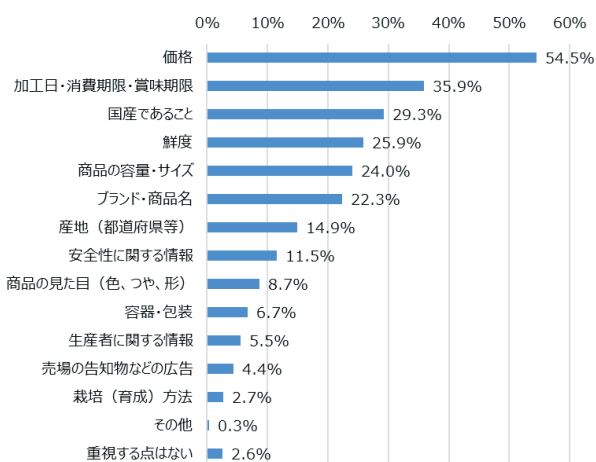


※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 ※記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験なしとなる。

牛乳購入時の重視点と福島県産牛乳の購入者の評価（消費者アンケート）

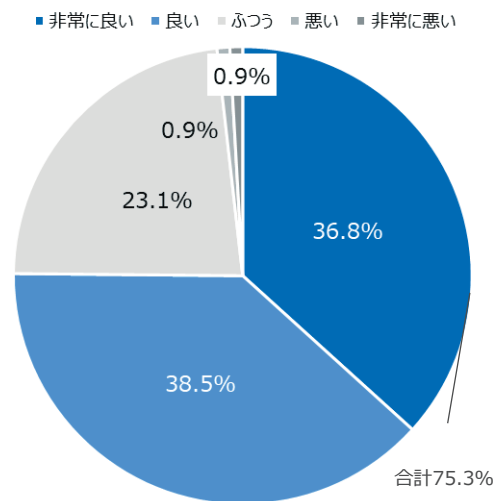
福島県産に限らず牛乳購入時の重視点を尋ねたところ、「価格」と「加工日・消費期限・賞味期限」が上位にあがった。福島県産牛乳の購入者に評価を尋ねたところ、「非常に良い」または「良い」と回答した人が75.3%であった。

牛乳購入時の重視点 (n=3,313、複数回答)



※牛乳購入時の重視点は、福島県産に限らない質問。
 ※月に1回以上牛乳を購入している回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳の購入者の評価 (n=234)

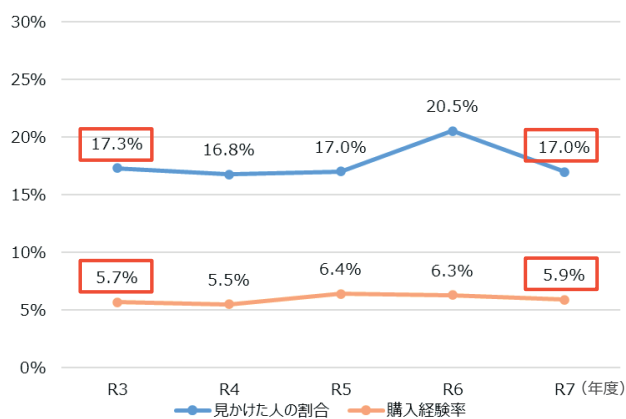


※福島県産牛乳を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。

福島県産牛乳を見た経験、購入経験と購入者の評価（消費者アンケート・経年比較）

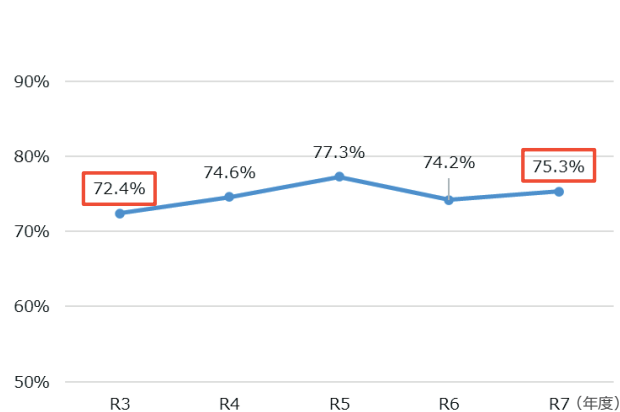
令和3年度と令和7年度を比較すると、福島県産牛乳を店頭で見かけた人の割合は0.3%下降、購入経験率は0.2%上昇した。福島県産牛乳の評価として「非常に良い」または「良い」と回答した人の割合は2.9%上昇した。

福島県産牛乳を見かけた人の割合、購入経験率



※見かけた人の割合は過去1～2年に、店頭で福島県産牛乳を見た記憶を尋ねたもので、「よく見かけた」、「ときどき見かけた」を選択した者の割合の合計値。
 ※見かけた人の割合のnはR3:7,709、R4:3,643、R5:2,903、R6:2,616、R7:2,909。
 nは「分からない」を選択した回答者を除いて算出。
 ※購入経験率=1度でも購入したことがある人数/回答者数
 記憶に関する質問であるため、産地を認識せず買っていれば購入経験などとなる。
 ※購入経験率のnはR3:11,000、R4:5,500、R5:4,000、R6:4,000、R7:4,000。

福島県産牛乳を高く評価している人の割合



※福島県産牛乳を購入したことがある回答者のみに尋ねた質問。
 ※グラフ上の数値は「非常に良い」、「良い」を選択した者の割合の合計値。
 ※nはR3:629、R4:303、R5:256、R6:252、R7:234。